

令和2年度文化芸術による子供の育成事業-巡回公演事業-公演団体一覧

【A区分・B区分団体】

ブロック	分野	種目	公演団体名	対象学年				企画名	演目	複数年度実施
				小(低)	小(中)	小(高)	中			
F	音楽	オーケストラ等	日本フィルハーモニー交響楽団	○	○	○	○	「様々なリズムを、語り中心の音楽で感じよう(ソプラノ歌手による合唱指導つき)」	【小学校の部】(トークつきコンサート) ※【中学校の部】プログラムあり ♪オッフェンバック:歌劇「天国と地獄」序曲 より《カンカン》 ♪ドヴォルザーク:スラブ舞曲第1番 (省略) ♪ベートーヴェン:交響曲第5番「運命」より《第1楽章》 ♪「ピリブ」「さんぼ」など学校と協議してご希望の1曲を共演 ♪各学校校歌 等	
F	音楽	オーケストラ等	群馬交響楽団	○	○	○	○	オーケストラの魅力大発見！一緒に歌おう・奏でよう！！	・ロッシェニ／歌劇《ウィリアム・テル》序曲 から「スイス軍の行進」 ・シュトラウスⅡ世／ワルツ《春の声》作品410 (省略) ・ブラームス／ハンガリー舞曲 第5番 ・エルガー／愛のあいさつ 作品12 ・ビゼー／歌劇「カルメン」から前奏曲、序奏、アラゴネーズ、間奏曲等 他	
F	演劇	児童劇	株式会社 劇団芸術座	○	○	○	-	おしばいって、おもしろい！	『一(いつ)休(きゅう)さん』二幕四場 作: 平塚 仁郎 演出: 村田 里絵	R2 (新規)
F	演劇	演劇	かわせみ座	○	○	○	○	構造・操作法も世界唯一の人形達を造った、独創的で優れた本物のマリオネット表現をどうぞ	まほろばのこだま 作・原案／山本由也・益村泉 人形美術・舞台美術／山本由也 構成・演出／高畑勲(アニメーション映画監督)	
F	演劇	ミュージカル	ACO沖縄	○	○	○	○	沖縄版ミュージカル「沖縄燦爛」	「沖縄燦爛」 作・演出:三隅治雄、ステージング:知花小百合、音楽:松元靖、 照明プラン:坂本義美、舞台美術デザイン:滝善光、 衣裳デザイン:阿部美千代、音響プラン:富山尚、演出助手:前里茜、企画・制作:下山久	
F	舞踊	バレエ	小林紀子バレエ・シアター	○	○	○	○	～ ようこそ！バレエの世界へ！～	演目①『Movement Caprice』 振付・演出:小林紀子 作曲:ルイ・ゴッドシャルク(米国) 等 メイン演目『ソリテイル』 振付:ケネス・マクミラン(英国) 作曲:マルコム・アーノルド(英国) 初演:1956年6月7日 サドラーズ・ウェルズ・バレエ団(英国)	
F	伝統芸能	歌舞伎・能楽	公益財団法人 鎌倉能舞台	○	○	○	○	【字幕解説付き】わかりやすい能・狂言鑑賞体験教室～日本の伝統文化を知ろう～	狂言鑑賞「柿山伏(かきやまぶし)」 能鑑賞「能 小鍛冶(こかじ)」字幕付き	
F	伝統芸能	歌舞伎・能楽	公益社団法人 宝生会	○	○	○	○	はじめまして 能`楽”	狂言『柿山伏』 能『黒塚』	
F	伝統芸能	歌舞伎・能楽	萬狂言	○	○	○	○	狂言鑑賞教室～狂言って面白い！～	【小学校・中学校 共通】 狂言「柿山伏」 狂言「附子」 【中学校のみ】 語「奈須と市語」 ※一部抜粋	
F	伝統芸能	邦楽	太鼓芸能集団 鼓童	○	○	○	○	鼓童の交流学校公演	[1]太鼓演奏(大太鼓[鼓童編曲]・屋台囃子[鼓童編曲] ほか全体で5～6曲) [2]太鼓体験 [3]トーク(メンバー自己紹介、楽器の紹介など)	
F	伝統芸能	演芸	公益社団法人上方落語協会	○	○	○	○	こどもらくご教室～落語のしくみがカンタンまるわかり～	「寿限無」、「転失気」、「動物園」、「時うどん」、「七度狐」など	

【C区分団体】

D・F	演劇	児童劇	[C区分]劇団風の子	○	○	○	-	「風の子バザール」を通して、世界の人たちの文化と生活を楽しもう	「風の子バザール」 構成演出:藤井郁夫振付:吉岡陽子 舞台美術デザイン:有賀二郎音楽:岸功・菊池大成 衣裳:小峯三奈 制作:浅野井優子	
F・H	メディア芸術	映像	[C区分]こども映画教室	-	○	○	○	映画鑑賞+映画制作ワークショップ「生きていないものが動く！」 ～体育館が映画館に！ みんなで赤いボールを主人公にした映画を撮ろう！～	-	

※複数年度実施欄に「H30」の記載がある団体は平成30年度から、「R1」の記載がある団体は令和元年度から、「R2」の記載がある団体は令和2年度から3年間同じブロックで公演を行う団体です。

※<http://www.kodomogetjutsu.go.jp/junkai/kouen.html>から、団体のホームページや現在実施されている令和元年度の情報を閲覧することができます。

	A・B区分団体											C区分団体	
	F61	F62	F63	F64	F65	F66	F67	F68	F69	F70	F71	K122	K123
	日本フィルハーモニー交響楽団	群馬交響楽団	株式会社劇団芸術座	かわせみ座	ACO沖縄	小林紀子バレエ・シアター	公益財団法人鎌倉能舞台	公益社団法人宝生会	萬狂言	太鼓芸能集団鼓童	公益社団法人上芳澤磨協会	劇団風の子	こども映画教室
巡回ブロック	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	D・F	F・H
項目	オーケストラ等	オーケストラ等	児童劇	演劇	ミュージカル	バレエ	歌舞伎・能楽	歌舞伎・能楽	歌舞伎・能楽	邦楽	演芸	児童劇	映像
前日仕込みの有無	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	あり
6月1日	月		○				●	○	●		●		
6月2日	火		○				○	○	○		○		
6月3日	水		○				○	○	○		○		
6月4日	木		○				○	○	○		○		
6月5日	金		○				○		○		○		
6月6日	土		移										
6月7日	日		移				移	移					
6月8日	月		○				●	○				●	
6月9日	火		○				○	○			○	○	
6月10日	水		○				○				○	○	
6月11日	木		○				○	○			○	○	
6月12日	金		○								○	○	
6月13日	土		移										
6月14日	日		移				移						
6月15日	月		○				●	○			●	●	
6月16日	火		○				○	○			○	○	
6月17日	水		○				○	○			○	○	移
6月18日	木		○				○				○	○	○
6月19日	金		○				○				○	○	○
6月20日	土		移										○
6月21日	日		移				移	移					移
6月22日	月		○				●	○			●	○	○
6月23日	火		○				○				○	○	○
6月24日	水		○				○				○	○	○
6月25日	木		○				○				○	○	○
6月26日	金		○				○				○	○	○
6月27日	土		移									○	○
6月28日	日		移	移			移						○
6月29日	月		○	○			●	移	●		●	○	○
6月30日	火		○	○			○	○	○		○	○	○
7月1日	水		○	○			○	○	○		○	○	○
7月2日	木		○	○			○	○	○		○	○	○
7月3日	金		○	○			○	○	○		○	○	○
7月4日	土		移										○
7月5日	日		●				移	移					○
7月6日	月		●	○		移	●	○			●	○	○
7月7日	火		●	○		○	○	○				○	○
7月8日	水		●	○		○	○					○	○
7月9日	木		●	○		○	○	○				○	○
7月10日	金		●	○		○						○	○
7月11日	土		●										○
7月12日	日		移				移	移					○
7月13日	月		○	○			●	○				○	○
7月14日	火		○	○			○	○				○	○
7月15日	水		○	○			○					○	○
7月16日	木		○	○			○					○	○
7月17日	金		○	移								○	○
7月18日	土											○	
7月19日	日											○	
7月20日	月											○	
7月21日	火											○	
7月22日	水											○	
7月23日	木											○	
7月24日	金											○	
7月25日	土											○	
7月26日	日											○	
7月27日	月											○	
7月28日	火											○	
7月29日	水											○	
7月30日	木											○	
7月31日	金											○	
8月1日	土											○	
8月2日	日											○	
8月3日	月											○	
8月4日	火											○	
8月5日	水											○	
8月6日	木											○	
8月7日	金											○	
8月8日	土											○	
8月9日	日											○	
8月10日	月											○	
8月11日	火											○	
8月12日	水											○	
8月13日	木											○	
8月14日	金											○	
8月15日	土											○	
8月16日	日											○	
8月17日	月											○	
8月18日	火											○	
8月19日	水											○	
8月20日	木											○	
8月21日	金											○	
8月22日	土											○	
8月23日	日											○	
8月24日	月		○				●	○				○	
8月25日	火		○				○	○				○	
8月26日	水		○				○	○				○	
8月27日	木		○				○	○				○	
8月28日	金		○					○				○	
8月29日	土		移									○	
8月30日	日		移					移				○	
8月31日	月		○					○				○	移

	A・B区分団体											C区分団体	
	F61	F62	F63	F64	F65	F66	F67	F68	F69	F70	F71	K122	K123
	日本フィルハーモニー交響楽団	群馬交響楽団	株式会社劇団芸術座	かわせみ座	ACO沖縄	小林紀子バレエ・シアター	公益財団法人鎌倉能舞台	公益社団法人宝生会	萬狂言	太鼓芸能集団鼓童	公益社団法人上方落語協会	劇団風の子	こども映画教室
巡回ブロック	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	D・F	F・H
項目	オーケストラ等	オーケストラ等	児童劇	演劇	ミュージカル	バレエ	歌舞伎・能楽	歌舞伎・能楽	歌舞伎・能楽	邦楽	演芸	児童劇	映像
前日仕込みの有無	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	あり
9月1日	火		○					○				○	○
9月2日	水		○					○				○	○
9月3日	木		○					○				○	移
9月4日	金		○									○	○
9月5日	土		移							移		○	○
9月6日	日		移				移	移		移		○	移
9月7日	月		○				●	○		○		○	○
9月8日	火		○				○	○		○		○	○
9月9日	水		○				○	○		○		○	移
9月10日	木		○				○			○	●	○	○
9月11日	金		○							○	○	○	○
9月12日	土		移									移	移
9月13日	日		移				移	移					移
9月14日	月		○				●	○	●	○	●		○
9月15日	火		○				○	○	○	○	○		○
9月16日	水		○				○	○	○	○	○		○
9月17日	木		○				○	○	○	○	○		○
9月18日	金		○				○	○	○	○	○		○
9月19日	土		移							移			移
9月20日	日		●							移			
9月21日	月		●										
9月22日	火		移					移					
9月23日	水		○					○				●	
9月24日	木		○									○	
9月25日	金		○									○	
9月26日	土		移										
9月27日	日		移				移	移					
9月28日	月		○			移	●	○	○		●		
9月29日	火	○	○			○	○	○	○		○		○
9月30日	水	○	○			○	○	○	○		○		○
10月1日	木	○	○			○	○	○	○		○		○
10月2日	金	○	○			○	○	○	○		○		○
10月3日	土	●	移										
10月4日	日	●	移				移						
10月5日	月	○	○			○	●					●	
10月6日	火	○	○			○	○	○				○	
10月7日	水	○	○			○	○	○				○	
10月8日	木		○			○	○	○				○	
10月9日	金		○			○						○	
10月10日	土		移										
10月11日	日		移	移			移	移					移
10月12日	月		○	○			●	○				●	○
10月13日	火		●	○		移	○	○				○	○
10月14日	水		●	○		○	○	○				○	移
10月15日	木		○	○		○	○					○	○
10月16日	金		○	○		○						○	○
10月17日	土		移							移			移
10月18日	日		移							移			移
10月19日	月	移	○	○	○	○			●	○	●		○
10月20日	火	○	○	○	○	○		○	○	○	○		○
10月21日	水	○	○	○	○	○	移		○	○	○		移
10月22日	木	○	○	○	○	○	○		○	○	○		○
10月23日	金		○	○		○	○		○	○	○		○
10月24日	土		移										移
10月25日	日	移	移										移
10月26日	月	○	○	○	○				●	○	●		○
10月27日	火	○	○	○	○		移		○	○	○		○
10月28日	水	○	○	○	○		○		○	○	○		○
10月29日	木	○	○	○	○		○		○	○	○		○
10月30日	金		○	○					○	○	○		○
10月31日	土		移	移						移			移
11月1日	日		移										
11月2日	月		○										
11月3日	火		移				移						
11月4日	水		○		移	移	○		●		●		
11月5日	木		○		○	○	○		○		○		○
11月6日	金		○		○	○			○		○		○
11月7日	土		移		○								
11月8日	日		移				移	移					
11月9日	月	○	○		○	○	●	○	●		●		○
11月10日	火	○	○		○	○	○	○	○		○		○
11月11日	水	○	○		○	○	○	○	○		○		○
11月12日	木	○	○		○	○	○	○	○		○		○
11月13日	金	○	○		○	○	○		○		○		○
11月14日	土		移		○								
11月15日	日		移		移		移	移					移
11月16日	月		○				●	○				●	○
11月17日	火		○				○	○				○	○
11月18日	水		○				○	○				○	○
11月19日	木		○				○	○				○	○
11月20日	金		○									○	○
11月21日	土		移										移
11月22日	日		●										
11月23日	月		移					移					
11月24日	火	移	○		移			○			●		○
11月25日	水	○	○		○			○			○		○
11月26日	木	○	○		○						○		○
11月27日	金	○	○		○						○		○
11月28日	土		移		○					移			
11月29日	日		移				移	移		移			移
11月30日	月		○		○		●	○	●	○	●		○

A・B区分団体												C区分団体	
	F61	F62	F63	F64	F65	F66	F67	F68	F69	F70	F71	K122	K123
	日本フィルハーモニー交響楽団	群馬交響楽団	株式会社劇団芸術座	かわせみ座	ACO沖縄	小林紀子バレエ・シアター	公益財団法人鎌倉能舞台	公益社団法人宝生会	萬狂言	太鼓芸能集団鼓童	公益社団法人上落膳協会	劇団風の子	こども映画教室
巡回ブロック	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	D・F	F・H
項目	オーケストラ等	オーケストラ等	児童劇	演劇	ミュージカル	バレエ	歌舞伎・能楽	歌舞伎・能楽	歌舞伎・能楽	邦楽	演芸	児童劇	映像
前日仕込みの有無	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	あり
12月1日	火		○		○		○	○	○	○	○		○
12月2日	水		○		○		○	○	○	○	○		移
12月3日	木		○		○			○	○	○	○		○
12月4日	金		○		○			○	○	○	○		○
12月5日	土		移		○					移			移
12月6日	日		移				移	移		移			
12月7日	月		○		○		●	○	●		●		
12月8日	火		○		○		○	○	○		○		
12月9日	水		○		○		○	○	○		○		
12月10日	木		○		○		○	○	○		○		
12月11日	金		○		○				○		○		
12月12日	土		移		○								
12月13日	日		移		移		移	移					
12月14日	月	移	○				●	○			●		
12月15日	火	○	○				○	○			○		
12月16日	水	○	○				○	○			○		
12月17日	木		○				○				○		
12月18日	金		○				○	○			○		
12月19日	土		移										
12月20日	日		移				移	移					
12月21日	月		○				●	○			●		
12月22日	火		○				○	○			○		
12月23日	水		○				○	○			○		
12月24日	木		○				○	○			○		
12月25日	金		○				○	○			○		
12月26日	土		移										
12月27日	日		●				移						
12月28日	月		●				●						
12月29日	火		●				○						
12月30日	水		●				○						
12月31日	木		●				○						
1月1日	金		●										
1月2日	土		●										
1月3日	日		●				移						
1月4日	月		移				●						
1月5日	火		○				○						
1月6日	水		○				○						
1月7日	木		○				○						
1月8日	金		○										
1月9日	土		移										
1月10日	日		●										
1月11日	月		移				移	移					
1月12日	火		○				●	○			●		
1月13日	水		○				○	○			○		
1月14日	木		○				○				○		
1月15日	金		○				○	○			○		
1月16日	土		移										
1月17日	日		移				移	移					
1月18日	月		○				●	○			●		
1月19日	火		○				○	○			○		
1月20日	水		○				○	○			○		
1月21日	木		○				○	○			○		
1月22日	金		○					○			○		
1月23日	土		移										
1月24日	日		移				移	移					
1月25日	月		○				●	○			●		
1月26日	火	移	○				○	○			○		
1月27日	水	○	○				○	○			○		
1月28日	木	○	○				○				○		
1月29日	金	○	○				○				○		
1月30日	土												
1月31日	日												

VI 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目(該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, <u>オーケストラ等</u> , 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ

A区分とB区分の両方 ・ C 区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり

なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	にほんふいるはーもにーこうきょうがくだん 公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団		
代表者職・氏名	理事長 平井俊邦		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒166-0011 東京都杉並区梅里 1-6-1 (新高円寺駅:地下鉄丸の内線)		
電話番号	03-5378-6311	FAX番号	03-5378-6161
ふりがな 公演団体名	にほんふいるはーもにーこうきょうがくだん 日本フィルハーモニー交響楽団		
代表者職・氏名	理事長 平井俊邦		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒166-0011 東京都杉並区梅里 1-6-1 (新高円寺駅:地下鉄丸の内線)		
制作団体 設立年月	1956年 6月		
制作団体 組織	役職員 理事長:平井俊邦 副理事長:五味康昌 常務理事:中根幹太、後藤朋俊 理事:石井啓一郎、遠藤滋、小島順彦、島田敏生、田村浩章、徳田俊一、戸所邦弘、福本ともみ	団体構成員及び加入条件等 団体構成員 楽団員 90名 事務局員 24名 合計:114名	
事務体制の担当	専任 ・ <u>他の業務と兼任</u>	本事業担当者名	高橋 勇人
経理処理等の 監査担当の有無	<u>有</u> ・ 無	経理責任者名	浅見 浩司

制作団体沿革	沿革： 1956 年 6 月創立、楽団創設の中心となった渡邊暁雄が初代常任指揮者を務め、当初より幅広いレパートリーと斬新な演奏スタイルで、ドイツ・オーストリア系を中心としていた当時の楽壇に新風を吹き込み、大きなセンセーションを巻き起こしました。1972 年より自主運営となり、2016 年 6 月に創立 60 周年を迎え、2017 年 5 月にかけて行った 60 周年事業が、好評のうちに完結しました。 近年の活動： 2018 年度は新たな試みとして、テクノロジーや医療とのコラボレーションを実施し好評をいただきました。そして 2018 年 11 月の韓国公演や、2019 年 4 月にはフィンランド・オーストリア・ドイツ・英国の4ヶ国 10 都市で実施した第6回ヨーロッパ公演により、各国と日本とが一層の友好を図る上でも大変有意義な事業となりました。 事業： 「芸術性の追求と社会性の拡充」をテーマに、以下の 3 つの柱で活動、更なる飛躍を目指します。 I.オーケストラ・コンサート 首席指揮者ピエタリ・インキネン、桂冠指揮者兼芸術顧問アレクサンドル・ラザレフ、桂冠名誉指揮者小林研一郎、正指揮者山田和樹という国内でも屈指の盤石さを誇る指揮者陣とともに、現代のオーケストラとしての矜持を示す多彩なプログラミングで、芸術的充実の向上を第一義に活動を展開。特に 2019 年 4 月のヨーロッパ公演の成功により、帰国後の演奏内容には、更に高い評価をいただいております。 主催公演(2018 年度実績:84 公演)としては東京(サントリーホール)・横浜(みなとみらいホール)での定期演奏会、名曲・サンデーコンサート、夏休み・第コンサート・その他のシリーズにより、それぞれの特色を更に発揮し、クラシック音楽の奥深さを広めてまいります。共催・受託公演(2018 年度実績:70 公演)は、杉並区・埼玉県・府中市等自治体主催の公演、ホールとの共催事業、文化庁主催学校巡回公演や学校主催公演等を継続的に実施しています。 II.エデュケーション・プログラム 「音楽の力」を社会のさまざまな場面で広く発揮することが求められている今日、オーケストラのエデュケーション・プログラムの重要性はますます大きくなっています。日本フィルは他に先んじて社会への取り組みを推進しており、活動の領域は広がり続けています。 【オーケストラによるエデュケーション】 夏休みコンサート:夏休みに開催する親子向けのクラシックコンサートの草分けとして、2019 年に 45 周年を迎えました。家族三世代が一緒に楽しめるよう内容や演出にも工夫を凝らし、聴衆層の拡大、特に未来のクラシックファンの育成に努めています。更にこのコンサートをきっかけに、若い音楽家や音楽科の先生が生まれていることも特筆されます。 春休みオーケストラ探検:フランチャイズホール・杉並公会堂との共催で継続的に開催しており、オーケストラ公演の他、楽器体験・工作ワークショップ・ホール探検等々、全館挙げてのイベントで0歳児から入場できる地域に根差したイベントとなっています。 【ワークショップ活動の広がり】 「エデュケーション・プログラム」の第一人者である、マイケル・スペンサー氏を「コミュニケーション・ディレクター」に迎えて 6 年目となり、その対象範囲は被災地の子どもたちへも拡大しています。更にマイケル氏のファシリテーションを学んだ楽員が独自の内容で日本国内に止まらず、ヨーロッパ公演でのワークショップを実施するなど、音楽による文化交流の大きな可能性を示しました。 【その他、音楽の面白さを届け、新たな楽しみ方を提案しています】 「バックステージツアー」や定期演奏会での「プレトーク」、杉並区での高齢者を対象とした「60 歳からの楽器教室」の他、オーケストラ・コンサートなどとの関連性を更に深める活動にも注力しています。
--------	---

	Ⅲ.リージョナル・アクティビティ(地域活動) 日本フィルは音楽の素晴らしさ、面白さをより多くの方に届け、地域全体の活性化に貢献する「リージョナル・アクティビティ」を活動の柱のひとつに捉え、オーケストラや室内楽等によるきめ細やかな活動を行っています。地域社会への貢献はオーケストラにとって、今後ますます大きなテーマとなっていくでしょう。フランチャイズホールの杉並公会堂がある杉並区との「友好提携」が 2019 年で 25 周年を迎え、公会堂を始め区内各施設では子供から高齢者に至るまで多彩な事業を行い、クラシック音楽を通して交流の機会を提供しており、港区・さいたま市でも室内楽によるアウトリーチ活動が活発に展開されています。地方でも、市民による実行委員会と日本フィルで育んできた九州公演が 44 年目を迎えました。宇部(山口)・京都でも年に 1 回オーケストラ公演を継続しています。また東日本大震災の被災地を音楽で支援する活動も、これまでに 271 回(2019 年 7 月現在)の公演を行い、熊本地震・西日本豪雨の被災地にも訪問しています。		
学校等における 公演実績	2018 年度 ●オーケストラ公演=24 回 ●室内楽公演(主な編成=弦楽四重奏・木管五重奏・金管五重奏) 杉並区小・中学校=10 回、さいたま市小・中学校=15 回、港区小学校=1 回 ●被災地(岩手県・宮城県・福島県 小中学校)=8 回 ●ワークショップ=29 回 ●クリニック=7 回		
特別支援学校に おける公演実績	2007 年 12 月 山梨県立かえで支援学校(オケ公演) 2008 年 1 月 船橋市立船橋支援学校(オケ公演) 2013 年 5 月 さいたま市立さくら草特別支援学校(室内楽公演) 2013 年 11 月 栃木県栃木特別支援学校(オケ公演) 2016 年 10 月 東京都立青峰学園(オケ公演) 2017 年 12 月 東京都立城東特別支援学校(オケ公演) 2018 年 11 月 広島県立呉特別支援学校(オケ公演)		
参考資料の 有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	☒ 有 ・ 無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	有 ・ ☒ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
	A の 提出が 困難な 場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	☒ 有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード		ID: PW:	

公 演 ・ ワークショップの 内 容

【公演団体名 日本フィルハーモニー交響楽団】

対 象	小学生(<u>低学年</u> ・ 中学年 ・ 高学年) ・ <u>中 学 生</u>
企画名	「様々なリズムを、踊り中心の音楽で感じよう(ソプラノ歌手による合唱指導つき)」
本公演演目 原作 / 作曲 脚 本 演出 / 振付	【小学校の部】(トークつきコンサート) ★オープニングは運動会でお馴染みの曲を大迫力で！一気に演奏会へ誘います。 ♪ オッフェンバック: 歌劇「天国と地獄」序曲 より《カンカン》 ★踊りをテーマにした管弦楽曲から3拍子の曲を！ ♪ ドヴォルザーク: スラブ舞曲第1番 ★ <u>楽器紹介</u> (一つ一つの楽器を、解説とパフォーマンスによってご紹介。 木管→金管→打楽器→弦楽器 ♪ グリーグ: 「ホルベルク」組曲より《前奏曲》 ★踊りをテーマにした管弦楽曲から2拍子の曲を！ ♪ ブラームス: ハンガリー舞曲第5番 ★ソプラノ歌手を迎えて、オーケストラと歌の響きを体験しよう ♪ ヴェルディ: 歌劇「椿姫」第1幕 より《乾杯の歌》(ソプラノ入り) ♪ J. シュトラウスⅡ世: 喜歌劇「こうもり」より「侯爵様、あなたのようなお方は」(ソプラノ入り) ♪ ジーティンスキー: ウィーンわが夢の街 (ソプラノ入り) ★最後は、オーケストラ不朽の名曲を！ ♪ ベートーヴェン: 交響曲第5番「運命」より《第1楽章》 ★ <u>会場合唱コーナー</u> (ソプラノ歌手の歌を聴いたあとは、児童とオーケストラの響きを作ろう！) ♪ 「ビリーブ」「さんぽ」など学校と協議してご希望の1曲をオーケストラと共演します。 ★みなさんの学校の校歌を児童とオーケストラの伴奏で ♪ 各学校校歌 公演時間(80 分) 【中学校の部】(トークつきコンサート) ★オープニングは踊りをテーマにした管弦楽曲から3拍子の曲を！ ♪ ドヴォルザーク: スラブ舞曲第1番 ★オーケストラ不朽の名曲を！ ♪ ベートーヴェン: 交響曲第5番「運命」より《第1楽章》 ★ソプラノ歌手を迎えて、オーケストラと歌の響きを体験 ♪ ヴェルディ: 歌劇「椿姫」第1幕 より《乾杯の歌》(ソプラノ入り) ♪ J. シュトラウスⅡ世: 喜歌劇「こうもり」より「侯爵様、あなたのようなお方は」(ソプラノ入り) ♪ ジーティンスキー: ウィーンわが夢の街(ソプラノ入り) ★ <u>楽器紹介</u> 以下①と②よりセレクト ①オーケストラの各楽器を紹介するために作られた1曲で、楽しみながらオーケストラを勉強しよう！ ♪ カジノユキ編曲: オーケストラで聴く日本の名曲「春夏秋冬」 ②一つ一つの楽器を、解説とパフォーマンスによってご紹介。 木管→金管→打楽器→弦楽器 ♪ グリーグ: 「ホルベルク」組曲より《前奏曲》 ★ <u>指揮体験コーナー</u> (プロの指導の下、指揮者になってみよう！) ♪ ブラームス: ハンガリー舞曲第5番 (生徒3名による体験。冒頭から20秒) ♪ ブラームス: ハンガリー舞曲第5番 (指揮者による全曲演奏) ★最後は、親しみ易い旋律で「これぞオーケストラだ！」という1曲を ♪ ドヴォルザーク: 交響曲第8番より《第4楽章》 ★みなさんの学校の校歌を生徒とオーケストラの伴奏で

		♪各学校校歌			公演時間（ 90 分）
著作権		制作団体が 所有		制作団体以外が所有する事 項が含まれる	（制作団体以外が所有す る事項が含まれる場合） 許諾の有無
演 目 概 要		♪オッフェンバック：喜歌劇「天国と地獄」序曲 より《カンカン》（小学校のみ） 喜歌劇「天国と地獄」は原題を「地獄のオルフェ」と言い、真面目な夫婦愛のギリシア神話「オルフェウスとエウリディケ」をドタバタ劇にしたパロディ作品です。序曲の最後の部分が、ギャロップ（非常に速い2拍子の舞曲、または馬の駆け足の意）で、フレンチカンカン（踊り）のBGMとして使われたことからこの部分が特に有名になり、単独して演奏されるようになりました。 ♪ドヴォルザーク：スラブ舞曲第1番 ブラームス作曲の『ハンガリー舞曲集(ピアノ連弾)』が発表後すぐ大人気となり、楽譜の出版社がブラームスの弟子のドヴォルザークに作曲を依頼し、発表されたのが『スラブ舞曲集(ピアノ連弾)』です。こちらもちまち人気を博し作曲者自身がオーケストラ用に編曲しました。第1曲はフリアントです。「フリアント」とはボヘミアの民俗舞曲で、4分の2拍子と4分の3拍子が交互に入れ替わる熱狂的な舞曲です。それがスラヴ的なリズム感と郷愁を生み出しています。 ♪グリーグ：「ホルベルク」組曲より《前奏曲》 ノルウェーの作曲家エドヴァルド・グリーグが作曲した弦楽合奏曲。原曲は1884年に書かれたピアノ独奏曲ですが、今日ではもっぱらグリーグ自身が1885年に編曲した弦楽合奏版で知られています。「ホルベルク」（ホルベア）とは「ノルウェー文学の父」と呼ばれるノルウェーを代表する作家のことで、グリーグが40歳の頃に、その生誕200年祭のための音楽を依頼されてこの作品を作曲しました。ホルベアが生きた時代に主流だったバロック音楽を用い、《前奏曲》はつらつとした盛り上がりには富んでいます。 ♪ブラームス：ハンガリー舞曲第5番 ハンガリー舞曲とは、ブラームスがハンガリーのロマ（ジプシー）音楽を元に編曲した楽曲で、元は4手ピアノ（連弾）用として作られましたが、のちに管弦楽版に再編曲されています。第5番が一番有名で、舞曲ならではのリズム変化が特徴です。 ♪ヴェルディ：歌劇「椿姫」第1幕 より《乾杯の歌》（ソプラノ入り） ヴェルディは19世紀を代表するイタリアのオペラ作曲家で、オペラ「椿姫」は世界のオペラ劇場の中でも最も上演回数が多い作品の一つに数えられています。「乾杯の歌」は第1幕に歌われるアリアで、主人公の男女がパーティで初めて出会う場面の歌です。 ♪ジーツィンスキー：ウィーンわが夢の街 （ソプラノ入り） ジーツィンスキー（1879－1952）は、ウィーンの作曲家・文筆家。この曲は「カーレンベルクの丘から下りてきたとき、夕日に満ちたウィーンの景色を眺めていて歌が浮かび」作曲されたといい、彼が生涯愛してやまなかったウィーンへの思いをノスタルジックな賛美を込めて歌い上げた歌曲です。			

	♪ベートーヴェン：交響曲第5番「運命」より《第1楽章》 冒頭の「ダダダダーン」で有名な交響曲第5番は、日本では「運命」の名で親しまれており、まさにクラシック音楽の代名詞と言っても過言ではありません。ベートーヴェンはこの曲を作曲した当時は難聴でほとんど耳が聞こえないという絶望的な状態でした。冒頭の旋律の意味を弟子に尋ねられて、彼は「運命の扉をたたく音」だ。と言った逸話は有名です。その難聴を乗り越えて作曲し、第1楽章の苦しみを乗り越えて第4楽章へと繋がってゆくという構成になっており、その「第1楽章」を聴いていただきます。 ♪ドヴォルザーク：交響曲第8番より《第4楽章》（中学校のみ） チェコの作曲家ドヴォルザークが作曲した交響曲で、第9番「新世界より」に次いで人気のある曲です。アメリカ滞在中に聞いた音楽から影響を受けた「新世界より」には無い、ボヘミアの自然や「民衆の声」といった民族的な旋律で鮮やかに彩られた作品で、特に第4楽章の第1主題（ボヘミアの民族舞踊）や中間部の原始的な響きの和音・リズムなど、ドヴォルザークらしさが随所に散りばめられています。
演目選択理由	◆本事業の目的と、平成29・30年度改訂 学習指導要領「生きる力」の《第2章 各教科第6節 音楽》を踏まえ、特に初めてオーケストラ音楽に触れる小学校1～2年向けの鑑賞教材にある「諸外国の行進曲や踊りの音楽など、身体反応の快さを感じ取りやすい音楽」を念頭に選曲いたしました。 ◆「小学校向けプログラム」オープニングの「天国と地獄」序曲の《カンカン》は、運動会では必ずBGMとして流れており、オーケストラの迫力ある音量に圧倒されながらも、おなじみのメロディが現れると子供たちは笑顔とともに体いっぱいリズムを取ります。ドヴォルザーク作曲スラブ舞曲第1番は初めて聴く曲かもしれませんが、親しみ易い3拍子が特徴のチェコの民族舞曲で、こちらも激しいリズムが特徴です。2拍子の舞曲からブラームス作曲ハンガリー舞曲第5番、弦楽器だけで演奏されるグリーグ作曲ホルベルク組曲より《前奏曲》も、躍動感に溢れています。 ◆公演の中盤には、「二期会21」から選抜されたソプラノ歌手が登場し、子供たちから大きな歓声と拍手が沸き起こります。本格的な舞台衣装を纏った歌手が「乾杯の歌」の壮麗なイントロが流れる中に現れ、子供たちの列の間を歌いながら指揮者の前へと進みます。オーケストラの伴奏に乗って体育館一杯に響き渡るその美しい歌声は、歌うことに親しんでいる子どもたちの心を一瞬でとりこにします。J.シュトラウス2世作曲の喜歌劇「こうもり」より「侯爵様、あなたのようなお方は」は、指揮者とともにオペラの一場面さながらに日本語で寸劇を行い大いに盛り上がります。そして「ウィーンわが夢の街」は、故郷ウィーンを愛する気持ちを切々と歌い上げるその歌詞の魅力を味わってもらおうべく、日本語訳で歌います。オケ単独に戻り「運命」では、冒頭の「タタタターン」の主題が何度も繰り返される不思議も感じていただければ幸いです。 ◆さんぽやビリーブなど、アニメ映画やTVなどで子供たちになじみ深く、かつ音楽的な内容の深い歌をオーケストラの伴奏と一緒に歌います。ソプラノ歌手の美しい張りのある歌声と、上手に歌うためのワンポイント・レクチャーに感化され、更に大きな声で積極的に歌う意識は高まり、その意識を児童・生徒どうしが共有するため、オーケストラと合唱が一つにまとまる一体感は、生涯を通して心に残る体験となるでしょう。 ◆通常ピアノ伴奏で歌う「校歌」も、オーケストラ用にアレンジして演奏すると、立体的に曲に広がり色彩感が加わります。歌い継がれている母校の校歌のすばらしさを、再認識させてくれることでしょう。 ◆「中学校向けプログラム」のメインの曲は、ドヴォルザーク：交響曲第8番です。初めて出会う曲とは思いますが、中学生の多感な感性に直接響くような、民族音楽的なリズムと旋律美に溢れており、一度聴いただけで親しみを覚えることが出来る名曲です

児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	①オーケストラの伴奏により、校歌をはじめ、学校の希望に合わせた数曲を歌っていただきます。プロフェッショナルの歌手による歌唱法のワンポイント・レクチャーは日本フィルが行う本公演の最大の特徴で、短時間の指導であっても児童・生徒の歌声に「見（聴き）違えるほど張りが出た」と、先生方も驚くような効果が期待されます。 ②中学校では、指揮者体験コーナーを設けます。事業内で体験できる人数は最大3名ですが、プロの音楽家の前に立ち、演奏を導く体験は生徒にとって得難いもので、指揮により演奏がどう変わるのか、オーケストラをリードするとはどういうことが、生徒自身が体験的に理解でき、実演に対する理解が深まります。 ③希望される学校には、小学校の指揮者体験、吹奏楽部との合同演奏など、各学校の状況に合った共演形態をご提案し、より充実した体験機会となるよう工夫いたします。		
出演者	指揮：海老原 光（日程により 他1名） ソプラノ：坂井田真実子「二期会21」所属（日程により 他1名） 管弦楽：日本フィルハーモニー交響楽団 2 管 12 型 ※編成は原則。会場条件等により変更する可能性があります *共演者については、エデュケーション・プログラムに豊富な実績をもつ日本フィルが演目内容によって、コーディネートいたします。		
公演出演予定者数 （1公演あたり）	出演者： 66 名 <u>スタッフ： 6 名</u> 合計： 72 名	機材等 運搬方法	積載量 4 t 車 長 8 m 台 数 1 台

【公演団体名 日本フィルハーモニー交響楽団】

公演に当たっての 会 場 条 件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安	前日仕込み(有・無) 会場設営の所要時間(1 時間程度)					
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	時	9 時～10 時	13 時 30 分～ 15 時	分	15 時～16 時	16 時
	※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。					
児 童 ・ 生 徒 の参加可能人数	ワークショップ	300 人(上限目安)				
	本公演	体育館の広さ次第です。舞台下から中央に向かって 9m幅が演奏スペースで、それ以外で児童・生徒が入れば、何人でも可。				
ワークショップ 実 施 形 態 及 び 内 容	◆事前ワークショップ 【音楽室探検ワークショップ】 日本フィルのヴァイオリン奏者、打楽器奏者の 2 名が学校の音楽室を訪問し、身近な環境で音楽家や演奏を親しく感じて頂く機会を作るとともに、児童・生徒と一緒に学校の音楽室にある楽器の魅力や合奏の魅力を発見します。内容は以下により構成されます。 ・ヴァイオリンによる演奏とワークショップ みなさんのよく知っている「キラキラ星」のメロディを、ヴァイオリンが様々なテンポと表情で次々と変奏し、それに対しメロディに相応しい打楽器と奏法で伴奏します。 また、ヴァイオリンと弓の構造や音の出るしくみをソロ演奏とともにわかりやすく解説する楽器紹介の時間も設けます。 ・打楽器による演奏とワークショップ タンバリンや小太鼓や木琴等、学校が所有し児童が普段手にしている楽器を中心に取り上げ、一般的な奏法やプロならではの特殊奏法を解説しながら演奏します。楽器の演奏法ついて理解を深めるとともに、楽器に親近感を感じ、興味を持つきっかけを創ります。また、音楽室には普段の器楽合奏にはあまり使用しない、ボンゴやギロ等のラテン楽器もあります。これらの珍しい音色とその正しい奏法も、感じて頂きます。 ・アンサンブル ヴァイオリンとマリンバの合奏で、「輪唱(2人ともメロディ)」「メロディと伴奏」という形態の違いを、クイズ形式で答えていただき、楽曲の仕組みを発見していただきます。また楽員2人による、スティーブ・ライヒ:「クラッピング・ミュージック」をとりあげ、手拍子による音楽の発展形を皆さんに理解していただきます。 ・生徒との共演 全員参加で、手拍子によるリズム体験をします。低学年でも理解できるシンプルなリズムパターンを提示し、別のグループにはそのリズムパターンに 1 拍を追加します。2グループが同時進行するミニマル・ミュージックの手法により、不思議な音楽空間が生まれます。 ※その他: 小学校では金管バンド、中学校では吹奏楽部が活動する学校では、普段から楽器を使用しメンテナンスも行き届いていますが、それ以外の学校では近年、手入れがされていない楽器も散見されます。学校の状況にもよりますが、日本フィルのワークショップには打楽器のメンテナンスの指導も盛り込み、「楽器を大切に扱う」ことも学んで頂きます。					

ワークショップ 実施形態の意図	【音楽室探検ワークショップ】 音楽室という身近な環境ならではの児童生徒とのコラボレーションの可能性の拡大を最も大切に考え、以下の点を意識してワークショップを構成いたします。 ①ヴァイオリンがメロディを担当し、打楽器がリズムとハーモニー(マリンバ使用)を担当という演奏家2人という最小単位でのアンサンブルが児童生徒の目の前で奏でるからこそ、音楽の構成をシンプルに理解していただきやすい環境である。 ②1人の演奏家が様々な打楽器によりリズムの実演をすることによって、2拍子や3拍子や4拍子等、リズムに対しわかりやすさが広がりやすくなります。このワークショップが、オーケストラ公演のテーマである「様々なリズムを、踊り中心の音楽で感じよう」につながり、更には合奏の形態の違いを、オーケストラ演奏の中で発見することが出来ます。 ③身近な打楽器、いつも音楽の授業で触っている小太鼓、タンバリンなどの楽器でも、プロの演奏家がさまざまな奏法で鳴らすと、いままで知らなかった不思議な音がします。このワークショップを通して学校にある楽器の音を「発見」していただき、日頃の授業で更に深く音楽への興味を持って頂く機会へとつなげます。 ④メロディを演奏するヴァイオリン奏者が音楽史と音楽の形式について話し、音楽全般について視野を広げる機会もつくります。 ⑤手拍子のワークショップは、全員でテンポを揃えなければ効果がありません。互いのリズムを聴き合おうとする姿勢によって、音楽の基本である「コミュニケーション」の能力向上が日常生活へよい影響を及ぼすことを期待します。 ⑦本公演で演奏する、ベートーヴェンの「運命」の動機もミニマル・ミュージックと説明し、本公演への興味へと繋げます。 これらにより、身近な音楽室の楽器、そしてオーケストラへ。音楽への興味を自然に引き出すワークショップです。
特別支援学校での実施における工夫点	状況に応じて、参加型のクイズ・コーナーや手拍子のワークショップのボリュームを縮小し、鑑賞中心にしたり、楽員の伴奏による校歌斉唱に変更することも可能です。
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。

海老原 光	指揮者
坂井田 真実子	ソプラノ
物集女 純子	コンサートマスター
九鬼 明子	1st Violin
斎藤 千種	1st Violin
齋藤 政和	1st Violin
佐々木 裕司	1st Violin
田村 昭博	1st Violin
榊 渚	1st Violin
中谷 郁子	1st Violin
西村 優子	1st Violin
平井 幸子	1st Violin
本田 純一	1st Violin
松本 克巳	1st Violin
遠藤 直子	2nd Violin
大貫 聖子	2nd Violin
加藤 祐一	2nd Violin
神尾 あずさ	2nd Violin
川口 貴	2nd Violin
佐藤 駿一郎	2nd Violin
竹内 弦	2nd Violin
豊田 早織	2nd Violin
山田 千秋	2nd Violin
太田 麻衣	2nd Violin
小中澤 基道	Viola
小池 拓	Viola
松澤 稚奈	Viola
高橋 智史	Viola
小俣 由佳	Viola
中川 裕美子	Viola
中溝 とも子	Viola
フリー	Viola
江原 望	Cello
大澤 哲弥	Cello
久保 公人	Cello
石崎 美雨	Cello
山田 智樹	Cello
横山 桂	Cello

39	菅原 光	Contrabass
40	高倉 理実	Contrabass
41	高山 智仁	Contrabass
42	成澤 美紀	Contrabass
43	真鍋 恵子	Flute
44	柴田 勲	Flute (Piccolo)
45	松岡 裕雅	Oboe
46	中川 二郎	Oboe
47	伊藤 寛隆	Clarinet
48	楠木 慶	Clarinet
49	鈴木 一志	Fagotto
50	田吉 佑久子	Fagotto
51	宇田 紀夫	Horn
52	伊藤 恒男	Horn
53	原川 翔太郎	Horn
54	村中 美菜	Horn
55	星野 究	Trumpet
56	中里 州宏	Trumpet
57	岸良 開城	Trombone
58	伊波 睦	Trombone
59	中根 幹太	Bass Trombone
60	柳生 和大	Tuba
61	松井 久子	Harp
62	遠藤 功	Percussion
63	福島 喜裕	Percussion
64	エリック・パケラ	Percussion
65	フリー	Percussion
66	フリー	Percussion
67	阿部 紋子	Stage
68	フリー	Stage
69	フリー	Stage
70	フリー	Stage
71	フリー	Stage
72	高橋 勇人	Office

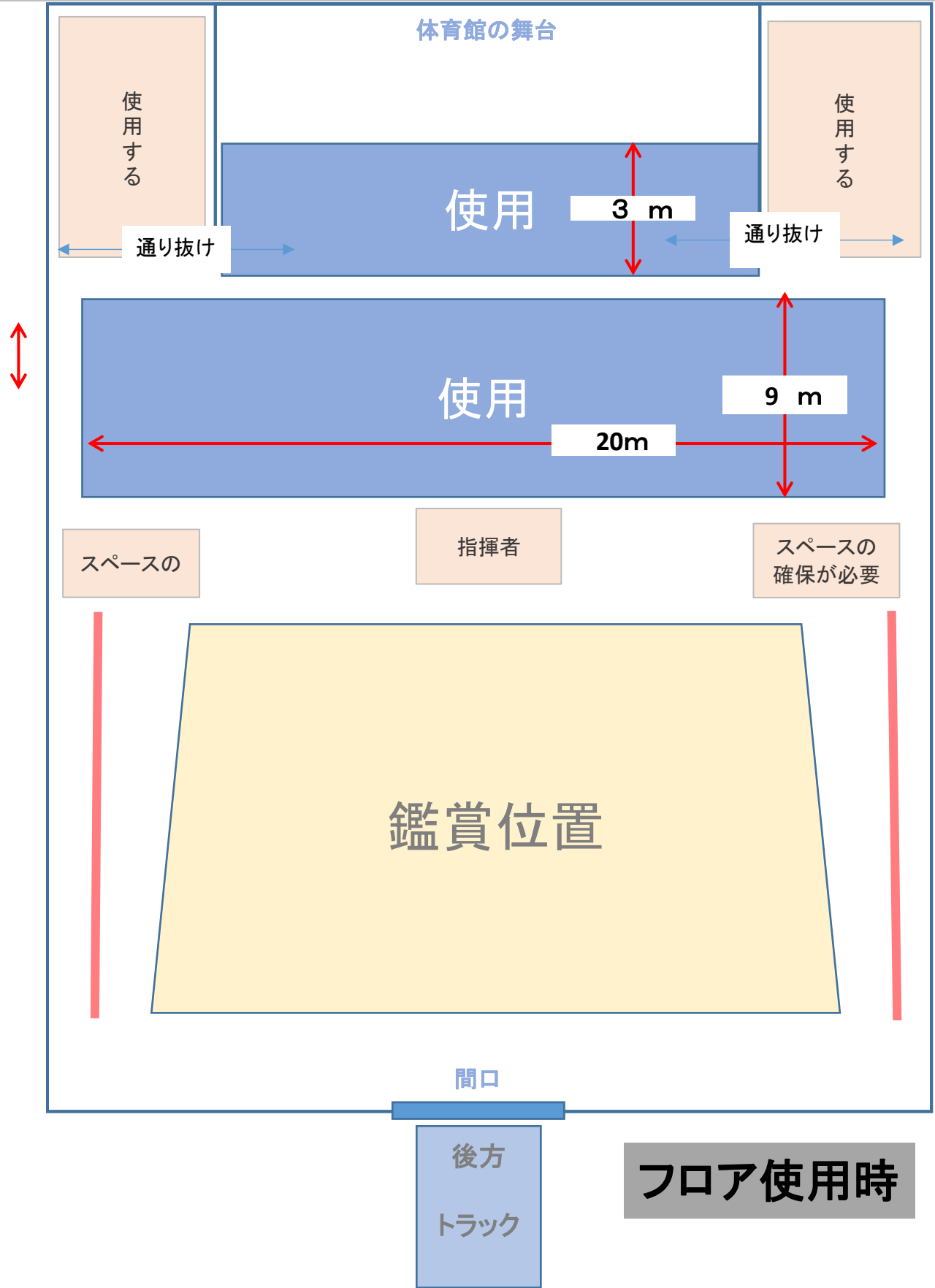
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	F61	分野	音楽	種目	オーケストラ等	ブロック	F	区分	A区分
公演団体名	日本フィルハーモニー交響楽団				制作団体名	公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数 *	5室	条件		小部屋(指揮者1、ソプラノ1、コンマス1)、30人収容大部屋(男性1、女性1) * 中部屋で(男性2、女性2)も可。			
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			4tトラック 1台		大型バス 2台		
	不可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			4tトラック(大きさ=修学旅行時に使用する大型バス1台分)				
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			問わない				
	可	搬入経路の最低条件			体育館と、屋根のある動線で繋がる建物への横付けは必須条件をお願いします。渡り廊下に荷下ろしでも可です。修学旅行のバスが校内に入り、体育館に横付けできるかでイメージ願います。				
		理由			大型楽器にて地面の移動は不可です。雨天対策で屋根も必須です。				
	可	設置階の制限 *			問わない(間口の広いエレベーターがあれば2階以上でも可です。)				
	不可	搬入間口について 単位:メートル	幅	3m	高さ	2m			
WSについて	可	参加可能人数		体育館だと300人程度までがありがたいです。1学年で音楽室でも可能です。					
	可	学年の指定の有無 *		なし	指定学年 *	なし			
	可	所要時間の目安 単位:分		45分					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの 所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイム スケジュール)」の目安をご参照ください。					
	可	鑑賞可能人数		体育館の広さ次第です。舞台下から中央に向かって9m幅が演奏スペースで、それ以外で児童・生徒が入れば、何人でも可					
	可	舞台設置場所 *		ステージ上・フロアの両方					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル	幅	20m	奥行	9m	高さ	指定なし	
	可	体育館の舞台を使用する 場合の条件	舞台袖スペースの確保 *			要(用具をある程度寄せて頂けるとありがたいです)			
	可		舞台袖スペースの条件 *			多少の楽器ケース等が置けるスペース			
	—		緞帳 *	不要	バトン *	不要			
	可	遮光(暗幕等)の要否 *		要	理由	時期と時間により遮光のため			
	—	ピアノの調律・移動の要 否	指定位置へのピアノの 移動 *		不要	※指定位置は会場設置図面に て御確認ください。			
	—		ピアノの事前調律 *		不要				
	可	フロアを使用する場合の 条件	バスケットゴールの設 置状況 *		格納されていれば可				
	—	公演に必要な電源容量		不要		※主幹電源の必要容量			
	その他特記事項								
	可	楽器運搬トラックや大型バスの経路に、低い木の枝などが無いか?もご確認願います。							

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	3m	高さ	2m
搬入車両の横づけの可否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		体育館と、屋根のある動線で繋がる建物への横付けは最低条件です。渡り廊下に荷下ろしでも可です。修学旅行のバスが校内に入り、体育館に横付けできるかイメージ願います。		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

日本フィルハーモニー交響楽団

「文化芸術による子供育成総合事業」

～巡回公演事業～

「事前ワークショップ」



ヴァイオリンと打楽器の奏者が、アンサンブルのしくみを楽しく解りやすく解説。学校の音楽室にある、日常、児童・生徒さんが使用している打楽器をお借りし、プロの演奏家がその妙技を披露すると、会場は「すごーい！」の歓声で一杯になります。また、みんなで簡単な手拍子を使った参加型のワークショップを行います

「オーケストラ公演」



小学校では、「楽器紹介」で木管・金管奏者が、児童の目の前に進み、その特徴ある音色をソロで演奏します。弦楽器・木管楽器・金管楽器・打楽器、それぞれの楽器グループでのアンサンブルもあり、楽しくも内容の濃い楽器紹介です。



オーケストラ公演の中盤に、舞台衣装をまとったソプラノ歌手が登場し、体育館をいっそう華やかな空間にします。普段から合唱に親しんでいる児童・生徒たちも、体育館いっぱいに響き渡るソプラノの美しい歌声に、歌のすばらしさを再認識しているようです



児童・生徒さんたちの合唱による「ビリーブ」や「さんぽ」そして「校歌」は、オーケストラと音楽を創る共同作業です。その冒頭、ソプラノ歌手が、「良い声」を出すための心構えと「コツ」を簡単にレクチャー。オーケストラに負けない元気な歌声が会場いっぱいに鳴り響きます。



中学校では「指揮者体験コーナー」が大好評。音楽系クラブに所属しているかは問いません。最初は緊張していた生徒も、指揮者のレクチャーで立派なタクトさばきに。また指揮のテンポの違いで、曲想が変わることにも気づかされる瞬間でもあります。

VI 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目(該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, <u>オーケストラ等</u> , 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ・A区分とB区分の両方・C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり・なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきざいだんほうじん ぐんまこうきょうがくだん 公益財団法人 群馬交響楽団		
代表者職・氏名	代表理事 荻澤 滋		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒370-8501 群馬県高崎市高松町35番地1 JR 高崎駅下車 徒歩10分		
電話番号	027-322-4316	FAX番号	027-322-4943
ふりがな 公演団体名	ぐんまこうきょうがくだん 群馬交響楽団		
代表者職・氏名	代表理事 荻澤 滋		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒370-8501 群馬県高崎市高松町35番地1 JR 高崎駅下車 徒歩10分		
制作団体 設立年月	昭和20年11月		
制作団体 組織	役職員 代表理事 荻澤 滋(群馬県副知事) 他4名 専務理事 藪原 博 常務理事 渡会裕之	団体構成員及び加入条件等 団体構成員 別紙「役員名簿」「評議員名簿」「楽団員名簿」参照 加入条件等 理事及び監事は、評議員会において選任する。 評議員は、評議員会において選任する。	
事務体制の担当	<u>専任</u> ・他の業務と兼任	本事業担当者名	小林和広
経理処理等の 監査担当の有無	<u>有</u> ・無	経理責任者名	金谷茂康(総務課長)R1.8 現在

制作団体沿革	1945 年戦後の荒廃の中で文化を通した復興を目指して創立、1955 年「群響」をモデルに制作された映画「ここに泉あり」が公開され、全国的に注目を集めた。1947 年から始めた移動音楽教室は、2018 年度までに延べ 638 万人を超える児童・生徒が鑑賞した。1982 年からは高校音楽教室が開催されるなど、群馬県の文化の象徴として県民から幅広く支持されている。 1981 年からは群馬県の支援により音楽活動を充実させ、1994 年には「プラハの春国際音楽祭」、「ウィーン芸術週間」から同時に招待を受け 4 カ国を巡る海外公演を実現。 2003 年には NHK テレビ番組「プロジェクト X ～挑戦者たち～」で楽団の草創期が紹介され、2004 年には天皇皇后両陛下、デンマーク国女王陛下同王配殿下をお迎えしての移動音楽教室を開催した。2014 年 6 月には定期演奏会が 500 回に達し、2015 年 11 月には創立 70 周年を迎えた。 群馬交響楽団は、定期演奏会、移動音楽教室をはじめ幅広い音楽活動を展開しており、2019 年 4 月より小林研一郎がミュージック・アドバイザーとして就任し、更なる演奏活動の飛躍・向上を目指している。 1966 年「朝日・明るい社会賞」、1983 年文部大臣「地域文化功労者」団体表彰、1989 年 第 11 回山本有三記念「郷土文化賞」、1994 年「日本文化デザイン賞」、1995 年「第 4 回日本生活文化大賞特別賞」、2001 年 日本放送協会「関東甲信越 地域放送文化賞」受賞、2017 年県民芸術祭 40 周年記念表彰。															
学校等における 公演実績	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>平成 30 年度実績</td> <td>平成 29 年度実績</td> <td>平成 28 年度実績</td> </tr> <tr> <td>移動音楽教室</td> <td>42 日 76 公演</td> <td>41 日 74 公演</td> <td>35 日 62 公演</td> </tr> <tr> <td>高校音楽教室</td> <td>22 日 24 公演</td> <td>23 日 24 公演</td> <td>22 日 24 公演</td> </tr> </table>		平成 30 年度実績	平成 29 年度実績	平成 28 年度実績	移動音楽教室	42 日 76 公演	41 日 74 公演	35 日 62 公演	高校音楽教室	22 日 24 公演	23 日 24 公演	22 日 24 公演			
	平成 30 年度実績	平成 29 年度実績	平成 28 年度実績													
移動音楽教室	42 日 76 公演	41 日 74 公演	35 日 62 公演													
高校音楽教室	22 日 24 公演	23 日 24 公演	22 日 24 公演													
特別支援学校に おける公演実績	上記移動音楽教室に合同で参加した過去 3 年度分の実績 平成 30 年度 5 校 108 人 平成 29 年度 5 校 98 人 平成 28 年度 5 校 75 人															
参考資料の 有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等 申請する演目の DVD または WEB 公開資料 ※公開資料有の場合 URL ※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	有 ・ 無 有 ・ 無 DVD を提出 ID: PW:													
	A の 提出が 困難な 場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料 ※公開資料有の場合 URL ※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	有 ・ 無 ID: PW:													

公 演 ・ ワークショップの 内 容

【公演団体名 群馬交響楽団】

対 象	小学生(低学年 ・ 中学年 ・ 高学年) ・ 中 学 生				
企画名	オーケストラの魅力大発見！一緒に歌おう・奏しよう！！				
本公演演目	・ロッシーニ／歌劇《ウィリアム・テル》序曲 から「スイス軍の行進」(5 分) ・シュトラウスⅡ世／ワルツ《春の声》 作品 410 (6 分) ・大橋晃一／《草津節》の主題による楽器紹介曲 (15 分) ・選択コーナー(共演コーナー)※下記 a～d より選択				
原作／作曲	a・合奏(吹奏楽部等による共演例)				
脚 本	校歌				
演出／振付	スーザ／星条旗よ永遠なれ				
	シベリウス／交響詩《フィンランディア》				
	シュトラウスⅡ世／トリッチ・トラッチ・ポルカ(吹奏楽編曲)				
	フォーレ／《ドリー》組曲より「子守歌」「ミ・ア・ウ」「スペインの踊り」(吹奏楽編曲)				
	b・合唱(合唱部等との共演は、希望校毎に調整。ただしオーケストラ楽譜のあるもの。)				
	c・一緒に歌おう(下記の中から選択)				
	「となりのトトロ」から さんぽ／子どもの世界／大きな古時計				
	夏の思い出／世界に一つだけの花／翼をください／ビリーブ				
	d・指揮者体験コーナー				
	・校歌(5 分)				
	・ブラームス／ハンガリー舞曲 第5番 (3 分)				
	・エルガー／愛のあいさつ 作品 12 (4 分)				
	・ビゼー／歌劇「カルメン」から				
	前奏曲、序奏、アラゴネーズ、間奏曲、				
	アルカラの竜騎兵、ジプシーの踊り(15 分)				
	公演時間(約80分)				
著作権	制作団体が 所有	○	制作団体以外が所有する事 項が含まれる	有	(制作団体以外が所有す る事項が含まれる場合) 許諾の有無
演 目 概 要	耳馴染みのあるクラシックの名曲を、ダイナミックなオーケストラで聴いていただくプログラムです。オーケストラでクラシック音楽を聴いたと言う充実した音楽鑑賞の機会になるように企画しております。歌劇のストーリーや成り立ち、管弦楽においては作曲者の生涯や作曲した経緯を、司会者や指揮者自ら解説をしながら解りやすく進行いたします。初めてオーケストラを聴く子どもたちに生演奏のおもしろさ、楽しさ、そして一緒に共演する事の喜びを実感していただける内容です。 選択コーナー ：校種及び生徒の態様に応じ、合奏・合唱・全校合唱・指揮者体験からの選択が可能です。				
演 目 選 択 理 由	初めてクラシックを聴く児童・生徒にもオーケストラの魅力を感じていただけるように、一度は聴いたことのある名曲を取り混ぜて、クラシック音楽・オーケストラを好きになっていただく様に選曲をしています。特に「草津節の主題による楽器紹介曲」は、群馬県の特徴を生かした生の音楽を全国に届けたいとの思いで、地元の民謡の一つである「草津節」をモチーフに、オーケストラの楽器を分かりやすく紹介する為に作曲しました。そして、オーケストラの楽しさ・雄大さを実感していただき、子どもの豊かな感性の向上と豊かな情操の涵養をはかれるよう考えております。				
児 童 ・ 生 徒 の 共 演 , 参 加 又 は 体 験 の 形 態	対象校の全校児童・生徒に、校歌をオーケストラ伴奏で歌って参加して頂きます。吹奏楽部の参加希望がある場合は、オーケストラの中に入ってもらい一緒に演奏して頂きます。また、プログラム中に手拍子で参加してもらう箇所を設けておりますので、より一層一体感を感じて演奏会に参加できます。				

出 演 者	指揮者：鈴木織衛、大井剛史、中田延亮、林 直之、伊藤 翔、和田一樹 司会者：藤尾久美子、阿形深雪、鈴木美知瑠 管弦楽：群馬交響楽団（２管１０型）		
公演出演予定者数 （１公演あたり）	出 演 者： 60 名 ス タ ッ プ： 7 名 合 計： 67 名	機 材 等 運搬方法	積載量 4t 車 長 9m 台 数 1 台

公演に当たっての 会 場 条 件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	前日仕込み(有 (無) 会場設営の所要時間(2時間程度) 【A】 午前中体育館でリハーサルを <u>する</u> 場合 【B】 午前中体育館でリハーサルを <u>しない</u> 場合					
	到着	仕込み/リハーサル	本公演	休	撤去	退出
A	8:00 頃	8:00~10:00/10:30~12:45	14:00~15:20	無	15:30~16:30	17:00
B	10:00 頃	10:00~12:00	13:30~14:50	無	15:00~16:00	16:30
※本公演時間の目安は、午後1時乃至2時からの概ね2時限分程度です。						
児 童 ・ 生 徒 の 参加可能人数	ワークショップ	対象校全学年対象。				
	本公演	体育館の広さにもよりますが、500 名程度が上限。 ●オーケストラの配置が確保出来た上で、体育館に収容可能であれば問題ありません。				
ワークショップ 実 施 形 態 及 び 内 容	〔基本〕 演奏会当日の鑑賞がより充実するよう鑑賞のポイントをレクチャーするとともに、演奏者及びオーケストラが身近に感じられるようミニ演奏会を開催。また、楽器に触れて頂き、音が出る所までを演奏者が直接指導する。 〔状況に応じて〕 ア 吹奏楽等との共演を選択の場合 楽団員数名が伺い共演のための演奏指導を行う。また、希望により吹奏楽部員への楽器セミナーを行う。(実際の共演の実情を勘案し指揮者を派遣する場合もある。) イ 合唱部等との共演を選択の場合 楽団員数名とピアノの伴奏者が伺い共演のための演奏指導を行う。(実際の共演の実情を勘案し指揮者を派遣する場合もある。)					
ワークショップ 実施形態の意図	オーケストラの基本である弦楽四重奏や、オーケストラで特徴ある管楽器の音色などを余す所なく堪能できるように紹介をします。オーケストラを構成する楽器を事前に紹介することによって、「オーケストラとはどんな物か」と興味がわき、本公演がより一層楽しみで充実した物にします。					
特別支援学校での 実施における工夫 点	群馬交響楽団では、年間数校の特別支援学校も含めた音楽教室を実施しております。通常の学校と同様に扱い、平等性を確保できるように心がけております。また、リズム感に関しては、鋭い感性を持った生徒もいることから、リズム感のある曲目を含んだプログラムとなるよう工夫しております。					

実 施 可 能 時 期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。
-------------	------------------------

公益財団法人群馬交響楽団 役員名簿

令和元年6月26日現在

	職	氏名	備考
1	理事長	大澤 正明	群馬県知事
2	副理事長	富岡 賢治	高崎市長
3	副理事長	狩野 浩志	群馬県議会議長
4	副理事長	荻澤 滋	群馬県副知事
5	副理事長	内山 充	(株)上毛新聞社代表取締役社長
6	副理事長	齋藤 一雄	(株)群馬銀行代表取締役会長
7	専務理事	藪原 博	元群馬県職員
8	常務理事	渡会 裕之	元群馬交響楽団ヴァイオリン奏者
9	理事	宇沢 充圭	セント・メセナの会副会長 慶友整形外科病院理事長
10	理事	笠原 寛	群馬県教育委員会教育長
11	理事	風間 まり子	群馬県商工会女性部連合会会長
12	理事	児玉 正藏	高崎商工会議所会頭
13	理事	須藤 英仁	(公社)群馬県医師会会長
14	理事	曾根 光広	高崎市総務部長
15	理事	高橋 伸二	上毛倶楽部理事長 高橋三兄弟法律事務所長 弁護士
16	理事	角田 淑江	群馬県生活文化スポーツ部長
17	理事	藤井 稔	全国健康保険協会群馬支部長
18	理事	八木 議廣	(一社)群馬県経営者協会会長
19	理事	吉田 勝彦	群馬県中小企業団体中央会会長

1	監事	松島 宏明	M'sパートナー税理士法人代表社員
2	監事	小林 一仁	(株)小林ビジネスセンター代表取締役

公益財団法人群馬交響楽団 評議員名簿

平成31年4月1日現在

	職	氏名	備考
1	評議員	明石 智治	群馬テレビ(株)常勤特別顧問
2	評議員	上原 克文	高崎市総務部文化課長
3	評議員	小野 善平	群響を応援する県民の会(群響ファンズ)会長
4	評議員	塩崎 政江	前橋市教育委員会教育長
5	評議員	清水 一也	(株)しみづ農園代表取締役会長
6	評議員	竹内 一普	(株)プリエッセ代表取締役社長 高崎市教育委員
7	評議員	田村 滋	元 県立高校教諭
8	評議員	堤 志行	(公財)高崎財団評議員
9	評議員	中澤 照雄	新みかぼフィルハーモニック団長 行政書士
10	評議員	中森 隆利	日本ピアノホールディング(株)代表取締役
11	評議員	根岸 弘	関東学園大学附属高等学校校長
12	評議員	松岡マキ子	松岡美術研究所代表
13	評議員	松原 眞介	群馬音楽協会会長 群馬県合唱連盟理事長
14	評議員	宮崎 謹一	(公財)群馬草津国際音楽協会監事
15	評議員	森田 徹	群馬県生活文化スポーツ部文化振興課長

	ポジション	氏 名	役 職 等
1	コンサートマスター	伊藤 文乃	コンサートマスター
2	ヴァイオリン	秋葉 美果	首席奏者
3	ヴァイオリン	山本 はづき	首席奏者
4	ヴァイオリン	栗田 則子	
5	ヴァイオリン	高 杉	
6	ヴァイオリン	小松 英都	
7	ヴァイオリン	小宮山 孝	
8	ヴァイオリン	佐野 隆	
9	ヴァイオリン	竹内 千尋	
10	ヴァイオリン	棚田 敦子	
11	ヴァイオリン	筒井 志帆	
12	ヴァイオリン	西谷 康子	
13	ヴァイオリン	原 美和子	
14	ヴァイオリン	古橋 綾子	
15	ヴァイオリン	松本 花菜	
16	ヴァイオリン	宮澤 直樹	
17	ヴァイオリン	宮澤 豊子	
18	ヴァイオリン	山田 修平	インスペクター
19	ヴィオラ	池田 美代子	首席奏者
20	ヴィオラ	渡邊信一郎	首席奏者
21	ヴィオラ	植村 貴雄	
22	ヴィオラ	太田 玲奈	
23	ヴィオラ	田岡 幸子	
24	ヴィオラ	戸塚 伊理一	
25	チェロ	長瀬 夏嵐	首席奏者
26	チェロ	栗田 将幸	
27	チェロ	中田 英一郎	
28	チェロ	ファニー・プサルグ	
29	コントラバス	市川 哲郎	首席奏者
30	コントラバス	片倉 宏樹	首席奏者
31	コントラバス	石神 悠	
32	コントラバス	吉見 雄二	
33	コントラバス	若林 昭	
34	フルート	白水 裕憲	
35	フルート	中條 秀記	第一奏者
36	フルート	パウエル・フォルティン	第一奏者
37	オーボエ	小宮山 美香	
38	オーボエ	渡邊 潤也	第一奏者
39	オーボエ	高崎 智久	第一奏者

	ポジション	氏 名	役 職 等
40	クラリネット	高子 由佳	
41	クラリネット	千葉 理	
42	クラリネット	西川智也	第一奏者
43	クラリネット	野田 祐介	第一奏者
44	ファゴット	石川 了一	第一奏者
45	ファゴット	奈波 和美	第一奏者
46	ファゴット	西岡 千里	
47	ホルン	関本 隆夫	
48	ホルン	竹村 淳司	第一奏者
49	ホルン	濱地 宗	第一奏者
50	ホルン	向井 正明	
51	トランペット	小木曾 聡	
52	トランペット	太田 恭史	第一奏者
53	トランペット	牧野 徹	
54	トランペット	森重 修実	
55	トロンボーン	越智 大輔	
56	トロンボーン	棚田 和彦	第一奏者、インスペクター
57	バストロンボーン	石原 左近	
58	チューバ	松下 裕幸	第一奏者
59	パーカッション	堀川 正彦	
60	パーカッション	三橋 敦	第一奏者
61	パーカッション	山本 貢大	

		氏 名	役 職 等
1	事務局員	藪原 博	専務理事
2	事務局員	渡会 裕之	常務理事兼音楽主幹
3	事務局員	松本 佳祝	事務局長
4	事務局員	悴田 和之	次長
5	事務局員	金谷 茂康	総務課長
6	事務局員	多胡 尚徳	企画広報課長兼事業課長
7	事務局員	伊藤 千絵	
8	事務局員	植杉 恵里	
9	事務局員	大畠 しのぶ	
10	事務局員	川村 十朱子	
11	事務局員	小林 和広	
12	事務局員	島田 遣斗	
13	事務局員	深堀 愛香	
14	事務局員	吹田 悦雄	
15	事務局員	室賀 俊秀	

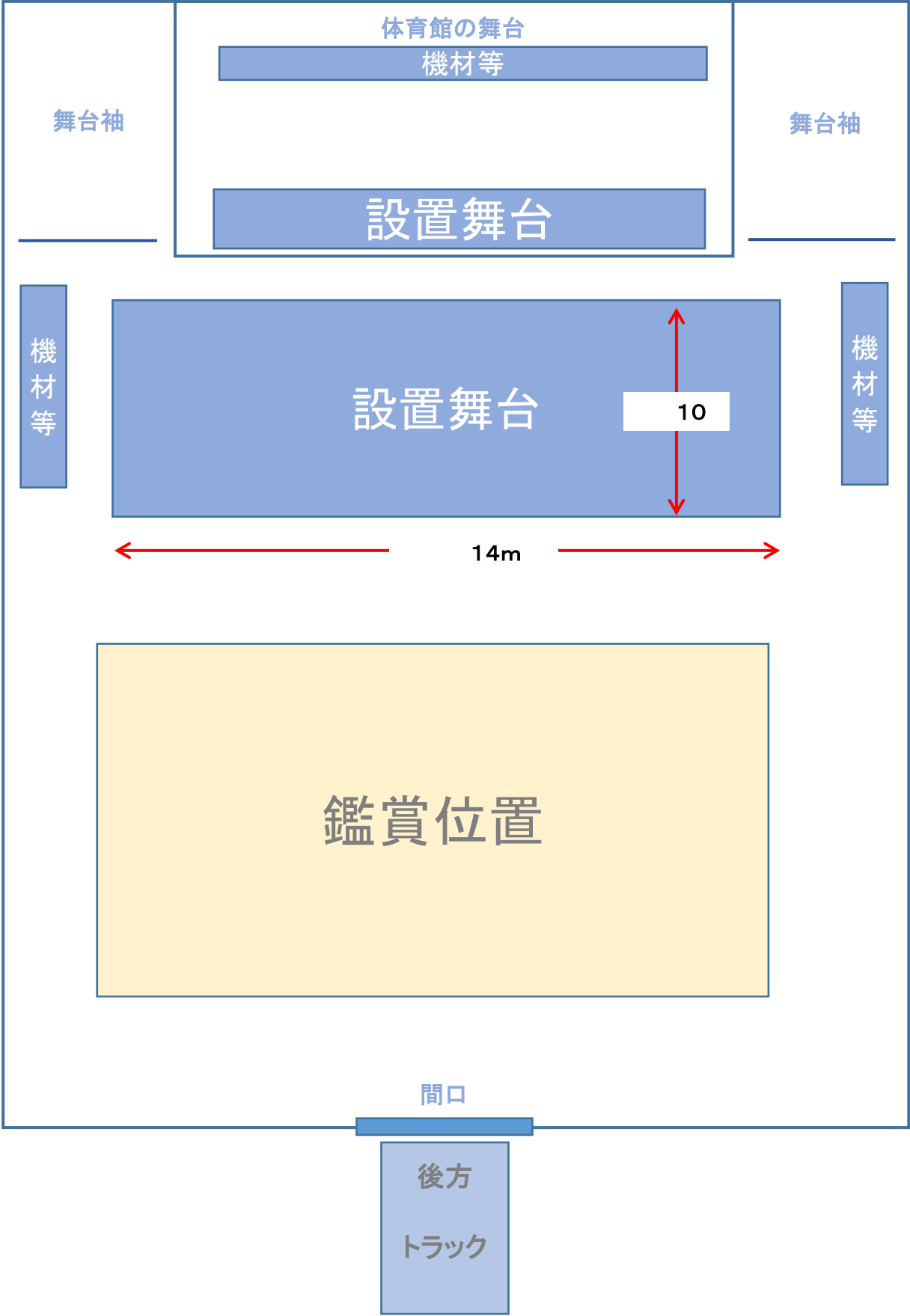
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	F62	分野	音楽	種目	オーケストラ等	ブロック	F	区分	A区分
公演団体名	群馬交響楽団				制作団体名	公益財団法人 群馬交響楽団			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数 *	5室	条件		指揮者、司会者、コンサートマスター、男性、女性の着替え用である為、カーテンがある部屋が望ましい。			
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			4tトラック 1台		大型バス 3台		
	不可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			4tトラック(ロング)				
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			10m以内				
	可	搬入経路の最低条件			・できる限り階段のない経路が望ましい。 ・屋根のある経路が望ましい。				
		理由			高価な楽器を扱うため。				
	可	設置階の制限 *			1階が望ましい。				
	可	搬入間口について 単位:メートル		幅	2m	高さ	1.8m		
WSについて	可	参加可能人数			基本的に全児童・生徒(本公演で鑑賞する児童・生徒対象)				
	可	学年の指定の有無 *		なし	指定学年 *		なし		
	可	所要時間の目安 単位:分		80分(途中休憩なし)					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安をご参照ください。				
	可	鑑賞可能人数			体育館の広さにもよるが、500名程度が上限。(オーケストラの配置が確保出来た上で、体育館に収容可能であれば問題ない)				
	可	舞台設置場所 *			ステージ上・フロアの両方				
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	16m	奥行	10m	高さ	指定なし
	可			舞台袖スペースの確保 *		要			
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件		舞台袖スペースの条件 *		必須ではないが、物が少ない方が望ましい。			
	緞帳 *			不要		バトン *	不要		
	可	遮光(暗幕等)の要否 *			要	理由	楽器に日差しが直射する場合は使用。		
	一	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *		※指定位置は会場設置図面に御確認ください。			
	ピアノの事前調律 *								
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可			
	可	公演に必要な電源容量			高容量は必要としない ※主幹電源の必要容量				
	その他特記事項								
	可	ワイヤレスマイク2本、演奏者用椅子約100脚が必要となります。							

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	2m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		10m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

ぐんまこうきょうがくだん
群馬交響楽団 Gunma Symphony Orchestra

1945年戦後の荒廃の中で文化を通じた復興を目指して創立、1955年「群響」をモデルに制作された映画「ここに泉あり」が公開され、全国的に注目を集めた。1947年から始めた移動音楽教室は、2018年度までに延べ638万人を超える児童・生徒が鑑賞した。2014年6月には定期演奏会が500回に達し、2015年11月には創立70周年を迎えた。群馬交響楽団は、定期演奏会、移動音楽教室をはじめ幅広い音楽活動を展開しており、2019年4月より小林研一郎がミュージック・アドバイザーとして就任し、更なる演奏活動の飛躍・向上を目指している。

☆ プロフィール ☆

指揮：鈴木織衛 Orié Suzuki, conductor

オーケストラ・アンサンブル金沢専任指揮者、東京藝術大学指揮科講師。東京藝術大学指揮科、同大学院卒。遠藤雅古、松尾葉子両氏に師事。藝大在学中にピアニストとしてデビュー。その後は、日本屈指のオペラ団体・二期会において、数々の作品に指揮者、合唱指揮者、コレペティとして参加。また、斉田正子、錦織健氏など人気声楽家とも多数共演する。1996年、ベルリンでのドイツ室内管弦楽団定期演奏会でコンサート指揮者デビュー。これまでに、東京フィル、札幌響、群馬響、名古屋フィル、広島響、オーケストラ・アンサンブル金沢等を指揮。また、ポップス等クラシック以外のアーティストにも信頼が厚く、レコーディングにも数多く参加している。

指揮：松井慶太 Keita Matsui, conductor

1984年青森県生まれ。2007年、東京音楽大学指揮科卒業。指揮を広く上りおおよび汐澤安彦に師事。第15回東京国際音楽コンクール入賞・奨励賞受賞(2009年)。東京混声合唱団コンダクター・イン・レジデンス(2011～18年3月)。N響定期演奏会でルイーゼらのもと合唱指揮を務める(2008～14年)。国内では群馬、仙フィル、日フィル、アンサンブル金沢など、海外ではドナウ交響楽団(ブダペスト)、プラハ交響楽団室内オーケストラを指揮している。

※演奏会の指揮をするのは上記の指揮者の中から一人です。

知ってますか? ～10月1日は「国際音楽の日」です～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることとしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

☆ 実施日程 ☆

実施日程	実施校	地元主催者
2019.10.1(火)	田原市立六連小学校	愛知県教育委員会/田原市教育委員会
2019.10.2(水)	田原市立赤羽根小学校	愛知県教育委員会/田原市教育委員会
2019.10.3(木)	豊田市立浄水北小学校	愛知県教育委員会/豊田市教育委員会
2019.10.4(金)	津島市立西小学校	愛知県教育委員会/津島市教育委員会
2019.11.11(月)	横浜市立南本宿小学校	横浜市教育委員会
2019.11.12(火)	中井町立中井中学校	神奈川県教育委員会/中井町教育委員会
2019.11.13(水)	伊勢原市立大田小学校	神奈川県教育委員会/伊勢原市教育委員会
2019.11.14(木)	清水町立南中学校	静岡県

令和元年度

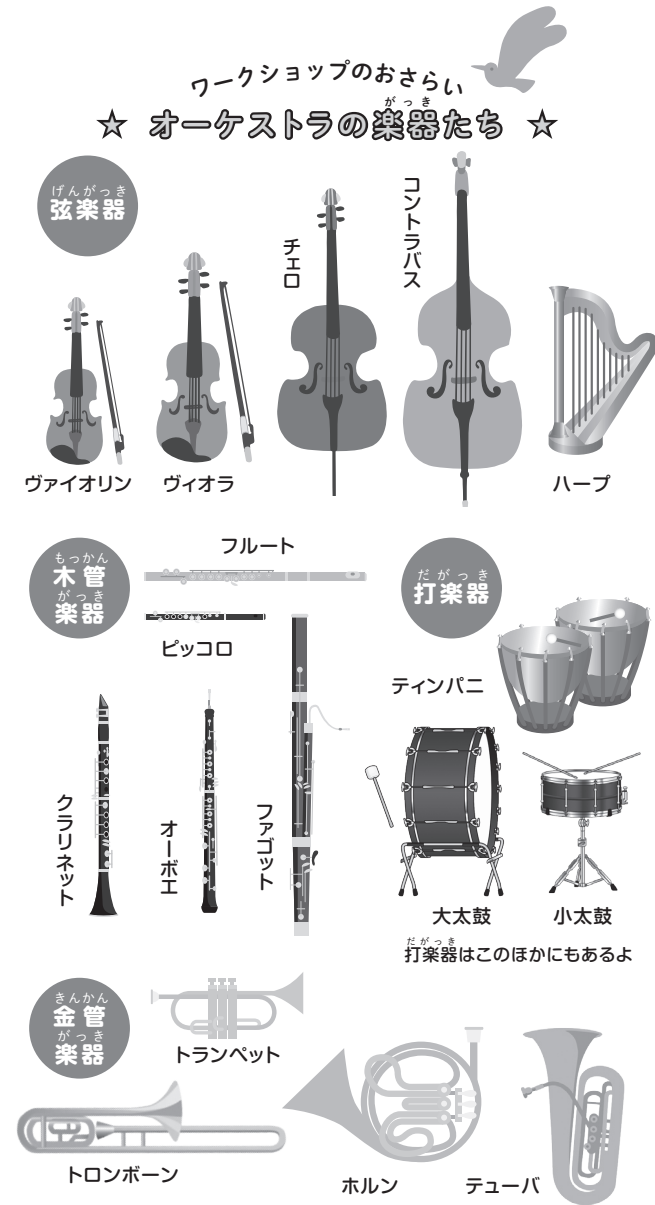
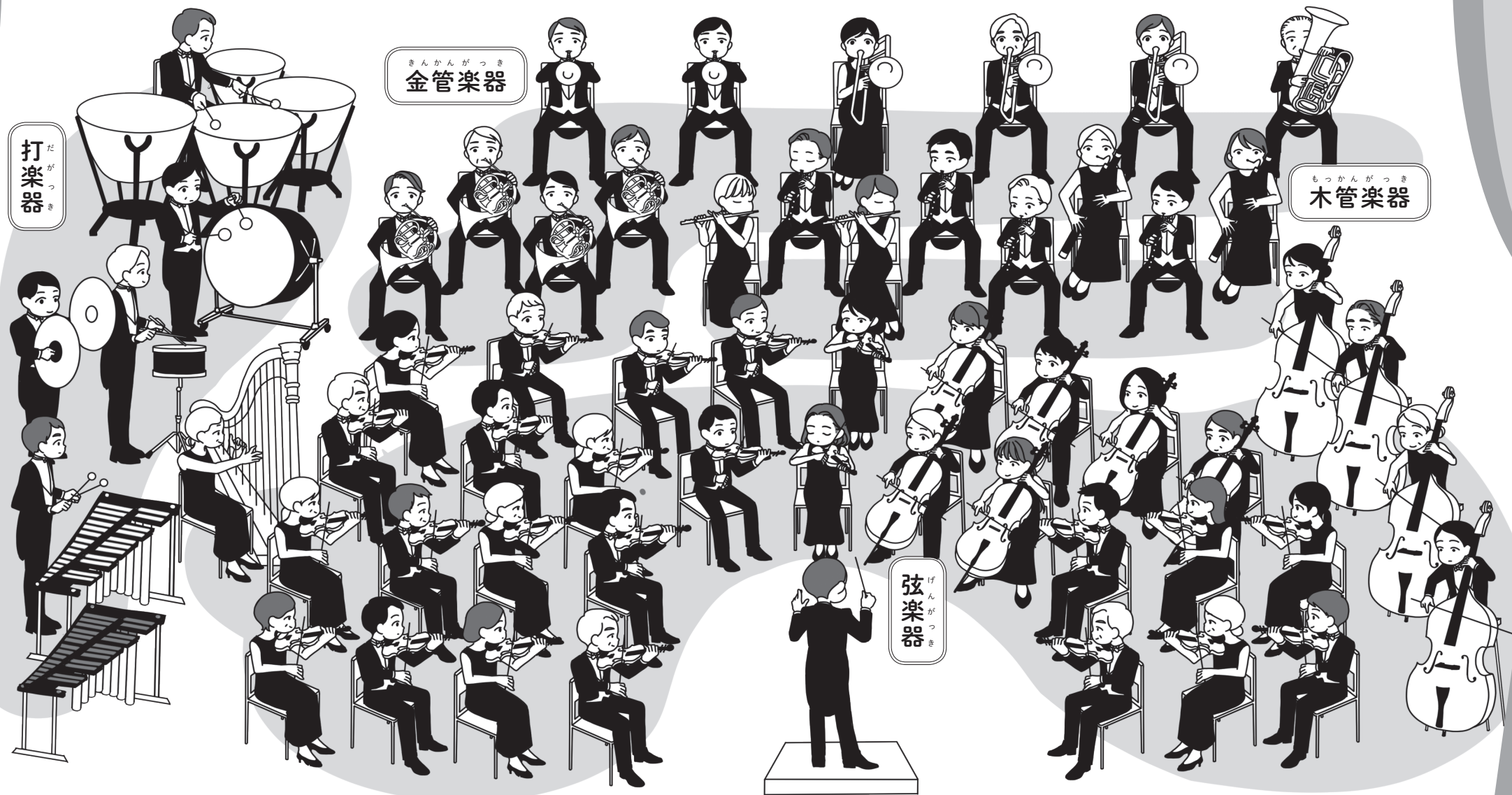
文化芸術による子供育成総合事業
－巡回公演事業－

群馬交響楽団 オーケストラ公演



文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。



☆ 曲目紹介 ☆

ロッシーニ／歌劇《ウィリアム・テル》序曲 から「スイス軍の行進」

ロッシーニ(1792-1868)は、イタリア・オペラの作曲家の中でも最も人気のある作曲家でした。この中世スイスの英雄がテーマの戯曲をもとに作曲されたオペラ《ウィリアム・テル》は、1829年に発表された作品です。序曲は「夜明け」「嵐」「静寂」「スイス軍の行進」の4つの部分からなり、本日はトランペットのファンファーレから始まる大変有名な4つ目の部分が演奏されますが、これはスイスに平和をもたらした国軍の行進と民衆の歓喜の様子が描かれています。

シュトラウスⅡ世／ワルツ『春の声』 作品410

「ワルツ王」ヨハン・シュトラウス(1825-1899)は、同名の父ヨハン(1804-1849)と区別するため、シュトラウスⅡ世と呼ばれています。シュトラウス一家は19世紀後半のウィーンの舞踏会や音楽祭には欠かせない存在でした。ワルツとは、18世紀後半に大衆の間で始まった3拍子の踊りの音楽です。この作品は春の喜びにあふれたワルツで、1883年に初演されたものです。

大橋晃一／《草津節》の主題による楽器紹介曲

群馬交響楽団の本拠地である群馬県には温泉地が約100カ所あり、その中でも草津温泉は「日本三名泉」にも数えられる名湯です。草津温泉は高温であるため、お湯を冷ますために

板でかき回して適温にする共同作業「湯もみ」が行われます。その「湯もみ」に合わせて歌われる民謡・作業唄が《草津節》で、1918年頃から歌われています。この曲は《草津節》のモチーフを用いて作曲されました。木管楽器、弦楽器、金管楽器、打楽器の順に、各楽器を紹介しながら進みます。様々な楽器の音色、セクションでのアンサンブルを聴き比べてみましょう。また《草津節》のモチーフが優雅なワルツになったり、おしゃれなジャズアレンジに変身したりしますのでおたのしみに!みなさんにも手拍子で参加していただきます。

ブラームス／ハンガリー舞曲第5番 ト短調

ヨハネス・ブラームス(1833-1897)は、バッハやベートーヴェンと並ぶドイツを代表する作曲家です。ハンガリー出身のヴァイオリン奏者レメーニから演奏旅行中に教えてもらった音楽がきっかけとなり、2集21曲からなるハンガリー舞曲集をつくっています。もともとは全曲ともピアノの連弾(1台のピアノを2人で演奏する)の曲として書かれていますが、多くの音楽家によって様々な編曲がなされている事からも人気が続きます。独特の音階とテンポの緩急に特徴がある音楽です。

エルガー／愛のあいさつ 作品12

エルガー(1857-1934)は、19世紀から20世紀初頭にかけて活躍したイギリスを代表する作曲家です。有名な行進曲《威風堂々》をはじめ、交響曲や協奏曲、オラトリオなど、多くのジャンルに大作を残しています。この曲は、エルガーが結婚する前年の1888年に妻となるアリスとの婚約記念に贈った作品です。今日エルガーの作品のなかでも最も親しまれている作品のひとつとなっています。

ビゼー／「カルメン」から

前奏曲、序奏、アラゴネーズ、間奏曲、アルカラの竜騎兵、ジプシーの踊り

パリ生まれの作曲家ビゼー(1838-75)は、若いころから才能に恵まれながら、オペラでの成功という望みはなかなか実現しませんでした。「カルメン」は現在でこそフランス・オペラの傑作として世界中で上演されていますが、1875年3月に初演されたときには失敗に終わりました。その3ヶ月後に彼は36才という若さで亡くなっています。このオペラが成功したのは、同じ年の10月に行われたウィーンでの上演からでした。ビゼー自身は、このオペラの成功を知らずに世を去ったのです。ビゼーの死後、このオペラの名曲を編曲した2つの組曲が作られました。本日はその中でも最も有名な部分を選びました。

《前奏曲》オペラ中の有名な主題が組み合わされて出てくるこの曲は、今日でも様々な演奏会でのアンコールなどでもよく演奏される曲です。冒頭のテーマは第4幕の闘牛士の入場行進の場面に出てくる曲です。その後に表れる不吉な旋律の《序奏》は、「運命の主題」として主人公たちの運命を左右する劇中の重要な場面で演奏されます。

《アラゴネーズ》は第4幕への間奏曲。打楽器のキビキビとしたリズムに乗った合奏に続き、オーガエがいかにもスペイン的な哀愁に満ちたメロディを奏でます。その後タンブリンを伴い、ピッコロ、クラリネットの舞踏的な旋律が印象的です。

第3幕への《間奏曲》はハーブとフルートではじまる牧歌風の穏やかな音楽で、ももとは《アルルの女》という別の劇音楽のために書かれた曲をもとにしています。

《アルカラの竜騎兵》は第1幕と第2幕の間で演奏される間奏曲。第2幕で歌われる旋律をファゴットが哀しげに奏でます。

《ジプシーの踊り》は劇中主人公カルメンが仲間と一緒に踊る異国情緒豊かな踊りの音楽です。一風変わったリズムで2本のフルートがこっそり聴こえるところから始まり、だんだんとテンポが上がって、迫力満点のクライマックスを迎えます。カルメン全曲の中でも最も盛り上がる楽曲です。

Ⅵ 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無 (該当する方に○を付してください。)

あり ・ なし

複数の企画が採択された場合の実施体制 (該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) ~~公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能~~
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他 ()

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	(か) げきだん げい ゆう ざ (株)劇団 芸 優 座
代表者職・氏名	代表取締役 平塚 仁郎
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒182-0025 東京都調布市多摩川2-28-4 (京王相模原線京王多摩川駅より徒歩8分)
電話番号	042-489-4555(代) FAX番号 042-489-9170
ふりがな 公演団体名	(か) げきだん げい ゆう ざ (株)劇団 芸 優 座
代表者職・氏名	代表取締役 平塚 仁郎
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒182-0025 東京都調布市多摩川2-28-4 (京王相模原線京王多摩川駅より徒歩8分)
制作団体 設立年月	昭和47年 11月
制作団体 組織	役員 代表取締役 平塚仁郎 取締役 村田里絵 平塚奈々 川口勝也 監査役 平塚キク 団体構成員及び加入条件等 制作部 7名 文芸演出部 3名 俳優部 35名 (他に研究生名) 加入条件: 18歳・高卒以上 (制作は面接、俳優はオーディションで選考する)
事務体制の担当	専任 ・ 他の業務と兼任 本事業担当者名 村田 里絵
経理処理等の 監査担当の有無	有 ・ 無 経理責任者名 伊澤 智子

制作団体沿革	沿革について 昭和47年に㈱総合プロモーションを設立後、舞台やTV番組の制作を始め、広いジャンルでの活動をしつつ、「まず面白く確かなテーマで」を創造理念として劇団を創設。以来「児童青少年の為だからこそ最高の演劇を」と、総合芸術である舞台劇の魅力を最大限伝えるべく、全国で公演を続けている。平成3年、㈱劇団芸優座と改称。平成10年より事務所・稽古場を現在地に持つ。劇団として、常に高い専門性を維持するために、新人から中堅・ベテランに至るまで、発声・ダンス・日舞等、専門家の指導の下での基礎訓練を重ねると同時に、児童青少年から大人一般まで、それぞれを対象とする様々な作品の自主公演をするなど、日常的な鍛錬を日々欠かさない。 これまでの作品 令和元年度上演中の小学生向けレパトリーは7作品。 「天狗山のトロップ」は昭和47年の初演以来、既に2000ステージを超え、「パパはマジシャン」は平成18年度「本物の舞台芸術体験事業」で採択された。「一休さん」のほか、「グリムのハンスと大悪魔」「秘密のロビンの大冒険」「角〜いじめっ子姫の物語」「絵本の扉〜新美南吉編」は好評を頂き続演中。今年度の新作「ママの思い出」も注目されている。 (公社)日本児童青少年演劇協会・(公社)日本劇団協議会・児演協等 加盟																										
学校等における公演実績	平成30年度12作品の実績は全国で、合同公演も含め、高校29回、中学校8回、小学校78回、教育委員会主催公演・公文協など73回。 作品ごとの、過去10年間の公演実績は以下の通り。 <中学校・高校向け作品> <table border="1" data-bbox="601 1218 1121 1451"> <tr><td>ベニスの商人</td><td>729回</td></tr> <tr><td>アンクルトムの小屋の灯に</td><td>140回</td></tr> <tr><td>最後の一葉</td><td>144回</td></tr> <tr><td>チェーホフ先生こんにちは</td><td>62回</td></tr> <tr><td>それぞれの絆</td><td>20回</td></tr> <tr><td>昇らぬ朝日のあるものを</td><td>19回</td></tr> </table> <小学校向け作品> <table border="1" data-bbox="596 1527 1115 1805"> <tr><td>天狗山のトロップ</td><td>224回</td></tr> <tr><td>グリムのハンスと大悪魔</td><td>219回</td></tr> <tr><td>パパはマジシャン</td><td>147回</td></tr> <tr><td>秘密のロビンの大冒険</td><td>168回</td></tr> <tr><td>一休さん</td><td>276回</td></tr> <tr><td>角〜いじめっ子姫の物語</td><td>281回</td></tr> <tr><td>絵本の扉</td><td>31回</td></tr> </table>	ベニスの商人	729回	アンクルトムの小屋の灯に	140回	最後の一葉	144回	チェーホフ先生こんにちは	62回	それぞれの絆	20回	昇らぬ朝日のあるものを	19回	天狗山のトロップ	224回	グリムのハンスと大悪魔	219回	パパはマジシャン	147回	秘密のロビンの大冒険	168回	一休さん	276回	角〜いじめっ子姫の物語	281回	絵本の扉	31回
ベニスの商人	729回																										
アンクルトムの小屋の灯に	140回																										
最後の一葉	144回																										
チェーホフ先生こんにちは	62回																										
それぞれの絆	20回																										
昇らぬ朝日のあるものを	19回																										
天狗山のトロップ	224回																										
グリムのハンスと大悪魔	219回																										
パパはマジシャン	147回																										
秘密のロビンの大冒険	168回																										
一休さん	276回																										
角〜いじめっ子姫の物語	281回																										
絵本の扉	31回																										
特別支援学校における公演実績	事前資料や字幕を作成したり、手話を依頼するなど、必要とされる視覚的・聴覚的様々な工夫を凝らして公演した経験がある。																										

参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	☒ 有 ・ 無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	☒ 有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	<i>DVD を提出します。</i>
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
	A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:

公 演 ・ ワークショップの内 容

【公演団体名 劇団 芸優座 】

対 象	小学生(低学年 ・ 中学年 ・ 高学年) ・ 中 学 生		
企画名	おしばいって、おもしろい！		
本公演演目 原作／作曲 脚 本 演出／振付	いっ きゅう 『 一 休 さ ん 』 二幕四場 (途中休憩 10 分あり) 作 : 平塚 仁郎 演 出 : 村田 里絵 公演時間(80分)		
著作権	☐ 制作団体が所有	☐ 制作団体以外が所有する事項が含まれる	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無
演 目 概 要	★あらすじ ご存知！一休さんの 笑いと感動の舞台劇！ 第一幕 この橋わたるべからず（お寺の大広間） 一休という名の少年が、安国寺で修行に励んでいました。 明るく悪戯好きの一休さん、頓智にかけては將軍様の耳に届く程評判で、ある時、お城へ呼ばれて將軍様の目の前で… みんなも知っている、 一休さんの頓智話！ 第二幕 「言わずに書いた！」とはなんのこと？（お寺の門前） 賢い一休さんのもとには、困った事があると村の人たちが相談にやってきます。薬屋さんにお百姓の儀助どん、お役所の陣内さんまで、今日も次々と難題が持ち込まれますが… 一休さんは難問を、一体どのように解決するのでしょうか。		



第三幕 里山の夕景

お寺の小坊主たちと村の子供たちが、美しい里山で歌ったり、踊ったり、一緒に遊んだり…

母と子の感動シーンへの
プロローグ！



第四幕 「母上に会いたい…」（お寺の大広間）



母上とは何年も離れて暮らす一休さん。その母上が突然、お寺へ訪ねて来た！でも、二人には会ってはならない理由があったのです。そこへ、お取り調べのお代官たちがやって来て…

はらはらドキドキ、そして、感動の
母と子、再会と別れの物語！

★**テーマについて** それぞれの年齢層に相応しいテーマがあります！

❖目標をみつけよう！

親と離れ、お寺という特殊な環境で厳しい修行に励んだ一休さん。どんなに辛く寂しくとも、常に前向きであろうとし、遂には、偉い人より尽くす人を目指すようになります。そして、大事なものは、目標を持つことそのものだと知ります。

❖「とんち」は争いを避けるための手段としてのユーモア

一休さんは得意なとんちで、頭の固い大人をやっつけていたように見えますが、それは無駄に争うことを避けるための手段でもあると気づきます。そんなユーモアに、今だからこそもう一度注目したいと思います。

❖人はみな平等

その子をそのまま受け入れ、厳しく優しく見守る和尚様が、事あるごとに教えているのは、「人はみな平等」ということ… それを、一休さんたちと共に心に刻みたいと思います。

❖親の愛は無償の愛…

共に過ごす時間が少なくとも、親の愛も子の愛も、しっかり繋がることができる… そんなことを再確認しつつ、離れて暮らさなくてはならなかった一休親子の、生涯で一度だけの再会となってしまったその場に立ち合ってください。

演 目 選 択 理 由	<公演の目的に合わせての作品選定> 公演やワークショップを通じて、児童・生徒の創造力・想像力を培い、コミュニケーションを能力の育成を図ることが何より重要です。また、児童・生徒に「演劇の楽しさ」を知ってもらうことで、将来の演劇観客人口の育成を図ることを配慮します。以上の目的に合致した作品を選定しました。 ○ この作品は、演劇としての「観る楽しさ」と共に、例えば、実在した一休さんについて、この作品で取り上げなかった「とんち話」を調べるなど、様々な方向に広げ、深めていく事が期待できます。また、ワークショップでは、この体験が、文化祭や発表などだけでなく、日常の学校生活でも、具体的に役立てて頂けるような取り組みもします。 <事業効果の向上を図るために> 児童・生徒のみならず、保護者や地域の皆さんも楽しめる作品を選定しました。 ○ 幕が開くと、そこには、かつて日本中どこにでもあった里山の美しい風景が広がり、一休さんたちや村の人々のように、絆を大切に、たとえ貧しくとも心豊かに、日々を丁寧に生きていた、そんな忘れかけた日本人の姿があります。大人にとっては懐かしい、でも、子どもたちには新鮮な「発見」かもしれません。日本の自然や文化をあらためて見つめ直すきっかけになったら…子供から大人まで、観劇した人みんなで、深く考えたり、語りあえる作品です。 <第三者の評価から> いずれの作品も公益社団法人日本児童青少年演劇協会主催「児童青少年演劇地方巡回公演」でも高く評価されていますが、今年度は小学生向け7作品の中でも特に芸術的教育的に効果が高いといわれる作品を選定しました。また、この作品は、厚生労働省社会保障審議会の推薦を得ています。 ○ 初演以来、全国の小学校や鑑賞会等、多くの方々をご覧下さり、ご好評を頂いています。「体育館を劇場に」と、あくまで¥もオーソドックスであることに拘った美しい舞台、明確なテーマとテンポの良い分かりやすいストーリーは、初めて舞台劇を観る方にも、その魅力をしっかり感じて頂けるものと信じます。また平易で分かりやすいセリフとコミカルな動きで、低学年の生徒さんも十分楽しめます。
児 童 ・ 生 徒 の 共 演 ， 参 加 又 は 体 験 の 形 態	「共演」「参加」「体験」の具体的なプランについて 俳優として共演 エキストラにさせません！ 予め生徒さん(先生でも可)6名程のご出演を想定していますが、希望人数によってアレンジ可能です。勿論、学年・男女・経験は問いません。 基本の出演シーンは、 ●第二幕「お寺の門前」では、けがをしている義助さんを助けながら、村で起きている困り事を相談に来る「村の子供たち」として2名 ●第三幕「里山の夕景」では、一休さんや小坊主たちと歌ったり踊ったり一緒に遊ぶ「里の子供たち」として1～3名、さらに「子守」として1名

簡単なセリフと動きを覚えたり、歌や踊りの練習をして頂きますが、一番大事なことは「間違えない」ことではありません。役に扮する事を体験する中で、**自分らしさを知り、それを表現する事の楽しさ、積極的にコミュニケーションを図り、互いを信頼することの大切さ、共に創り上げること、そして、演劇の面白さを実感して頂きたい**・・・単なるエキストラではなく、あくまでも共演者として、出演して頂きます。終演後は扮装のまま**記念撮影**をします。（共演する生徒さん方も、しっかり鑑賞できるよう工夫しています）

全員で体験

呼びかけと歌で誰もが参加できます

お芝居の始まりと終わりに、チャンスは二回あります。

- 幕開きで、他の小坊主たちと声を合わせて一休さんと呼んでください。
- 小坊主たちが歌う「**おそうじの歌**」を全員で合唱します。
（事前に楽譜とCDをお送りしますので、できればワークショップの後、本番まで、ぜひ繰り返し練習をして下さい。）

スタッフとして参加

チャンスは「俳優さん」だけではありません！

劇中の効果を高めるための効果や、開演前や幕間のアナウンスやタイムキーパーなど、「**舞台監督助手**」として舞台の裏方の仕事も2～4名体験できます。

舞台芸術は俳優だけでは完成しないのだということ、力を合わせて一つのものを創り上げる喜びを是非とも感じて頂きたいと思います。



カーテンコールのお稽古



ばらし作業の手伝い

終演後も……その他の体験

お別れのその時まで……

舞台を一層身近に感じてもらえるよう、上演後の**バックステージツアー**や、俳優達との**交流会**などが実施可能です。また、条件次第ではばらし作業の見学や「お手伝い」もできます。「劇場」が、「いつもの体育館」へと戻っていく様子を目の当たりにするのも、楽しい経験だと思います。

出 演 者	西田廉義 山田悦子 百瀬 豊 小泉みち 田中強吾 高木健太 丸橋真樹 大道沙織 松本和也 貞方友香里 高杉佳未 川崎綾香		
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出 演 者: 12 名 <u>ス タ ッ プ: 3 名</u> 合 計: 15 名	機 材 等 運搬方法	積載量 3t ・ パン 車 長 6.09m ・ 4.99m 台 数 1 台 ・ 2 台

公演に当たっての 会 場 条 件	実施条件等確認書①をご確認ください。																	
会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安	前日仕込み(無) 会場設営の所要時間(4 時間程度) <table border="1" data-bbox="392 1032 1433 1151"> <tr> <th>到着</th><th>仕込み/リハーサル</th><th>本公演</th><th>内休憩</th><th>撤去</th><th>退出</th></tr> <tr> <td>7 時</td><td>7 時～11 時/ 11～12 時</td><td>13 時～ 14 時 20 分</td><td>10 分</td><td>14 時 30 分 ～16 時</td><td>16 時 30 分</td></tr> </table> ※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。						到着	仕込み/リハーサル	本公演	内休憩	撤去	退出	7 時	7 時～11 時/ 11～12 時	13 時～ 14 時 20 分	10 分	14 時 30 分 ～16 時	16 時 30 分
到着	仕込み/リハーサル	本公演	内休憩	撤去	退出													
7 時	7 時～11 時/ 11～12 時	13 時～ 14 時 20 分	10 分	14 時 30 分 ～16 時	16 時 30 分													
児 童 ・ 生 徒 の参加可能人数	ワークショップ	第一部全校生徒 ・ 第二部 6 名から 14 名程度																
	本公演	50 名～1000 名																
ワークショップ 実施形態 及び内容	＜当劇団のワークショップの目的＞ ①児童・生徒の想像力・創造力を培う ②児童・生徒のコミュニケーション能力の育成を図る ③将来の演劇観客人口の育成を図るため「演劇の楽しさ」を知ってもらう ＜ワークショップの具体的なプラン＞ ① 鑑賞指導…… 全校生徒の皆さんを対象に(20分程度) まず、本番を心待ちにして頂けるよう、作品の粗筋やテーマ・見所、舞台となる京都の風景や時代背景、一休禅師の生涯についてなど、プロジェクターでの美しい映像を見ながら簡潔に説明しますので、当日の観劇体験がより豊かになると同時に、作品に対しても深い理解と感動が得られます。 ② 実技指導…… 1) 全校生徒の皆さんを対象に(25分程度) 俳優が日々続けている発声・発音の練習、呼吸法や準備運動等を、ウォーミングアップとして劇団員と一緒にやってみます。																	

	続いて、全員参加シーンのお稽古ですが、まずどんな場面なのか、具体的な説明をし、セリふの「きっかけ」を覚え、歌のお稽古をします。 さらに、生徒さんの日常生活に役立つ演劇訓練として、人前で上がらずに発表したり、自分らしいパフォーマンスができるようになるための「リラックス法」と「集中」の訓練を紹介します。 2) 共演する生徒さんを対象に(30分) それぞれの「出演シーン」のお稽古の前に、そのウォーミングアップとして、コミュニケーションをとる事の大切さ、体一杯で表現することの面白さなどを体験して頂くことを最大の目標として、簡単なインプロゲームを楽しみます。「ミラーゲーム」「わたし・あなたゲーム」「震源地ゲーム」等々、状況に応じて幾つかのプログラムを選びながら、目的をはっきり持って、意識的に動いて頂けるよう工夫しています。 続いて、身近なシチュエーションを用いて、誰にでもできるシンプルで簡単なエチュードなど、演技するための具体的な訓練を体験します。 ③ 共演の練習(60～90分) いよいよ最後に、「出演シーン」ごとに分かれ、お芝居のお稽古をします。事前に出演台本・楽譜・公演のDVD等お送りしますが、特に予習をして頂く必要はありません。まず、本番のDVDを観ながら、各役のおかれている状況を説明をした後、それぞれのセリフや動きを覚えたり、生徒さん方ご自身のアイディアを大切にしながら、その役について研究します。 ここまでで既に劇団員とも連帯感が生まれ、リラックスしたムードでお稽古は進みます。本番前の緊張も良い経験ですが、あくまでも楽しい体験となるよう、生徒さん方が自信をもって当日を迎えられるよう配慮します。 終わりに、衣装合わせ(メイクは当日のみとなります)をします。 (当日もリハーサルがあります。) ☆「舞台監督助手」をご希望の生徒さん方も、②までは一緒に参加して頂きますが、その後は「俳優」陣とは分かれれます。まず、舞台や大道具についての説明を受けた後、役割分担をし、「効果」などの練習をします。
ワークショップ 実施形態の意図	◎事前の鑑賞指導について わずかでも作品の背景を知ること、当日、積極的で深い鑑賞が可能となり、より楽しめます。また、そもそも舞台芸術が「観客」と共に創造していくものであるという事を、この事業を通じて「体験」して頂きたい。楽しかったというその体験こそが、将来の良き「観客」を生み育むと考え、豊かな時間となるよう工夫します。 ◎とにかく、一緒に動いてみよう！ 共演を通じて、舞台芸術が身近になり、さらに深く興味を持って頂きたい、そして、覚えた事を「正しく」やるのが目的ではなく、自ら心身共に解き放ち、自分を表現する事の喜びや、他人と協力しながら何かを創り上げる事の喜びを経験して頂きたい。その為に必要な信頼関係を短期間で築くには、まず、一緒に動くこと・・・その経験がコミュニケーション能力の向上につながると思います。 ◎学校のニーズに対応します！ 発表会・文化祭・演劇クラブなどの指導をしたり、演劇的なアプローチにより、授業での発表や朗読など様々な学校の日常のシーンにおいて効果を上げる方法を体験します。

特別支援学校での実施における工夫点	公演は変更なく行えます。聴覚障害のある生徒さんには字幕スーパーや手話を準備、視覚障害のある生徒さんには、音楽性を重視し、実際に舞台に上がってもらうなど事前事後の指導を徹底し、肢体不自由の生徒さんには車いすの為の段差を観客席に設けます。また、ワークショップ・共演についても、先生と一緒に同じ役を演じて頂くなど、様々な状況に応じ、最大限可能にしたいと考えます。
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。

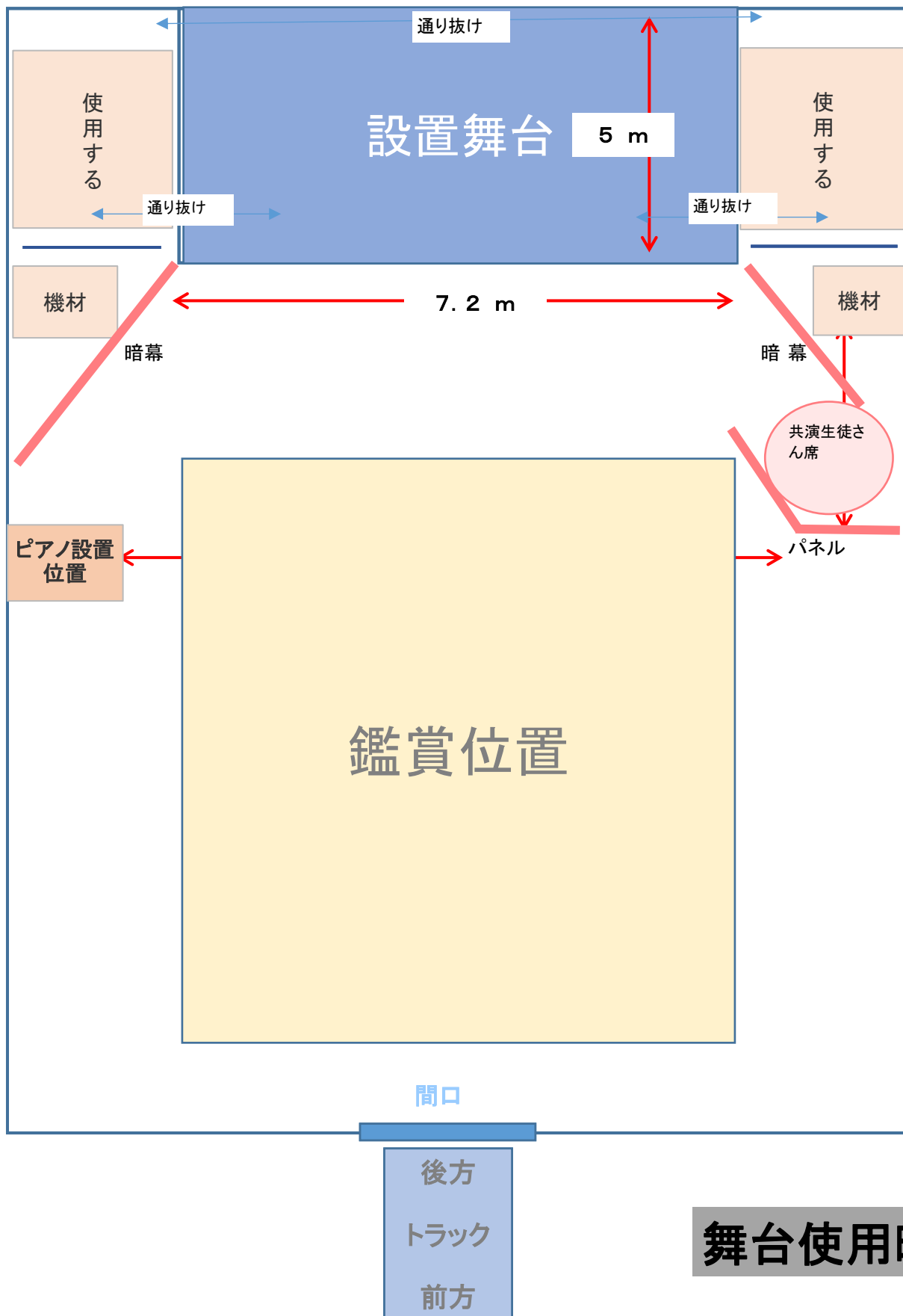
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	F63	分野	演劇	種目	児童劇	ブロック	F	区分	B区分
公演団体名	株式会社 劇団芸優座				制作団体名	株式会社 劇団芸優座			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数 *	1室	条件	水場が近く、普通教室以上の広さが望ましい。 着替えの為、カーテンのある部屋を希望。				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			3tトラック 1台		バン 2台		
	不可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			3トントラック(大道具)バン(照明・音響機器)				
	不可	搬入車両の横づけの要否 *			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			10m以内				
	可	搬入経路の最低条件			出来る限り階段のない、屋根のある経路を希望。				
		理由			大道具や照明・音響機器の搬入の為。				
		設置階の制限 *			問わない				
	不可	搬入間口について 単位:メートル		幅	2m以上		高さ	2m以上	
WSIについて	可	参加可能人数			一部は全学年可能・二部は20名程度まで				
	可	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *		なし	
	可	所要時間の目安 単位:分			一部は45分程度・二部は90～120分				
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの 所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイム スケジュール)」の目安をご参照ください。				
	可	鑑賞可能人数			フロアに座りきれば1000名も可				
	可	舞台設置場所 *			体育館のステージ上				
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル	幅	7.2m	奥行	5m	高さ	4m	
	不可	体育館の舞台を使用する 場合の条件		舞台袖スペースの確保 *		要			
	不可			舞台袖スペースの条件 *		袖に荷物が無い状態			
	可			緞帳 *	要	バトン *	要		
	可	遮光(暗幕等)の要否 *			要	理由	完全に遮光しなくても可		
	可	ピアノの調律・移動の要 否		指定位置へのピアノの 移動 *		要	※指定位置は会場設置図面に て御確認ください。		
	ピアノの事前調律 *			不要					
	—	フロアを使用する場合の 条件		バスケットゴールの設 置状況 *		格納されていれば可			
	不可	公演に必要な電源容量			75A		※主幹電源の必要容量		
		その他特記事項							
	不可	電源はステージから20m以内にあること							

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	2m以上	高さ	2m以上
搬入車両の横づけの可否			要	
横づけができない場合の搬入可能距離		10m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

脚本：平塚 仁郎 演出：村田 里絵

一休さん



◇ あらすじ ◇

昔々、ある静かな山の中に安国寺という寺がありました。そこでは、一休という名の少年が修行に励んでいました。ある日のこと、お代官さまが寺へおいでになりました。お城で將軍様に披露した一休の頓知とやらを聞くためです。そこで一休は、修行仲間の小坊主達や、お参りに来たおくまさんと、お城であった出来事を話しますが…
またある日のこと、寺へ村の儀助どんが一休を訪ねてやってきます。足にひどい怪我をして、大層困っている様子でした。そこへ、薬屋の久兵衛さんが血相を変えて飛んできて…！

修行にいたずらにと、元気に毎日を送る一休でしたが、もう何年も母上とは会っていません。いえ、会えなかったのです。ところが、その母上が突然訪ねてきたというではありませんか。さあ、困ったのは和尚や村の名主さまばかりではありません。実は、二人には複雑な事情があって… その上、そこへお代官さままでやって来て…一休は懐かしい母上に会えるのでしょうか！

◇ 制作にあたって ◇

江戸時代以降に作られた「頓知話」は、戦乱の時代、当代一の僧侶であった一休禅師が、幼い頃から利発であったが故に生まれたのだろうが、後の世の作り物とは言え、大人から一本取ろうとする一休さんのあり様は、子供受難の時代といわれるこの現代だからこそ、こんな子供がいてもいいという気になってきます。とにかくまずは、ご存知「頓知話」をおもしろく見ていただきたい。幼いながらも、修行に明るく励む、元気な一休たちの大騒ぎです！

◆ スタッフ ◆

脚本 … 平塚 仁郎 衣装 … 野村 キク
演出 … 村田 里絵 小道具 … 西田 廉義
美術 … 牧野 良三 音響 … 丸橋 真樹
音楽 … 浅川 嘉雄 装置 … C S S 総合舞台
照明 … 杉本 孝夫 製作 … 伊澤 智子

◆ 登場人物 ◆

一休さん お代官さま 母上さま
珍念さん 陣内さん 家来高光
周安さん 儀助どん
像外和尚 薬屋久兵衛
おくま婆さん 名主さん

劇団 芸優座

〒182-0025 東京都調布市多摩川 2-28-4 TEL 042-489-4555

FAX 042-489-9170 URL <http://www.geiyuza.com>

日本昔ばなし



一休さん

平塚 仁郎・作

村田 里絵・演出

ご存知どんちの「一休さん」

笑いと感動の舞台劇！



劇団 芸優座

VI 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, <u>演劇</u> , ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ・A区分とB区分の両方・C区分

複数申請の有無 (該当する方に○を付してください。)

あり・なし

複数の企画が採択された場合の実施体制 (該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな	かわせみざ		
制作団体名	かわせみ座		
代表者職・氏名	山本 由也		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒166-0016 東京都杉並区成田西 1-4-17 (京王井の頭線「西永福」駅)		
電話番号	03-3315-3102	FAX番号	03-3315-3102
ふりがな	かわせみざ		
公演団体名	かわせみ座		
代表者職・氏名	山本 由也		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒166-0016 東京都杉並区成田西 1-4-17 (京王井の頭線「西永福」駅)		
制作団体 設立年月	1982 年 10 月		
制作団体 組織	役職員 山本由也(代表・人形美術・人形操作) 益村泉(制作・俳優) 益村充子(会計・経理)	団体構成員及び加入条件等 団体構成員…役員3名及び団員7名の10名。 主な俳優氏名…山本由也、益村泉、冬木、 田辺誠二、速名美佐子 加入条件…代表を山本由也と定め、益村泉を 副代表とする。新入組織員は、代表 及び副代表の合議により決定する。	
事務体制の担当	専任・ <u>他の業務と兼任</u>	本事業担当者名	益村 泉
経理処理等の 監査担当の有無	<u>有</u> ・無	経理責任者名	益村 泉

制作団体沿革	1975～1982 代表の山本はプロの劇団を経て、竹田人形座（東京都無形文化財）の竹田扇之助、竹田喜之助両氏に師事する。 1982. 10 代表の山本が独立し、「かわせみ座」を創立。 1987～ 脚本・演出家の吉永淳一先生のご指導のもと、芸術的創作活動に励む。 1994～ 俳優の益村泉が参加。現在山本・益村が中心となり、舞台での空間芸術としての新しい形のオリジナルパフォーマンスを発表し続けている		
学校等における公演実績	年間、約 10～20 公演を小・中学校を対象に行っている。 また海外では 1996 年スペイン、1999 年と 2001 年にはアメリカ、2002 年モロッコ、2003 年韓国、2008 年メキシコ・セルヴァンティーノ、レオン、メキシコシティ、2015 年リトアニアとエストニア、2013 年と 2016 年にはアメリカ・ナッシュビル、にて小・中学生を対象として「ことばのないおもちゃ箱 (Silent Poems)」公演をおこなった。 「まほろばのこだま (Where Spirits and Fairies Poems)」は 2005 年にイタリアと英国、2007 年に香港で公演をおこなった。 2012 年 5 月には、中国の成都、南充にて「ことばのないおもちゃ箱 (Silent Poems)」公演をおこない、ウニマ・第 21 回世界人形劇フェスティバルにて優秀作品賞を受賞。 その他、年間 2～3 回の自主公演活動を行っている。		
特別支援学校における公演実績	平成 17 年度より 21 年度まで 5 年間連続で「ことばのないおもちゃ箱 (Silent Poems)」を小・中学生を対象として上演。6 年間で全 74 校になる。 平成 25～30 年度には「まほろばのこだま」を小・中学生を対象に上演。令和元年度には同作品を小・中学校 19 校で上演予定。 これまで約 10 校の特別支援学校での公演及びワークショップを実施。ワークショップも普通学級と同等の内容のものをやさしくかみくだいて実施し、好評を得ている。 また普通学級でも、特別支援クラスの生徒がワークショップに多く体験参加している。		
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	☒ 有 ・ 無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	☒ 有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
	A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:

公 演 ・ ワークショップの内 容

【公演団体名

かわせみ座

】

対 象	小学生(低学年 ・ 中学年 ・ 高学年) ・ 中 学 生		
企画名	構造・操作法も世界唯一の人形達を遣った、独創的で優れた本物のマリオネット表現をどうぞ		
本公演演目 原作／作曲 脚 本 演出／振付	まほろばのこだま 作・原案／山本由也・益村泉 人形美術・舞台美術／山本由也 構成・演出／高畑勲（アニメーション映画監督）		
著作権	○	制作団体が 所有	制作団体以外が所有する事 項が含まれる (制作団体以外が所有す る事項が含まれる場合) 許諾の有無
演 目 概 要	この作品は、日本の伝説、民話をモチーフに、夢・現・幻をつづったオムニバス形式の小品集です。わらべ唄と音楽とヴォイス・パフォーマンス、表現者自身と人形で表現した舞台空間芸術です。 かわせみ座はこれまでに世界に日本を紹介するため、河童や烏天狗といった“もののけ”が登場する作品として「まほろば」を上演していました。そしてかねてよりスタジオ・ジブリの高畑勲氏の構成・演出を熱望し依頼したところ、かわせみ座の世界に共感された氏のご快諾くださり、2000 年 10 月に「まほろばのこだま」として生まれ変わりました。同上演は、2001 年演劇雑誌『テアトロ』3 月号にて、特集「2000 年舞台ベストワン・ワーストワン」で“ベストワン”に選ばれました。 『人形芸術への深い傾倒、自分らの仕事を信じている、その強度を感じさせる舞台である。』（演劇評論家、岩波剛氏の劇評より一部抜粋）※コピー添付 ・2000 年 東京 2000 年祭「千年文化芸術祭」入選作品賞受賞 ・2000 年 中央児童福祉審議会特別推薦作品受賞 ・2005 年 エジンバラ国際演劇祭フリンジ参加（英国） ・2005 年 ラベンナ国際演劇祭招待公演（イタリア） ・2007 年 香港アートフェスティバル招待公演（中国）		
演 目 選 択 理 由	2000 年にアニメーション映画監督の高畑勲氏により、再構成・演出された「まほろばのこだま」は、その後国内外で公演を重ね、非常に高い評価をいただいております。日本の伝説や民話に登場する生き物、精霊、魔物や自然そのものが主役の本作品は、現代日本人の意識から薄れている、日本の心の原風景を感じさせ、日本の良さや奥深さを再認識させられる舞台です。五感に響く独自の人形表現から生み出される舞台世界は、イマジネーションと感性をくすぐります。今、日本人の私たちが考えるべき事の一つである、自然環境と人間の共存を、ナチュラルな感性で再考することができるこの舞台は、子供たちの情操教育として大変意義のある作品です。		
児 童 ・ 生 徒 の 共 演 , 参 加 又 は 体 験 の 形 態	小学校は、高学年の生徒。中学校はどの学年でも可。1 本の小作品(約 15 分)で、かわせみ座の出演者とのコラボレーションをおこないます。 予定参加人数：クラス・学年単位・20～60 名程度（これ以上の人数の参加をご希望の場合も実施可能です。ご相談させてください。） 舞台セットのないシンプルなステージで、人形、オブジェ、身体を表現媒体として演じ、日本の伝統的な所作を踏まえた、美しい詩のような小作品を上演します。 舞台空間に共にひとつの作品を創造することの素晴らしさが実感できるでしょう。 また、公演終了後 15 分程度、人形の素材や製作過程、操作方法を解説し、生徒さんの質問にお答えする交流会（アフタートーク）を行います。		
出 演 者	山本由也、益村泉、三国谷花、八木澤賢、脇田あやこ		

公演出演予定者数 (1公演あたり)	出 演 者: 5 名 <u>ス タ ッ プ: 5 名</u> 合 計: 10 名	機 材 等 運搬方法	積載量 2 t 車 長 6.4 m 台 数 2 台
----------------------	--	---------------	---------------------------------

公演に当たっての 会 場 条 件	実施条件等確認書①をご確認ください。																	
会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安	前日仕込み(有・ 無) 会場設営の所要時間(5 時間程度) <table><tr><td>到着</td><td>仕込み</td><td>本公演</td><td>内休憩</td><td>撤去</td><td>退出</td></tr><tr><td>時</td><td>8 時～ 14 時</td><td>14:00～15:30</td><td>0 分</td><td>15:30～18:00</td><td>18 時</td></tr></table> ※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。						到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出	時	8 時～ 14 時	14:00～15:30	0 分	15:30～18:00	18 時
到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出													
時	8 時～ 14 時	14:00～15:30	0 分	15:30～18:00	18 時													
児 童 ・ 生 徒 の参加可能人数	ワークショップ	20～60 人程度（これ以上の人数の参加をご希望の場合も実施可能です。ご相談させてください。）																
	本公演	100～500 人																
ワークショップ 実 施 形 態 及 び 内 容	～人形やオブジェを使って、子供達と共に舞台を遊ぶ～ 「狐森のキツネ達と子いたち」(約 15 分の短編作品) かわせみ座の出演者と共に、ワークショップで 1 本の小作品を創り上げ、本公演のエンディングで上演します。身体と物（人形・オブジェ）を使い、想像力を膨らませて表現することの、面白さや難しさ、なした後の達成感を体験してもらいます。 作品内で使用する仮面のオブジェ（狐面）は、ワークショップの最初に指導しながら一緒に作成します。その後各自で作った狐面を使いながら、全身を使つての表現（踊る、飛ぶ、見得を切る、声を出す等）を学び、からだ全体で音楽や台詞、人形の動きに合わせて表現することを経験してもらいます。そしてこの表現方法を活かした作品にそって、人形と共に物語を演じます。 公演当日にも約 1 時間、本番通りの照明、音響の中リハーサル（ゲネプロ）を行います。																	
ワークショップ 実施形態の意図	ヨーロッパの学校教育では「演劇および表現」を取り入れた教科があります。子供たちは、言葉によるコミュニケーションはもとより、言葉を使わないでコミュニケーションを取る、様々な表現手段を学習します。そして、その表現の延長上に演劇があることを学び楽しみます。生きる上でも、表現力を培うことが重要であると実感できる授業です。 今回のワークショップでは、生徒たちが狐役の声を発声したり、台詞を喋るだけでなく、自身の体とオブジェを使って、生き物や自然現象を表現します。安易に生徒たちを部分的に参加させるのではなく、一つの作品全体に参加して、本公演に向け劇団員と協力し合い創り上げていきます。生徒たちはワークショップの中で作品に対するイメージ力を高め、本格的な指導を経験します。このワークショップは、感性、想像力、表現力、努力、協力など多くの事を培うことのできる格好の情操教育と位置づけております。 部分的な参加ではなく、作品全編に渡り生徒と劇団員が共に、一つの作品を完成させます。生徒はその過程と上演を経験することで、生の舞台芸術をまるごと体験することが出来ます。与えられた小道具ではなく、自分が使う狐面を作ることから始めるため、ゼロから創り出す喜びを実感します。作品へ向けた“自分の為のお面”を自作し自演する事への喜びが、作品づくりの意欲へとつながります。																	

特別支援学校での実施における工夫点	これまでの特別支援学校では、本番で生徒がマイクを使用したり、先生も中に混じって共に参加をしたり、台詞を短く削るなどの工夫をおこなってまいりました。本番で出演するかどうか、生徒の意志や先生のご意見を尊重し、ご本人が全身で演劇を楽しめるよう努力、協力いたします。臨機応変に生徒達の体調や、学校側の意向に合わせて、内容を調整します。
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。

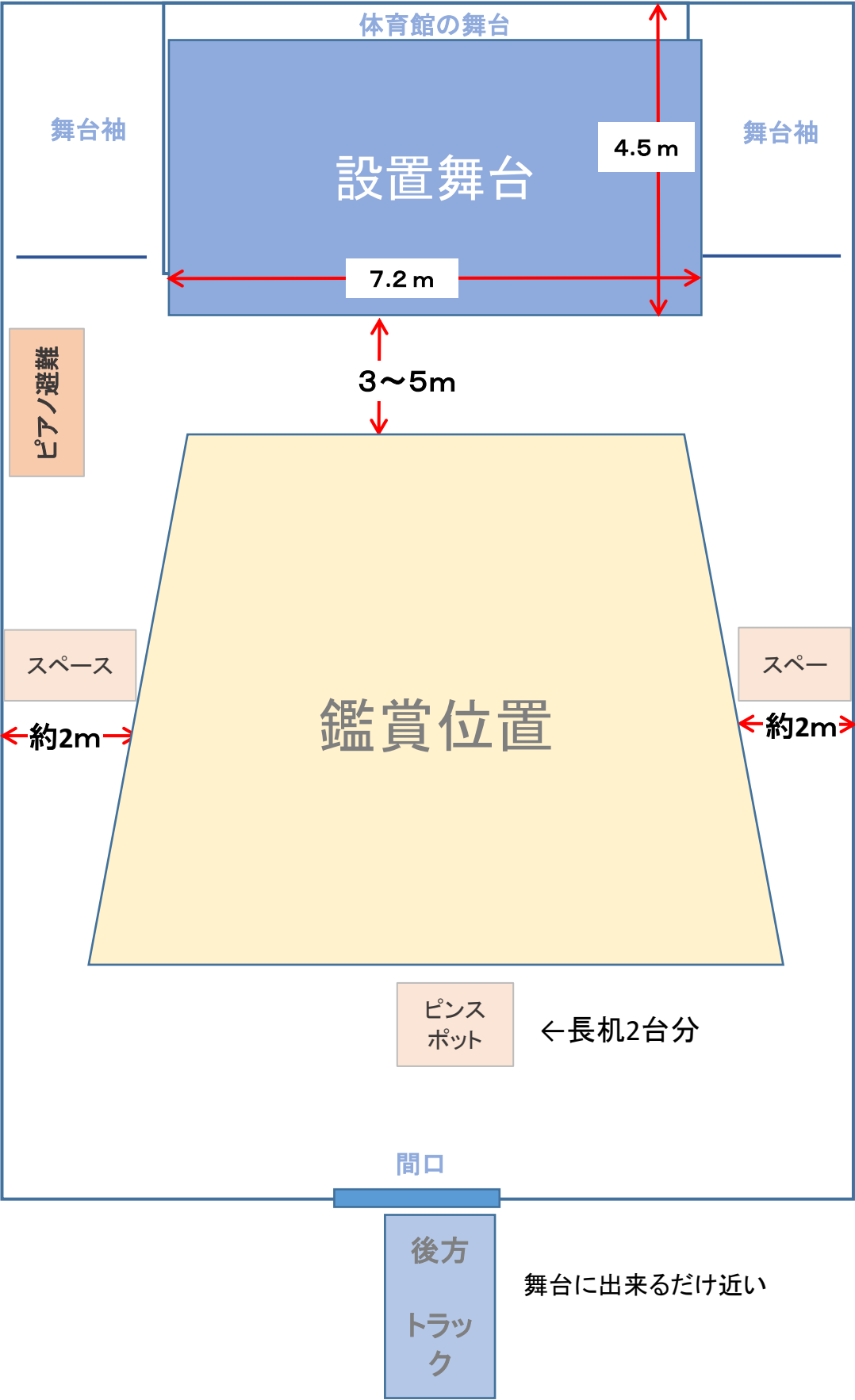
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	F64	分野	演劇	種目	演劇	ブロック	F	区分	A区分
公演団体名	かわせみ座				制作団体名	かわせみ座			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数 *	不要	条件	基本的にずっと体育館で仕込みをおこなっております。				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			2tトラック1台		パン 1台		
	不可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			2tトラック				
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			30m以内				
	可	搬入経路の最低条件			・階段のない経路が望ましい ・屋根がある経路が望ましい				
		理由			重い荷物が多く、人形や道具を雨に濡らしたくないため。				
	可	設置階の制限 *			問わないが1階が望ましい				
	可	搬入間口について 単位:メートル		幅	1.8m		高さ	2m	
WSについて	可	参加可能人数			20人～60人程度				
	不可	学年の指定の有無 *			あり	指定学年 *	小学生は高学年。 中学生は全学年。		
	可	所要時間の目安 単位:分			120分程度				
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安をご参照ください。				
	可	鑑賞可能人数			100人～500人程度				
	不可	舞台設置場所 *			体育館のステージ上				
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	7.2m	奥行	4.5m	高さ	70cm以上
	不可	体育館の舞台を使用する場合の条件		舞台袖スペースの確保 *		要			
	舞台袖スペースの条件 *			袖中に荷物が無い状態					
	緞帳 *			不要	バトン *	要			
	可	遮光(暗幕等)の要否 *			要	理由	会場が暗くなると照明が映えて綺麗なので		
	不可	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *		要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。		
	ピアノの事前調律 *			不要					
	不可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可			
	可	公演に必要な電源容量			60A以上 ※主幹電源の必要容量				
	その他特記事項								
	不可	ピアノは不使用。ピアノが舞台上にあり袖中が狭い場合、舞台下に下ろす必要があります。							
	可	会場が2階以上の場合、先生もしくは生徒さんに荷物の搬入出をお手伝いいただきたいです。							
	不可	上演の都合上、舞台上と袖中の荷物はできる限りどけていただきたいです。							
不可	長テーブル13台、パイプ椅子15脚、背の高い脚立1～2台をお借りしたいです。								

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1.8m	高さ	2m
搬入車両の横づけの可否	要			
横づけができない場合の搬入可能距離	30m以内			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



花鬼のぐじとごべ

<プログラム>

*プロローグ

ゆうく どき すけ
夕暮れ時--- いたちのチョロ助

ひとごと ばなかに
*人里---花鬼のぐじとごべ

いろりばた ざしきわらし ひなこ
*囲炉裏端---座敷童子 雛子

あきまつ きつねもすめ へんげ
*秋祭り---狐娘の変化

やまがみ からすてんく か しやく
*山神---烏天狗の阿と酌

ふぶき なか ゆきへんげ
*吹雪の中で---雪変化

*エピローグ

せつげん あさ すけ
雪原の朝--- いたちのチュイとチョロ助

さくひん きつねもり たち こ
*ワークショップ作品『狐森のキツネ達と子いたち』
～人形やオブジェを使って、生徒達と共に舞台を遊ぶ～



烏天狗の阿と酌



児童生徒と一緒に、
1本の作品を上演します。

狐森のキツネ達と子いたちのチュイ



ワークショップでお面を作成し、生徒自身が作ったお面を使いながら、からだ全体で狐を演じます。音楽や台詞、人形の動きに合わせて表現することの面白さや、難しさを体験してもらいます。かわせみ座の人形たちと共に、物語を演じます。



2013年10月 愛知県の中学校での本番の様子

まほろばのこだま

ののさまたちが目覚めます

作・原案／山本由也・益村泉

構成・演出／高畑勲・山本由也

『気配』という言葉をおぼえていますか。
気配りも大切ですがこちらは、『けはい』です。
この世に生きているのは人間だけではありません。
こころの目をこらし、心の耳をかたむければ、
まほろばに暮らす様々な命の気配が感じられます。
そして、それらが見えてきます、聞こえてきます、
昔の人々のように・・・。
ほら、ひっそりと、いたずらっぽく、
あらあらしく、まほろばのこだまたちが、
暗がりの中から、いきいきと姿を
あらわしはじめますよ。

アニメーション映画監督 高畑勲
（「まほろばのこだま」演出家）



かわせみ座

VI 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目(該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, <u>ミュージカル</u>
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり ・ なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
(3) 提案したいいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな	いっぽんしゃだんほうじんえーしーおーおきなわ		
制作団体名	一般社団法人エーシーオー沖縄		
代表者職・氏名	代表理事 大城安恵		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒903-0806 沖縄県那覇市首里汀良町 3-82-5-2F		
電話番号	098-887-1333	FAX番号	098-887-1334
ふりがな	えーしーおーおきなわ		
公演団体名	ACO沖縄		
代表者職・氏名	代表 下山久		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒903-0806 沖縄県那覇市首里汀良町 3-82-5-2F		
制作団体 設立年月	平成 24 年 11 月		
制作団体 組織	役職員 代表理事:大城安恵 理事:下山久 理事:大城将保 会計:安里清榮(公認会計士) 監事:半谷邦雄	団体構成員及び加入条件等 芸術監督・プロデューサー:下山久 作家:嶋津与志 脚本・演出:みうらもと お俳優:平良進 田仲洋子 当銘 由亮 高宮城実人 制作:宮内奈緒 豊見本美夢 友利奈緒子 大城安恵 加入の条件:役員の推薦により総会にて承認を得る。	
事務体制の担当	専任 ・ <u>他の業務と兼任</u>	本事業担当者名	下山久
経理処理等の 監査担当の有無	<u>有</u> ・ 無	経理責任者名	豊見本美夢

制作団体沿革	1990年エーシーオー沖縄演劇祭を開催。1992年「国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ」の企画調査、1994年同フェスティバルを開催。2005年から毎年「国際児青少年演劇フェスティバルおきなわ」を主催。文化芸術に関する国際シンポジウム、セミナーも精力的に開催。国内外の芸術団体とのネットワークを築いている。創立以来沖縄発信のオリジナル作品を次々発表。海外劇団、アーティストとの国際共同制作作品多数、地元沖縄の芸能をとり入れた意欲的な作品づくりをおこなっている。2013年、舞台創造部門を株式会社エーシーオー沖縄から一般社団法人エーシーオー沖縄へ移行。「組踊」や沖縄芝居の「歌劇」など、伝統演劇の継承発展及び地域の芸能文化を取り入れた、新しい企画や時代を見据えたオリジナルな創造活動を展開し、豊かな芸術文化の環境づくりとともに、芸術文化の発展に寄与することを目的としています。国際フェスティバル等の開催により、多様な文化の交流をとおして社会と平和への貢献と次世代の子どもたちへ、質の高い舞台を観劇する機会をつくり、国際的なスキルを広げ、コミュニケーション能力の高い人材を育成することを目指します。		
学校等における 公演実績	平成26年度「沖縄燦燦」31公演 平成27年度「沖縄燦燦」39公演 平成27年度「小さな紳士」4公演 平成28年度「沖縄燦燦」9公演 平成28年度「オオカミとヤギ」3公演 平成28年度「まぶい恋唄」1公演 平成29年度「海のこどもたち」2公演、「レ・ミゼラブル」2公演、「沖縄燦燦」9公演 平成30年度「沖縄燦燦公演」7公演、「レ・ミゼラブル」3公演、「玉津の恋」5公演 平成30年度「海のこどもたち」9公演、「カインとアベル」4公演 平成30年度「沖縄燦燦公演」文化芸術による子どもの育成事業巡回19公演		
特別支援学校に おける公演実績	平成30年度「沖縄燦燦公演」文化芸術による子どもの育成事業巡回1公演		
参考資料の 有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有 ・ 無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
	A の 提出が 困難な 場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子が わかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード		ID: PW:	

公 演 ・ ワークショップの 内 容

【公演団体名 ACO 沖縄】

対	小学生(低学年 ・ 中学年 ・ 高学年) ・ 中 学 生			
企画名	沖縄版ミュージカル「沖縄燦燦」			
本公演演目	「沖縄燦燦」 作・演出:三隅治雄 ステージング:知花小百合 原作／作曲 音楽:松元靖 脚 本 照明プラン:坂本義美 演出／振付 舞台美術デザイン:滝善光 衣裳デザイン:阿部美千代 音響プラン:富山尚 演出助手:前里茜 企画・制作:下山久			
	公演時間(70 分)			
著作権	○	制作団体が所有	制作団体以外が所有する事項が含まれる	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無
演 目 概 要	「沖縄燦燦」 愛を歌え！生きる喜びを綴(つづ)れ！ 恋する二人を巡る沖縄版ミュージカル。命の讃歌！ 2013年の初演以来、国内外で100回以上の公演を重ね、進化を続ける人気の沖縄版ミュージカル。ある漁村を舞台に、恋に落ち結ばれる男女と、2人を支える村の人々の暮らしを描いた心温まる物語。 琉球舞踊をベースにした優雅で繊細な演技と、時にダイナミックな踊りが、何気ない日常に潜む喜びを際立たせ、艶やかな伝統衣装、バイオリン・三線・パーカッションの調べが、沖縄で生きる誇りを高らかに表現します。 ～燦燦と輝く命の輝き！～ ストーリー Story まだ琉球王国と呼ばれたのは140年以上前の話。 漁師の三良は星たちの下、はるかかなた水平線を見つめる。 日が昇り、舟に乗り、沖を目指し、漁を始めた。陸では、加那が三良の無事を祈る姿がある。想いが空を飛び、舟を守った。二人が互いに寄せる気持ちは、少し特別だからだ。村一番頼りがいのある三良と、大人しく内気な加那の、不器用で純粋な仲を賑やかな村の娘たちが密かに応援する。村は小さく貧しいけれど、みんなが助け合いの暖かい心を持っていた。精一杯生きる毎日の中の出来事を喜び、祝い、愛を歌う。 ・全身全霊で歌い踊り、観客の心に極上の想いをお届けする鍛え抜かれた舞踊家達。 ・沖縄にある昔ながらの情景を七景にわけ表現したわかりやすいストーリー展開。 ・ナンバーバル(非言語)で年齢、国籍問わず楽しめる舞台。 ・生演奏の中に西洋楽器(バイオリン、ビオラ)を取り入れ三線、島太鼓等の伝統楽器とのコラボレーション。 ・沖縄独特の色鮮やかな衣装と早変わり。 ・舞台美術の瞬時における転換。			

	第一景 海人(若い漁師) 三良はサバニに乗り込み櫂を振るって沖をめざし漁が始まる。 第二景 みやらび商い(娘たちの魚売り) 三良が獲れた魚を入れた籠を担いで浜に着く、いつものように村の娘たちが賑やかに迎えてくれた。働きものの娘たちはウキウキ箆を頭に載せて魚を売りに街へ行く。 第三景 ヨーカナヨー(恋の歌と踊り) 森の木陰。想いを伝えあう二人。 第四景 ユイマール(助け合い) 沖縄の村の多くは半農半漁。夜明けには海で働き、昼は田畑で汗をかく。 みんなで手を取り、助け合う。三良が家を建てようとするのを、村人みんなで手伝う。 家を建てる歌と踊り。 第五景 にいびち(結婚式) 三良と加奈の祝いの儀式。村人たちと祝いの踊り。 第六景 豊年祭(収穫の祝い) 海の向こうから、豊穡をもたらすミルク神がやって来た。 今年も豊年。神様への感謝。 ・ミルク神の踊り ・若衆踊り(中国からの使者を喜ばせたという、祝いの踊り) ・花笠踊り。 ・沖縄の離島小さな武富島の踊り ・三良と加奈に赤ちゃんが出来た！子どもをあやす喜びにあふれた踊り。 第七景 沖縄燦燦(生きる喜び) この空、この海、この島とともに、私たちは生きる。 「今日がピーは クガニピー もとばしよ ホーユば直れ」 今日という日は黄金のように輝くとても素晴らしい日、平和で豊かな世の中になますように。命の輝きを、お届けします。
演 目 選 択 理 由	歌舞劇「沖縄燦燦」は、ポーランドのワルシャワで開催されたアシテジ(国際青少年演劇劇団協会)世界大会で世界400作品の中からベスト25に選ばれたアジア唯一の招待作品。世界3000作品が参加するエジンバラ演劇祭で五つ星を獲得。2015 年厚生労働省社会保障審議会推薦児童福祉文化財。 沖縄の島々に伝わる歌と踊りをとおして表現する事や生きる喜び、命の賛歌を子どもたちへ届けます。
児 童 ・ 生 徒 の 共 演 ， 参 加 又 は 体 験 の 形 態	沖縄の八重山諸島、竹富島の「マミドーマー」で踊りやセリフのワークショップを行う。 ワークショップに参加した生徒たちが「沖縄燦燦」の公演の中で、出演者と一緒に共演し舞台を体験する。また、本公演の前に全校生徒向けのワークショップも行い、全員参加型の舞台を創る。
出 演 者	・知花小百合 (琉沖縄県立芸術大学音楽部琉球芸能専攻非常勤講師。球舞踊朱日流朱之会師範琉球古典芸能コンクール「舞踊部門最高賞」受賞、舞台への出演の他、振付やステージングの作品も多い。) ・古謝渚 (物心ついたときから琉球舞踊を始める。宮城本流鳳乃會、古謝徳子に師事。沖縄県立芸術大学卒業。沖縄芝居の劇団「うない」所属。琉球古典芸能コンクール最高賞(琉球舞踊)、同優秀賞(箏曲))

	・上原崇弘 (玉城流喜納の会伊波正江に師事。国立劇場おきなわ第3期組踊研修修了生 琉球古典芸能コンクール舞踊最高賞受賞。現在琉球舞踊、組踊、沖縄芝居などの舞台に出演 多数。) ・比嘉大志 ・上原唯 ・新垣歌乃 ・伊集春華の舞踊メンバーから5人が出演。全員幼少のころ から、古典芸能を取得し豊富な舞台経験を持つ。 ・亀井美音:歌・三線 ・くによしさちこ:バイオリン、ビオラ(琉球交響楽団) ・伊波はづき:太鼓、パーカッション(島太鼓奏者)		
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出 演 者: 9 名 <u>ス タ ッ プ: 6 名</u> 合 計: 15 名	機 材 等 運搬方法	積載量 2t 車 長 6.6m 台 数 1 台

公演に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。																	
会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	前日仕込み(有・ 無) 会場設営の所要時間(4 時間程度) <table border="1"> <tr> <td>到着</td><td>仕込み</td><td>本公演</td><td>内休憩</td><td>撤去</td><td>退出</td></tr> <tr> <td>時</td><td>9 時～13 時半</td><td>13 時半～15 時</td><td>0 分</td><td>15 時半～17 時</td><td>17 時半</td></tr> </table> ※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。						到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出	時	9 時～13 時半	13 時半～15 時	0 分	15 時半～17 時	17 時半
到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出													
時	9 時～13 時半	13 時半～15 時	0 分	15 時半～17 時	17 時半													
児童・生徒 の参加可能人数	ワークショップ	全校生徒可能																
	本公演	1人～30人程度																
ワークショップ 実施形態 及び内容	(1)ワークショップ(WS) 【ワークショップ内容】 所要時間:約 100 分 「沖縄燦燦」ワークショップには、「沖縄の方言を話す」「マミドーマを踊る」という2つのテーマがあります。 ①沖縄の言葉(方言)「うちなーぐち」を話してみよう！ ②沖縄の踊り「マミドーマ」を歌って踊ろう！ ③本公演に向けてリハーサルをしてみよう！(※「マミドーマ台本」参照) 【ワークショップ参加生徒について】 ワークショップに参加する生徒の人数について上限はありません。 各学校のご希望をお伺いし、決めて参ります。 例) ・生徒数が少ない場合:全校生徒一緒にワークショップをする ・生徒数が多い場合その1:1限目に1～3年生、2限目に4～6年生 ・生徒数が多い場合その2:1学年だけ(例えば5年生)にワークショップなど ※事前に、マミドーマ台本・動画などお送りいたします (2)本公演(本番) 【本公演当日の流れ】 お打ち合わせ・子供たちとのリハーサル・本番開催 (各学校「本番タイムスケジュール案」を事前にお送りいたします。お送りした資料参照の上、ご相談して進めます。 【本公演に出演する生徒について】 本公演に出演できる人数は、1～30 名です。 衣装を着て、小道具を持ちます。 実際の役者さんと共演しますので、本公演前に 30 分ほどのリハーサルと、15分程度の衣装への着替えの時間を設ける必要があります。 各学校、給食時間や授業との兼ね合いがあるので「本番タイムスケジュール案」(Excel ファイル)を見ながら、ご相談させていただきます。																	

「マミドーマ台本」をご確認いただき、本公演に出演する生徒をワークショップ実施日までに決めていただきます。

台本の役割分担(誰がセリフをいうか、どのパートを踊るか)は、ワークショップ終了後、ご相談しながら本番までに決めてまいります。

※ワークショップのあと、練習が何回か必要だと思いますので、練習用の音源(CD や歌詞カードなど)をご用意いたします。

【マミドーマについて】

「マミドーマ」とは、沖縄県の離島、八重山地方に伝わる労働歌です。

竹富島に生まれた働き者の美しい娘(マミドーマさん)のことを歌った内容で、農作業の様子を軽快に踊り、五穀豊穡を祝う踊りです。

「沖縄燦燦」本編の中では、伝統的なマミドーマの曲をアレンジし、速いテンポで踊っています。今回のワークショップでは、伝統的なマミドーマの音楽にのって、仲間とともに働くことや収穫の喜びを歌や踊りを通して身体全体で表現し、体験します。

【本公演・生徒の出演者】1～30 名

※たたき台となる台本です。各学校の条件などに合わせて変更も可能です。

村人1:

村人 A:

村人2:

村人 B:

村人3:

村人 C:

村人4:

「カマ」の踊りをする村人(最大 10 名):

「ヘラ(沖縄の農具)」の踊りをする村人(最大 10 名):

「クワ」の踊りをする村人(最大 10 名):

村人5:

村人 D:

村人6:

村人 E:

村人7:

沖縄燦燦の出演者と一緒に参加します。

ここは140年前の沖縄。小さな村に朝が来ます。

村人たちが、踊り用のクワ、カマ、ヘラ(沖縄の農具)を持って畑にやって来ました。(生徒さんによるセリフにしても良い)

SE(効果音) コケコッコ～！

村人(生徒の皆さん)が何人か出てくる。

沖縄燦燦の出演者も出てくる。

村人1「はいさーい！(女性の場合は「はいたーい！)」

村人 A「こんにちはー！」

村人2「イー ワーチチ ヤンヤー」

村人 B「いい天気だねえ」

村人3「チューン、チバラナヤー」

村人 C「今日も頑張ろうねー」

村人4「ヒヤ！（沖縄の掛け声です）」

マミドーマの音楽が流れ始める。

(マミドーマ歌詞は台本の最後に記載しています)

畑を耕す踊りが始まる。

「カマ」の踊りをするチームが出て来て、踊る。
「ヘラ」の踊りをするチームが出て来て、踊る。
「クワ」の踊りをするチームが出て来て、踊る。

沖縄燦燦出演者による、種まきの踊り。
月日がたち、稲が育つ。
五穀豊穡の喜びを祝い、全員で踊る(沖縄燦燦エンディングの振り付け。)
音楽終わる。

村人たち、話を始める。
村人5「クッシン、ツクイムジュクイ ディキティ、イッペーウツサンヤ、フ
クラサンヤー」
村人D「今年も豊作でとっても嬉しいね、豊かで誇らしいねー」
村人6「ナー、ユマンガイ ナトーグトゥ、ケーラヤー」
村人E「日が暮れたから、帰ろうか。」
村人7「サンラー、また、あちゃーやー！」
全員(口々に)「また明日ねー！」「また、あちゃーやー！」

照明が暗くなり、夜になる。
サンラーがひとり、舞台に残る。
波音が静かに響く。明け方。
バイオリンの音色が始まる。
(本公演に参加した生徒は、着物を脱いで小道具を置いたあと、良きタイミングで客席に着席
します。席の確保をお願いいたします。)

～「沖縄燦燦」本編開始 (本編 55 分)～

舞台の最後、沖縄燦燦エンディングテーマにて、本公演当日に一番最初に行うワークショッ
プ、

①全校生徒へ 5～7 分程度のワークショップ

～「沖縄燦燦」エンディングテーマを踊ってみよう！～

で学んだ手踊りを全校生徒で踊ります。約 3 分程度で、とても簡単で楽しい内容です。舞台
上の出演者から語りかけ、全校生徒が踊れるようにアテンドします。
「おきなわー さんさーん！！」

終

マミドーマ 歌詞 (8番まで)

※出演する生徒の皆さんは、歌詞の合間のフェーシ(囃子)を歌います。

フェーシ(囃子)「アシティ！アシティ！ヤーサーサーサーサー！」さて、どこに入るのかな？！ワ
ークショップで学びましょう！

1 (カマの踊り)

サー まみとーま ヨー まみとーまー
美やらび ヨー みやらび

2 (クワの踊り)

サー いらけーすーた 生(ま)りだる
うーがんばなすでいだる

3 (ヘラの踊り)

サー ばぬ たぬみなゆすでい
くーりたーぬみ いきやすでい

	4 サー ばんがまーぬ まーるばー は一つぬ ふぁぬすいでいらば 5 (全員) サー まみとーまぬむるふぁや あーらくいばいしゅんあるはずいどー
ワークショップ 実施形態の意図	・子どもたちが、歌や踊りをとおして心を開き、表現の楽しさを体験する。 ・琉球音階を聞き、労働の中から生まれた沖縄の芸能文化を体験する。 ・日本の地方の言葉(沖縄方言)を体験する。 ・農作業の基本の踊りと創作した踊りとの比較を体験する。
特別支援学校での 実施における工夫 点	事前に学校と連絡を取り合い、生徒の状況を把握し、先生方と協力して実施いたします。 テンポの良いリズムで、楽しくワクワクできるような踊りや掛け声を体験していただきます。 参加者の学年や状況に応じて、臨機応変に対応しています。
実施可能時期 ◇はB区分申請団 体のみ	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。

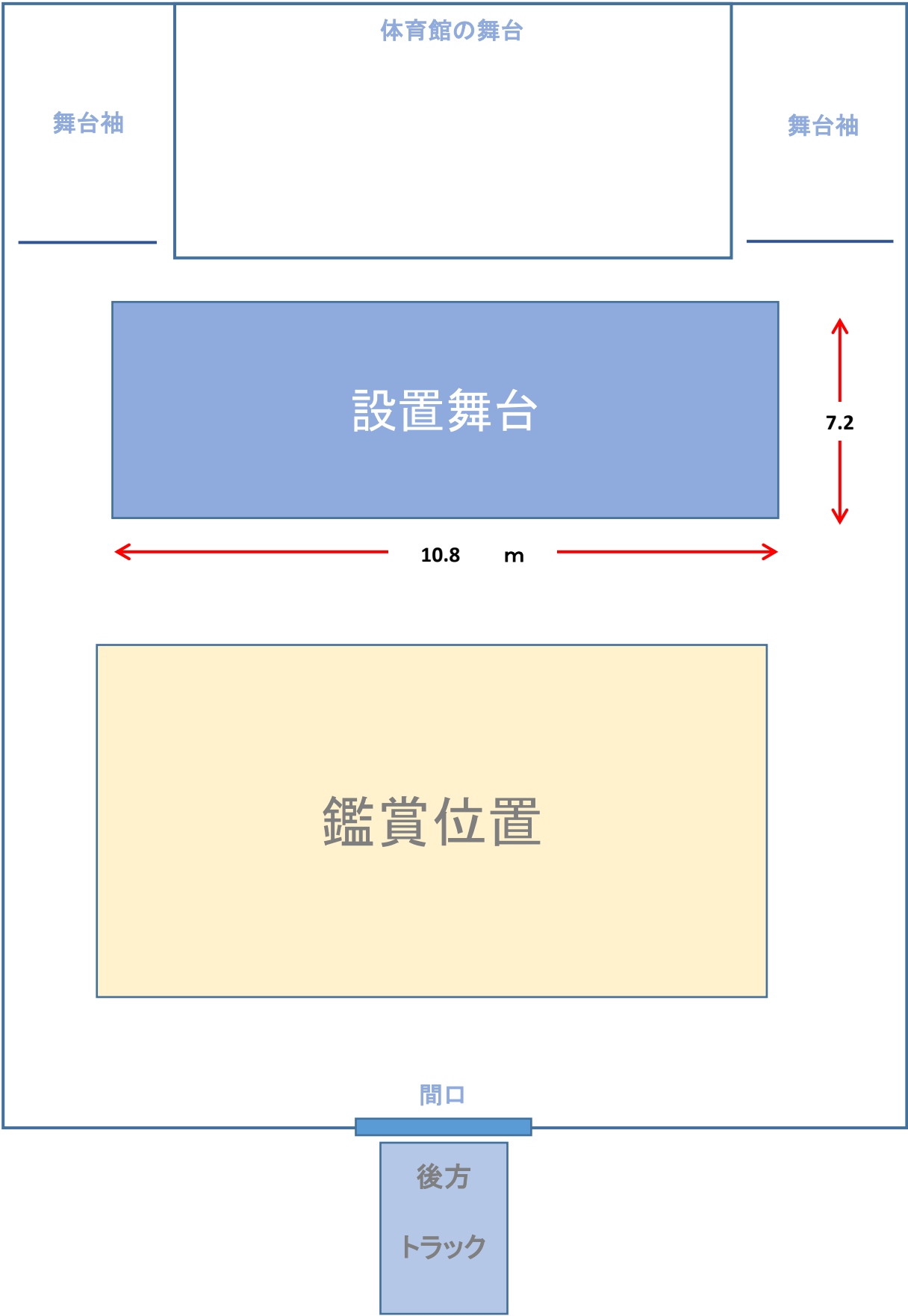
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	F65	分野	演劇	種目	ミュージカル	ブロック	F	区分	A区分
公演団体名	ACO沖縄				制作団体名	一般社団法人 エーシーオー沖縄			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数 *	2室	条件		5名ずつが着替えができるスペース。カーテンがある部屋を希望します。			
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			2tトラック 1台		小型バス 1台		
	不可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			2tトラックロング				
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			30m以内				
	可	搬入経路の最低条件			できる限り階段のない経路が望ましい。 屋根のある経路が望ましい。				
		理由			舞台道具や照明・音響機材の搬入をするため				
	可	設置階の制限 *			エレベーターの設置等があれば2階以上も可				
	可	搬入間口について 単位:メートル		幅	2m	高さ	2m		
WSについて	可	参加可能人数			全校生徒可能、本公演は30名程度				
	可	学年の指定の有無 *		なし	指定学年 *		なし		
	可	所要時間の目安 単位:分			90分程度				
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの 所要時間			会場設営:4時間、本公演:60分程度				
	可	鑑賞可能人数			500名程度				
	可	舞台設置場所 *			フロア				
	不可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル	幅	10.8m	奥行	7.2m	高さ	4m以上	
	可	体育館の舞台を使用する 場合の条件		舞台袖スペースの確保 *		要			
	舞台袖スペースの条件 *			袖に荷物が無い状態					
	緞帳 *			不要	バトン *	不要			
	可	遮光(暗幕等)の要否 *			要	理由	照明効果のため		
	可	ピアノの調律・移動の要 否		指定位置へのピアノの 移動 *	不要	※指定位置は会場設置図面に て御確認ください。			
	ピアノの事前調律 *			不要					
	可	フロアを使用する場合の 条件		バスケットゴールの設 置状況 *		格納されていれば可			
	可	公演に必要な電源容量			60A		※主幹電源の必要容量		
		その他特記事項							

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの可否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		30m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

うた おきなわ
歌ってみよう！沖縄の「わらべうた」

赤田首里殿内（あかたすんどうち）

さくし おきなわみんよう さつきよく おきなわみんよう
作詞：沖縄民謡 作曲：沖縄民謡

1. あかたすんどうち(赤田首里殿内) ※ シーヤーブー シーヤーブー
くがにどる さぎてい(黄金燈籠下ぎてい) ミーミンメー ミーミンメー
うりがあかがりば(うりが明がりば) ヒージントー ヒージントー
みるくうんけ(弥勒お迎え) イーユヌミー イーユヌミー
2. たいこくから みるく(大国から弥勒)
わがしまに いもち(我が島にいもち)
うかきぶしゃみそり
みるくゆがふ(弥勒世界報) ※ くりかえし

かし いみ
歌詞の意味

1. 赤田にある首里城内に ※ (不明) ほっぺをさわっていい顔
黄金の燈籠をつるして みみ 耳をさわるよ
それが輝くと ひじだよ ひじをさわるよ
弥勒様のお迎えだ うお め 魚の目だよ て 手のひらを、指でさすよ
2. 大国(中国)から弥勒の神様が
沖縄にいらして
いつまでもおとどまり下さい
そうすれば平和で豊かな世の中です

公演日程

実施日程	都道府県・政令指定都市	市区町村名	実施校	実施校以外の地元主催者
2019年 6月11日(火)	熊本県	人吉市	人吉市立人吉西小学校	熊本県教育委員会、人吉市教育委員会
2019年 6月12日(水)	熊本県	五木村	五木村立五木中学校／ 五木村立五木東小学校	熊本県教育委員会、五木村教育委員会
2019年 6月13日(木)	熊本県	玉名市	熊本県立玉名高等学校附属中学校	熊本県教育委員会
2019年 6月14日(金)	熊本県	阿蘇市	阿蘇市立一の宮小学校	熊本県教育委員会、阿蘇市教育委員会
2019年 6月17日(月)	福岡県	嘉麻市	嘉麻市立稲築東中学校	福岡県教育委員会、嘉麻市教育委員会
2019年 6月18日(火)	福岡県	遠賀町	遠賀町立遠賀南中学校	福岡県教育委員会、遠賀町教育委員会
2019年 11月12日(火)	佐賀県	唐津市	唐津市立七山小学校	佐賀県教育委員会、唐津市教育委員会
2019年 11月13日(水)	佐賀県	有田町	有田町立有田中学校	佐賀県教育委員会、有田町教育委員会
2019年 11月14日(木)	長崎県	東彼杵町	東彼杵町立千綿小学校／ 東彼杵町立東彼杵中学校／ 東彼杵町立彼杵小学校	長崎県教育委員会、東彼杵町教育委員会
2019年 11月15日(金)	佐賀県	嬉野市	嬉野市立久間小学校	佐賀県教育委員会、嬉野市教育委員会
2019年 11月18日(月)	長崎県	長崎市	長崎市立西泊中学校	長崎県教育委員会
2019年 11月19日(火)	長崎県	大村市	大村市立松原小学校	長崎県教育委員会、大村市教育委員会
2019年 11月28日(木)	福岡県	北九州市	学校法人きのくに子どもの村学園 北九州子どもの村中学校	福岡県教育委員会
2019年 11月29日(金)	福岡県	八女市	八女市立忠見小学校	福岡県教育委員会、八女市教育委員会

し
知ってますか？ ～10月1日は「国際音楽の日」です～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の
人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。日本では、
1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。



歌えよ踊れ 愛さ島うちなー

沖縄燦燦

OKINAWA SANSAN

こうえんしゅもく こうえん
◎公演種目：ミュージカル公演

れいわがんねんど ぶんかげいじゅつ こどもいくせいそうごうじぎょう じゅんかいこうえんじぎょう
令和元年度 文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供
たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。
事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。



沖縄燦燦
OKINAWA SANSAN

漁りょうに出るサンラーでと無事ぶじを祈いのるカナー、ふたりの仲なかを応援おうえんする村娘むらむめたち。
 みんなが助け合たすあいの心こころを持ち、精一杯せいいつぱい生いきる。日々ひびの出来事できごとを共に
 喜びよろこび、祝いいわい、愛あいを歌うたい…。そして産うまれる新あたらしい命いのち。
 言葉ことばに頼たよらずに、沖縄おきなわの歌うたや踊おどりで、命いのちの素晴すばらしさを伝つたえる舞ふ台たいです。

クイズのこたえをかんがえて、「沖縄」のおきなわ暮らしをく想像してみよう！

♪ あがろうざ [小浜島]

きく えんしゅつ	みすみ	ほそお
作・演出	三隅 治雄	
	ちばな	きゆり
ステージング	知花 小百合	
おんがく	まつもと やすし	
音楽	松元 靖	
びじゅつ	たき ぜんこう	
美術	滝善 光	
いしょう	あべ みちよ	
衣装	阿部 美千代	
しょうめい	さかもと よしみ	
照明	坂本 義美	
おんきょう	とやま ひさし	
音響	富山 尚	
えんしゅつじよしゅゆ	まえばと あかね	
演出助手	前里 茜／みうらもと お	
おたのいかんとか	いのまた たかゆき	
舞台監督	猪股 孝之	
きくくせいしや	しもやま ひさし	
企画制作	下山 久	

こたえ : Q1. 折り Q2. 町へ売りに行く Q3. てぬぐい Q4. 助け合い Q5. 結婚式 Q6. 豊かさを祝う祭り Q7. キラキラ輝く

VI 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目(該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	<u>バレエ</u> , 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり ・ なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	ゆうげんがいしゃこばやしばれえじむしょ ----- 有限会社 小林バレエ事務所		
代表者職・氏名	代表取締役 小林英夫		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒151-0053 東京都渋谷区代々木 5-13-2 (小田急線 代々木八幡駅)		
電話番号	03-3987-3648	FAX番号	03-3987-3649
ふりがな 公演団体名	こばやしのりこばれえ・シアター ----- 小林紀子バレエ・シアター		
代表者職・氏名	代表 小林 功		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒171-0031 東京都豊島区目白 2-39-1 TRAD 目白 B2F (JR 山手線 目白駅)		
制作団体 設立年月	1973 年 3 月		
制作団体 組織	役 職 員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役 小林英夫 取締役 小林紀子 取締役 小林健太 制作 小林健太 児玉玲子 真野琴絵 経理 田村陽子 監査 武田摂男(公認会計士・税理士)	①団体構成員 団員 28 人, 準団員 12 人, 他職員 6 人 ②主な構成員 ハレエミストレス: 児玉玲子 教師: 黒川千尋 他 ダンサー: 島添亮子, 高橋怜子, 富川直樹, 萱嶋みゆき 望月一真他 28 名 ③加入の条件 学生を除き, 朝 10:00 からのレッスンに毎日(日曜を除く)通えて, かつ, 16:00 までのリハーサルに来られる人で, 高度なバレエのレベルを有する人。	

事務体制の担当	☒ 専任 ・ 他の業務と兼任		本事業担当者名	田村陽子
経理処理等の 監査担当の有無	☒ 有 ・ 無		経理責任者名	田村陽子
制作団体沿革	1973 年設立(東京目白)。1974 年 3 月第 1 回公演 A.ロドリゲス振付「オンディース」(主演:小林紀子)上演以来、2016 年 11 月までに 110 回の公演を重ねる。1976 年法人設立。2007 年「コンチェルト」他の公演評が、英国紙ファイナンシャルタイムズ紙にて絶賛された。2008 年「ザ・レイクス・プログレス」他の成果に対し平成 20 年度文化庁芸術祭大賞受賞。2012 年舞踊批評家協会賞受賞。 またこれまでに、篠原聖一、板橋綾子、鈴木 稔、下村由理恵、小林十市、柳瀬真澄、島添亮子、小野絢子など、国内外で活躍する優秀なバレエダンサー、アーティストを数多く輩出。 ◆ 文化助成公演 1977 年第 6 回公演「Variation for 9」他 ◆ 文化芸術祭主催公演 1981 年第 17 回公演「悪魔が夜来る」 ◆ 芸術文化振興基金助成事業 1995 年第 58 回公演「シンデレラ」、2002 年第 73 回公演「二羽の鳩」「ソリテイル」 ◆ 文化庁舞台芸術振興事業 2002 年第 72 回公演 デレク・ディーン版「ジゼル」 ◆ 文化庁芸術団体重点支援事業 2003 年第 75 回公演「レ・ランデヴー」他、2003 年第 76 回公演「バレエの情景」他、2003 年第 77 回公演「くるみ割り人形」、2004 年第 78 回公演「ソワレ・ミュージカル」他、2004 年第 79 回公演「ジゼル」他 ◆ 文化庁芸術創造活動重点支援事業 2005 年第 81 回公演「The Invitation」他、2005 年第 82 回公演「二羽の鳩」他、2006 年第 84 回公演「コンチェルト」他、2007 年第 87 回公演「ザ・レイクス・プログレス」他、2008 年第 90 回公演コボー版「ラ・シルフィード」他 ◆ 文化庁芸術創造活動特別推進事業 2009 年第 94 回公演マクミラン版「眠れる森の美女」全幕他、トップレベルの舞台芸術創造事業 (現舞台芸術創造活動活性化事業)2010 年第 100 回記念公演マクミラン振付「マノン」、2012 年「アナスタシア」など多数。			
学校等における 公演実績	2009 年より文化庁本物の舞台芸術体験事業(現文化芸術による子供の育成事業)を全国の小学校、中学校において実施。これまでに東北、北陸、関東、甲信、東海、近畿、中国地方、九州など各地方にて、のべ 70 の市区町村で本事業を行う。 また 1988 年から 2007 年まで、(財)日本青少年文化センターによる企画、栃木県教育委員会、県内教育委員会主催のもと約 200 校、のべ約 60,000 人をこえる生徒のために、バレエ、日本舞踊、現代舞踊とのコラボレーションによる「舞踊への招待」公演を実施。			
特別支援学校に おける公演実績	2017 年 6 月文化芸術による子供の育成事業として横須賀市立ろう学校にて公演およびワークショップを実施。幼稚園児から高校生まで、すべての同校児童・生徒が公演、またはワークショップにてバレエを実際に体験。			
参考資料の 有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	☒ 有 ・ 無	
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	☒ 有 ・ 無	
		※公開資料有の場合 URL		
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:	
	A の 提出が 困難な 場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無	
		※公開資料有の場合 URL		
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:	

公 演 ・ ワークショップの 内 容

【公演団体名

小林紀子バレエ・シアター】

対 象	小学生(<u>低学年</u> ・ <u>中学年</u> ・ <u>高学年</u>) ・ <u>中 学 生</u>					
企画名	～ ようこそ！バレエの世界へ！～					
本公演演目 原作／作曲 脚 本 演出／振付	演目①『Movement Caprice』 振付・演出：小林紀子 作曲：ルイ・ゴッドシャルク（米国） 演目②『アタック to バレエ』“バレエダンサーに挑戦” ★生徒共演作品 演出・脚本：小林紀子 作曲：スコット・ジョプリン（米国）他 演目③『コート・ダンス・パレード』“バレエ作品を体験” ★生徒共演作品 演出・脚本：小林紀子 作曲：アドルフ・アダン（仏国） メイン演目『ソリテイル』 振付：ケネス・マクミラン（英国） 作曲：マルコム・アーノルド（英国） 初演：1956年6月7日 サドラーズ・ウェルズ・バレエ団（英国） 公演時間（約90分 休憩10分含む）					
著作権	<table border="1"> <tr> <td>制作団体が 所有</td><td>○</td><td>制作団体以外が所有する事 項が含まれる</td><td>○</td><td>（制作団体以外が所有す る事項が含まれる場合） 許諾の有無</td></tr> </table>	制作団体が 所有	○	制作団体以外が所有する事 項が含まれる	○	（制作団体以外が所有す る事項が含まれる場合） 許諾の有無
制作団体が 所有	○	制作団体以外が所有する事 項が含まれる	○	（制作団体以外が所有す る事項が含まれる場合） 許諾の有無		
演 目 概 要	バレエにはセリフがありません。どのように物語や気持ちを伝えるのでしょうか。 “バレエ”は発想力を育て、様々な感性や視点で観ていただける総合舞台芸術です。 世界中の人々、男の人、女の人、大人、子供、みんなに長いあいだ愛され続けている“バレエ”。 4つの作品を通してその魅力を余すところなくご紹介します！ ▶演目①「Movement Caprice（ムーヴメント・カプリース）」ー 初めて観るバレエの動き！ <u>みどころ</u>：鼓動のようなリズムの音楽が響き、少しずつ明かりが入ってダンサーのシルエットが浮かび上がります。一気に明かりがつくと、バレエダンサーたちが目の前に！初めてバレエを目にする生徒さんへ新鮮な驚きと感動を与えます。 ソロや群舞、美しくダイナミックな踊りが続き、フィナーレはダンサー全員が舞台上に登場し、大きなリフトや軽快な回転など目まぐるしく躍動します。 バラエティーに富んだ曲想が引き出すさまざまな情景に、クラシックバレエの醍醐味のひとつである多様なテクニックがちりばめられた作品です。オープニングから爽快感たっぷりのフィナーレまで、あますところなく堪能することができます。 ▶演目②「アタック to バレエ」 ★生徒共演作品 ー ダンサーのトレーニングの様子～みんなもバレエに挑戦！ <u>みどころ</u>：身体を使って音楽やドラマを表現することを職業とするバレエダンサー。かれらの毎日のレッスンの様子を、わかりやすく解説付きで披露します。バーと呼ばれる横木に手を乗せて行う動き、バーを離れて小さいジャンプから大きいジャンプそして回転まで、どのようにしてダンサーがトレーニングを行っているかをご覧ください。そして「体験コーナー」では生徒さんにも、舞台上で照明を浴びながらピアノの演奏に乗って、ワークショップで事前に一緒に練習したバレエの基本ステップに挑戦していただきます。 挑戦していただく皆さんには、 テレビCMなどで耳馴染みの あるチャイコフスキーの音楽で 楽しく踊っていただきます。ワークショップで練習した内容を、ダンサーの手本と					



一緒に踊ります。

生徒さんが心配の無いよう、バレエダンサーが丁寧にサポートするので安心です。

▶演目③「コート・ダンス・パレード」★生徒共演作品

ー 役柄を表す衣裳とは？セリフがなくても何を話しているか分かる！

あらすじ：時は 400 年前、葡萄畑が広がる村で、村人たちがぶどう狩りに出かけるようです。村人たちは薄い生地洋服を着て、軽やかに通り過ぎていきます。そこへ、貴族の一行が通りかかります。貴族はいかにも権威を示すような、女性は 10～15 キロある洋服、男性は 20～30 キロもある重い織物で作られた洋服を着て、一步一步ゆっくりと優雅に歩いています。村人たちは貴族に深く頭を下げ、短い踊りで歓迎します。

村人たちが葡萄を囲んで腰を下ろした途端、時間が止まってしまったようです！

そこへいたずらな妖精がスキップをしながら現れます。妖精たちは時間が止まっている間に、村人のかごから葡萄、男性の貴族の帽子、女性の貴族の手袋などを持って行ってしまったようです。さあどうなるのでしょうか。



みどころ：セリフがないバレエでは、「マイム」と呼ばれる動きで言葉を表すことがあります。

「あなたのお洋服、とっても素敵ですね！」という意味のマイムや、「喉が渴きました。何か飲むものはありますか？」という意味のマイムなどが出てきます。とても自然な動きなので、初めて見る人でもどんな意味だか分かり易いですよ。

「コートダンス・パレード」では、妖精役を学校の生徒さんに演じていただきます。生徒さんには妖精の衣裳を着て、バレエシニヨン（おだんご）を結って白い花輪の頭飾りを付け、シンプルな舞台メイクを体験していただきます。バレエダンサーが生徒さんとお話ししながらヘアセットとメイクをいたします。みんなメイクが終わったお友達のお顔を見て「かわいい！」と大好評です！

生徒さんに踊っていただくステップは、ワークショップでしっかりと練習しますので心配いりません。



▶演目④「ソリテイル」ー 周りの人たちとのかかわり、自分という存在について・・・

あらすじ：中心となる少女は、彼女を取り巻く世界に上手く馴染むことができません。

彼女が頬杖をついて宙を見上げると、目の前にたくさんの友達が現れます。友達は、ときに楽しそうに少女に駆け寄り、彼女を驚かせたり、ときに彼女の気持ちに寄り添い、包み込みます。少女や友達がどんなお話しをしているのか、少女がどんなことを考えているのか想像しながら見てみましょう。

きっと、少女やそのお友達の話し声が聞こえてきますよ・・・

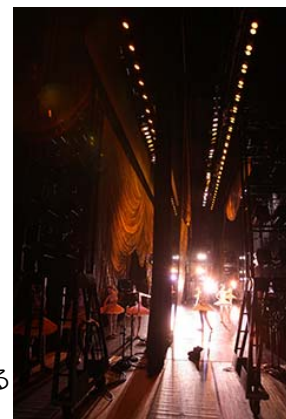
みどころ：少女の前に現れては消える個性豊かな登場人物たち。様々な友達との関りの中で少女が抱く憧れや、希望、憂いを、穏やかでユーモラスに、かつ切なく描いているバレエです。少女の気持ちの揺れる様子が、見ている者の胸に響きます。

この作品は、“児童、生徒の芸術を愛する心を育て、豊かな情操を養う”という目的のため、英国の振付家著作権団体から特別に

上演許可を得ています。セリフを使わない芸術だからこそ、心の奥に響くものがあります。ひとりひとりの児童生徒が、それぞれの視点で観て感じてもらいたいバレエ作品です。



	<『ソリテイル』振付：ケネス・マクミラン Kenneth MacMillan>（1929－1992）マクミランは、スコットランドのダンファームリン生まれ。1946 年、新設されたサドラーズ・ウェルズ・シアター・バレエ（のちの英国ロイヤル・バレエ団）にダンサーとして入団。いくつかの小品を作った後、振付家としての将来性が認められ『ダンス・コンセルタンテス』（1955）を振付。かのアーノルド・ハスケルをして“マクミランは疑う余地もなく、天才的な振付の才能を持ち、また類まれなる種類の振付家である。ストラヴィンスキーの音楽を理想的に解釈し、まさに音楽を視覚化させたのである。彼の振付の才能は動きの中に暗に示されていて、それは真の振付であった”と言わしめた。1983 年、マクミランの英国バレエ界への多大な貢献に対して Knight（ナイト）の称号が与えられ、心臓発作によってこの世を去った翌年の 1993 年には、彼の生涯にわたる業績が称えられ、オリヴィエ特別賞が贈られた。
演 目 選 択 理 由	▶体育館が劇場に！臨場感たっぷりの客席設計。 一歩体育館に足を踏み入れると、すっかり劇場に姿を変えています！ 舞台を囲むように客席が配置された円形劇場をイメージした舞台では、どこの席も S 席！と感じていただけるように工夫されていますので、どの位置から見てもダンサーの演技を間近で見ることができます。それぞれの角度からダンサーの色々な表情が良く見えます。これは、小さなお子様でも舞台に注目し、バレエの世界に浸ることができるための工夫です。 開演が近づくと、外からの明かりがほとんど遮断され、本当の劇場のように暗くなり、ライトが当たる舞台から目が離せなくなるでしょう。 ▶磨きあげられたダンサーの躍動。 バレエの大きな特徴のひとつに、セリフなどを用いずに、ダンサーの動きのみで作品の世界観を表現するということがあげられると思います。舞台上で躍動するバレエダンサーの身体を通して、音楽のイメージ、作品のテーマ、男女の感情、またストーリーが語られていくのです。だからこそバレエダンサーは、たえず自分の技術や表現力を磨き、全身を使って多くのことが表現できるよう訓練をしています。 ▶舞台のすみずみまで見て発見する楽しさ！ ダンサーの動きはもちろん、ピアノの演奏や音楽、美しくデザインされた衣裳やジュエリー、刻々と変化する照明など、そのすべての要素が素晴らしい舞台に欠かせないもののなのです。舞台の幕があいたら中央だけでなく、ぜひ舞台のあらゆるところに目を移してみてください。あらたな楽しみを発見することが出来ると思います。 ▶世界中の人々、男の人、女の人、大人、子供、みんなに長いあいだ愛され続けている“バレエ”。 4 つの作品を通してその魅力を余すことなく紹介します！ バレエには様々な要素があります。特徴ある美しい動きや衣裳はその代表ですが、他にも音楽や照明、舞台装置など様々な要素から成り立つため、『総合芸術』と呼ばれています。 そして私たち小林紀子バレエ・シアターが得意とするのは、英国の振付家による『心理』や『ある人物の生き様』などを表したストーリーバレエです。 1 つの作品の長さが 20 分くらいの 4 つの作品から構成されているプログラムですので、最後まで集中して見ることができます。 バレエは『美しさ』や『ファンタジー』にとどまらず、とても雄弁な舞台芸術です。今回、児童生徒の皆さんも身近に感じることができる感情を取り上げた『ソリテイル』をご覧いただき、是非バレエで語られる物語を楽しんでいただきたいと思います。 ▶バレエ作品『ソリテイル』の解釈は人それぞれです。私たちは、作品をどのように見てほしいという事はありません。見終わったときに、なんだかわからない優しい気持ちになっているかもしれません。見たことがないものを見て、目がキラキラしているかもしれません。涙があふれて



	くるかもしれません。 いつもは話しかけられない友達に明日話してみようと思うかもしれません。周りの友達に優しくしたいと思うかもしれません。安心するかもしれません。それとも、もっと違う気持ちになっていくかもしれません。言葉では上手く言い表せない気持ちかもしれません。是非その気持ちを生徒さんたちが心にとどめて、芸術に触れるということの喜びを知っていただけたら私たちにとってこの上ない喜びです。		
児 童・生 徒 の 共 演，参 加 又 は 体 験 の 形 態	生徒さんは◆「アタック to バレエ」、◆「コート・ダンス・パレード」に共演します。 バレエダンサーと直接ふれあい、バレエダンサーのように準備をし、また実際に生徒さんひとりひとりが円形劇場をイメージした舞台や、本格的な照明のライトのなかで表現するということを通して、普段の授業ではなかなか経験することのできない非日常を体験します。 ※事前のワークショップ時にも、くわしく内容についてご説明、練習等いたします。		
出 演 者	別紙①参照		
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出 演 者： 25 名 <u>ス タ ッ プ： 26 名</u> 合 計： 51 名	機 材 等 運搬方法	積載量 4t 車長 10m / 車高 3.8m 台 数 2 台

【公演団体名 小林紀子バレエ・シアター】

公演に当たっての 会 場 条 件	実施条件等確認書①をご確認ください。																	
会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	前日仕込み(有 ・ ☐) 会場設営の所要時間(3 時間程度) <table><tr><td>到着</td><td>仕込み</td><td>本公演</td><td>内休憩</td><td>撤去</td><td>退出</td></tr><tr><td>時</td><td>8:00～ 11:00</td><td>13:30～ 15:00</td><td>10 分</td><td>15:00～17:00</td><td>17:30</td></tr></table> ※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。 11:00～60 分程度ワークショップで練習した児童生徒共演の演目部分の最終リハーサルをステージ上で行います。						到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出	時	8:00～ 11:00	13:30～ 15:00	10 分	15:00～17:00	17:30
到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出													
時	8:00～ 11:00	13:30～ 15:00	10 分	15:00～17:00	17:30													
児 童 ・ 生 徒 の 参加可能人数	ワークショップ	約 130 名程度																
	本公演	約 400 名程度（体育館の広さにより上限なし）																
ワークショップ 実 施 形 態 及 び 内 容	▶公演当日は生徒さんに◆「アタック to バレエ」、◆「コート・ダンス・パレード」の2作品に出演していただきます。 ワークショップでは上記演目についての指導と練習を中心に、鑑賞のポイントもわかりやすく解説いたします。男女共通の練習メニューのほか、男子用のメニュー、女子用のメニューと時間を区切ってスムーズに行います。(ホワイトボードとポータブルマイクをお借りできると助かります。) ▶一緒に身体を動かしながら進めるワークショップ 指導側の話を一方的に聞くスタイルでなく、“一緒に身体を動かしながら”のスタイルでワークショップを行います。1つの学年の生徒さんだけに指導するのではなく、できるだけ多くの生徒さんで行えるようにしたいと考えております。(過去には全学年の生徒さんにワークショップを行った実績もあります) また、学校の行事や学校のカリキュラムに合わせて実施いたしますのでご要望をご相談ください。 ▶ワークショップ映像を公演時に放映！ ワークショップの時間は、基本的に 2 コマを使用しますが調整可能です。またワークショップにおいて生徒さん達が真剣に指導を受け、練習している様子をスタッフがビデオカメラで撮影し、公演時に生徒さんの貴重な体験記録としてダイジェスト版をスクリーン（持ち込み）を使って放映します。ワークショップに参加できなかった学年の児童生徒も様子をお伝えします。																	
ワークショップ 実施形態の意図	▶公演当日に「再会する」雰囲気づくり 公演で共演する生徒さんたちのほとんどは、バレエ未経験者ですので、生徒さんたちが当日困らないように、演目について指導者と一緒に身体を動かしながら、教職員の方も含めてコミュニケーションをとることができています。また公演に出演しない生徒さんにも、ワークショップでは基本メニューと一緒にやっていただくので、公演当日に“再会する”という雰囲気を作ることができます。																	

	▶この事業の大きな特徴でもあるワークショップは、公演を実施する団体側もとても役立っています。公演当日に使用する体育館を確認できるだけでなく、ダンサー用の楽屋や、スタッフの導線等についても事前に確認させていただいております。
特別支援学校での実施における工夫点	▶ろう学校でのワークショップでは、スクリーンを持ち込み、大画面でワークショップで練習するバレエのメニューを文字でわかりやすくフォロー。ダンサー、学校の教職員の方、児童・生徒が円になり、ダンサーも手話を使って児童・生徒とコミュニケーション取りながら楽しくバレエを体験します。 ▶公演前にホワイトボードを使って共演部分を子供たちに丁寧に説明。また音楽の曲調変化を「色」を用いて表す独自の指導法により、ほぼすべての児童・生徒がダンサーたちと共演することができました。
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。

No. 2 別紙メンバー表 出演者一覧

【公演団体名 小林紀子バレエ・シアター】

役職	氏名
プリンシパルダンサーA	島添亮子
プリンシパルダンサーB	大森結城
プリンシパルダンサーB	高橋怜子
プリンシパルダンサーB	富川直樹
ソリストA	上月佑馬
ソリストA	望月一真
ソリストA	小山 憲
ソリストA	佐々木淳史
ソリストA	荒井成也
ソリストA	澤田展生
ソリストA	萱嶋みゆき
ソリストA	真野琴絵
ソリストB	篠崎祐大
ソリストB	照沼大樹
コール・ド・バレエA	宮澤芽実
コール・ド・バレエA	松居聖子
コール・ド・バレエA	荒木恵理
コール・ド・バレエA	廣田有紀
コール・ド・バレエA	澁 可奈子
コール・ド・バレエA	濱口千歩
コール・ド・バレエA	松山美月
コール・ド・バレエB	武田麗華
コール・ド・バレエB	島沙緒梨
解説者	小林紀子
ピアニスト	青木萌絵

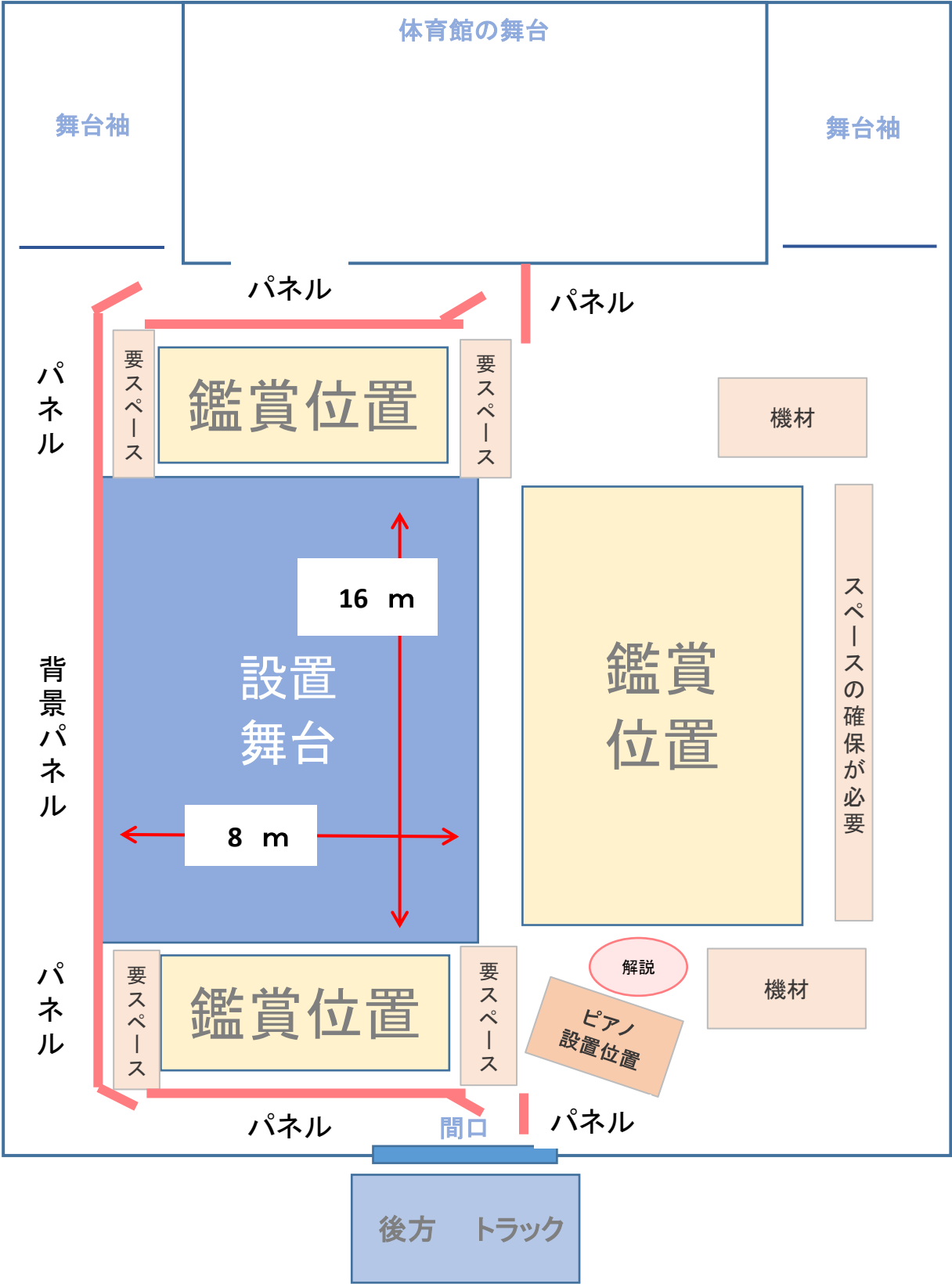
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	F66	分野	舞踊	種目	バレエ	ブロック	F	区分	A区分
公演団体名	小林紀子バレエ・シアター				制作団体名	有限会社 小林バレエ事務所			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数 *	3室	条件	うち2部屋は着替えをするため、カーテンがあること。 1部屋は食事が可能な部屋であること。				
搬入について	可	来校する車両の大きさと台数 *			4tトラック 2台		大型バス 2台		
					電源車 1台				
	可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			4tトラック(車長10m/車高3.8m) × 2台 電源車1台				
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			30m以内				
	可	搬入経路の最低条件			・できる限り階段の無い経路が望ましい。 ・屋根のある経路が望ましい。				
		理由			大道具、照明機材等、重量物の搬入のため				
	不可	設置階の制限 *			2階以上不可				
	可	搬入間口について 単位:メートル	幅	2m		高さ	1.8m		
WSについて	可	参加可能人数			130名程度				
	可	学年の指定の有無 *		なし	指定学年 *	なし			
	可	所要時間の目安 単位:分		90分程度					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの 所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイム スケジュール)」の目安をご参照ください。					
	可	鑑賞可能人数		約400名程度 (体育館の広さにより上限なし)					
	可	舞台設置場所 *		フロア					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル	幅	16m	奥行	8m	高さ	指定なし	
	可	体育館の舞台を使用する 場合の条件		舞台袖スペースの確保 *			要		
	舞台袖スペースの条件 *			袖に荷物が無い状態					
	緞帳 *			要	バトン *	不要			
	可	遮光(暗幕等)の要否 *		要	理由	照明等演出効果を高めるため			
	可	ピアノの調律・移動の要 否		指定位置へのピアノの 移動 *		要	※指定位置は会場設置図面に て御確認ください。		
	ピアノの事前調律 *			不要					
	可	フロアを使用する場合の 条件		バスケットゴールの設 置状況 *		格納されていれば可			
	可	公演に必要な電源容量			電源車を持ち込むため 必要ありません。		※主幹電源の必要容量		
		その他特記事項							

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	2m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否	要			
横づけができない場合の搬入可能距離	30m以内			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

★生徒共演作品
アタック to バレエ



ムーヴメント・カプリース



★生徒共演作品
コート・ダンス・パレード



少女の想いが観る者の心にそっと寄り添う



様々なエピソードの中に、少女の声が聞こえる



メイン演目:『ソリテイル』

物語の中心となる少女は、彼女を取り巻く世界に上手く馴染むことができません。彼女が頬杖をついて宙を見上げると、目の前にたくさんの友達が現れます。友達は、ときに楽しそうに少女に駆け寄り、彼女を驚かせたり、ときに彼女の気持ちに寄り添い、包み込みます。少女や友達がどんなお話しをしているのか、少女がどんなことを考えているのか、想像しながら見てみましょう。きっと、少女やそのお友達の話し声が聞こえてきますよ・・・

浮かんでは消える"少女の想い"が心に響く名作

少女の前に現れては消える個性豊かな登場人物たち。様々な友達との関わりの中で少女が抱く憧れや、希望、憂いを、**穏やか**で**ユーモラス**に、かつ**切なく**描いているバレエです。少女の気持ちの揺れる様子が、見ている者の胸に響きます。この作品は、“児童、生徒の芸術を愛する心を育て、豊かな情操を養う”という目的のため、英国の振付家著作権団体から特別に上演許可を得ています。セリフを使わない芸術だからこそ、心の奥に届くものがあるのです。とりわけ思春期の若者に是非、それぞれの視点で観て感じてもらいたい人間の本質を描いたドラマティックバレエです。

小林紀子バレエ・シアター
文化芸術による子供育成総合事業

N. Kobayashi
Ballet Theatre

NORIKO KOBAYASHI
BALLET THEATRE

Ⅵ 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。 A区分のみ・A区分とB区分の両方・C 区分

複数申請の有無 (該当する方に○を付してください。) あり・なし

複数の企画が採択された場合の実施体制 (該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきざいだんほうじん かまくらのうぶたい 公益財団法人 鎌倉能舞台		
代表者職・氏名	代表理事 石渡 徳一		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒248-0016 神奈川県鎌倉市長谷3-5-13(江ノ島電鉄:長谷駅、江ノ電バス・京急バス:長谷観音前・大仏前)		
電話番号	0467-22-5557	FAX 番号	0467-22-5557
ふりがな 公演団体名	こうえきざいだんほうじん かまくらのうぶたい 公益財団法人 鎌倉能舞台		
代表者職・氏名	代表理事 石渡 徳一		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒248-0016 神奈川県鎌倉市長谷3-5-13(江ノ島電鉄:長谷駅、江ノ電バス・京急バス:長谷観音前・大仏前)		
制作団体 設立年月	昭和44年 7月		
制作団体 組織	役職員 代表理事 石渡 徳一 業務理事 藤川 譲治、中森 貫太 理事 大崎 哲郎、近藤 浩通 若林 隆壽、井出 太一 坂倉 徹、浅尾 慶一郎 監事 露木 朗、鴻谷 正博 職員 中森 三佳	団体構成員及び加入条件等 〔団体構成員〕 ○能楽出演者 = 能楽協会所属能楽師 (鎌倉能舞台より出演委託した者) ○鎌倉能舞台賛助会員 = 広く一般(能楽愛好者)	
事務体制の担当	専任・他の業務と兼任	本事業担当者名	中森 貫太
経理処理等の 監査担当の有無	有・無	経理責任者名	宮本泰三(税理士)

制作団体沿革	【公益財団法人鎌倉能舞台】 ・昭和 33 年 4 月 中森晶三能楽研究会発足、同 34 年 4 月 鎌倉能の会と改称。 ・同年 10 月 「鎌倉薪能」創立に参画。 同年「中高校生対象の能楽教室」開始。約 300 回、30 万人に実演提供。 ・昭和 44 年 7 月 財団法人の認可。同 45 年 5 月 鎌倉能舞台の建築落成。 同年より「県民のための能を知る会」（年間 22 回～30 回）開始。 ・昭和 49 年より「能を知る会東京公演」（年間 4～6 回）開始。 薪能の発展に尽力(27 箇所 200 回以上)。 ・平成 15 年より日本財団事業「中高生のための能狂言教室」開始。 ・平成 20 年より文化庁「本物の舞台芸術体験事業」受託開始。 ・平成 23 年 11 月 公益財団法人（神奈川県）認定。 主催公演・受託公演・学生向け公演併せて年間約 50 公演以上、およそ 16000 人の観客に公演を行っております。
学校等における 公演実績	・昭和 30 年代より小中高校生対象の能楽教室を開始して以来、50 年以上に亘って、学校体育館や公民館等での学生向け公演を実施しております。神奈川県下の学校だけでなく、四日市や都内の学校等で、事前ワークショップを含め、わかりやすい解説・手引き・体験・質疑応答付きの公演を行っています。 ・平成 15 年度より平成 25 年度まで日本財団の助成を受け、「中高生のための能楽体験教室」を毎年 10 校～15 校の学校対象に実施しました。 ・平成 19、20 年度には文化庁「人材育成事業」を受託し、小樽、四日市、彦根、神奈川県等での子ども向けワークショップ・狂言鑑賞教室を実施しました。 ・平成 21 年度から文化庁「地域活性化事業」を受託し、鎌倉市内小学校 16 校 1200 人強の小学生への狂言教室を行っております。 30 年度は、鎌倉市主催で鎌倉市内小学校 11 校にて実施中です。 ・平成 19 年度より、神奈川県共催の『中・高校生のための能・狂言鑑賞体験教室』を開催、神奈川県・小田原市主催の能楽ワークショップも行っています。 ・平成 20 年度より 24 年度まで文化庁「本物の舞台芸術体験事業」、「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」を受託し、毎年 12～15 校の学校で、毎年およそ 5000 人の生徒に公演を行いました。 ・平成 26～28 年度は文化庁「文化芸術による子供の育成事業」を受託し、26 年度は 16 校、平成 27 年度は 10 校、平成 28 年度は 16 校、平成 29 年度は 24 校、平成 30 年度は 17 校、令和元年度は 19 校にて開催中です。 ・その他、玉川大学、慶應義塾湘南藤沢高校、北鎌倉女子学園、鎌倉女学園、文京学院大学、埼玉県杉戸小学校、国際基督教大学附属高校、春日部市立緑小学校等、毎年、数多くの学校公演を行ってきております。 ・学校体育館においても能舞台らしくしつらえる「簡易舞台セット＝どこでも能舞台 ㊤」を考案し、舞台セットをワゴン車一台に乗せて能舞台の出張公演ができる形を作りました。最初は簡易橋掛かりと持ち運びのできる柱のセットでしたが、舞台に見立てたカーペット、鎌倉能舞台の鏡板を等倍にコピーした折りたためる鏡板、滑車で上げ下ろしのできる幕、など、さらなる工夫を続けております。 ・ワークショップや公演の際にプロジェクターとスクリーンで字幕解説を出し（字幕 e 能 ㊤）、より理解しやすい公演を心がけて行っております。

特別支援学校における公演実績	・平成 21 年度：横須賀ろう学校にて「本物の舞台芸術体験事業」公演を実施。ワークショップ・解説・狂言「附子」・能「羽衣」上演しました。 ・平成 27 年度：長崎県立ろう学校にて「文化芸術による子供の育成事業」実施。プロジェクターにより字幕をスクリーンに映し出して、字幕付きでワークショップ・解説・狂言「柿山伏」・能「安達原」を上演しました。 ・平成 29 年度：札幌視覚支援学校にて「文化芸術による子供の育成事業」実施。能楽鑑賞の手引き・字幕台本を事前に学校へ提供し点字変換を行い、ワークショップでは本物の能面・装束・頭を触手してもらった上で、本公演で狂言「柿山伏」・能「小鍛冶」を上演しました。 ・平成 29 年度：青森県八戸聾学校にて「文化芸術による子供の育成事業」実施。プロジェクターにより字幕をスクリーンに映し出して、字幕付きでワークショップ・解説・狂言「柿山伏」・能「小鍛冶」を上演しました。		
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有 ・ 無
申請する演目の DVD または WEB 公開資料		有 ・ 無	
※公開資料有の場合 URL			
※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード		ID: PW:	
	A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:

公 演 ・ ワークショップの 内 容

【公演団体名

公益財団法人 鎌倉能舞台 】

対 象	小学生(低学年 ・ 中学年 ・ 高学年) ・ 中 学 生			
企画名	【字幕解説付き】 わかりやすい能・狂言鑑賞体験教室～日本の伝統文化を知ろう～			
本公演演目 原作／作曲 脚 本 演出／振付	日本の世界無形文化遺産「能楽」を、狂言と能のセットでわかりやすく鑑賞・体験してもらい、日本の伝統文化を知ってもらうことを目的としています。 【本公演 プログラム】 〈第一部〉 始まりの御挨拶 1:解説 (5 分) ・ 「能舞台について」「本日の演目について」の解説をします。 2:狂言鑑賞 「柿山伏(かきやまぶし)」 (15分) 休憩 (10分) 〈第二部〉 3:能鑑賞 「能 小鍛冶(こかじ)」 (40分) 字幕付き  ・ 本公演中に、曲の一部分を(事前にワークショップで練習)、生徒全員で謡います。 ・ セリフや動きを解説した字幕を見ながら(プロジェクターで映し出す)鑑賞します。 ・ 生徒が飽きずに見て貰えるよう、省略を加えて上演します。 4:狂言体験ワークショップ (20 分) ・ 狂言の先生に、今見た狂言の所作を習います。 5:質問コーナー (10 分) ・ 児童・生徒の皆様からの質問にお答えいたします。 公演時間(100 分)			
著作権	○	制作団体が所有	制作団体以外が所有する事項が含まれる	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無
演 目 概 要	○舞台について 体育館が能舞台に！ どこでも能舞台 ・ 簡易舞台セットで体育館に「能舞台」を作ります。(簡易柱・欄干、揚げ幕、鏡板) ・ 舞台は体育館の形状・生徒数によってステージの上でも体育館の床でも、ステージの上でも設置可能です。設営・撤収とも 30 分程、能楽出演者で設置・撤収します。 ・ 舞台横にスクリーンで字幕を表示し、わかりやすい現代語訳の解説を写し出します。			

【簡易舞台 設置例】



平成 10 年頃より鎌倉能舞台が”簡易舞台セット”＝「どこでも能舞台®」を考案し、学生向け公演に導入始めました。

○本公演 プログラム

1. 解説「狂言と能をいよいよ見るぞ！」

解説では、これから公演を行う能舞台を実際に見ながら、舞台形状の意味や柱の存在理由、拍手のタイミングなどをお話します。

これから上演する狂言と能のあらすじを、詞章や型の説明を加えながら、わかりやすい言葉で行います。

能と狂言がセットになった本来の形で見ることにより、ユネスコの世界文化遺産になった日本の伝統芸能「能楽」を的確に理解を深めることができます。

2. 狂言「柿山伏(かきやまぶし)」

小学6年生国語の教科書に載っている演目を鑑賞して頂きます。

【あらすじ】:

厳しい修行を積んだ山伏も人の子、喉が渴けば潤したくなる。周りを見回すと、枝もたわわに実るみずみずしい柿を見つける。立派なはずの山伏だが修行が終わったばかりの未熟者、勝手に柿の木に登り食べ始めてしまう。そこへ見回りにきた畑の持ち主が、盗み食いをする山伏を見つける。到底許すことの出来ない畑主は、鳥よ・猿よ・鳶(とび)よ、と山伏をからかう。調子に乗った山伏が乗せられるままに木から飛下りとしたたかに腰を打つ。山伏は腹を立て、看病せよと祈り始める。さて効験のほどは…。



当時の山伏は山野での荒行により、超人的な法力と体力を身につけているとされ、庶民に恐れられていました。狂言の世界ではこれを見事に戯画化し、楽しい健康な笑いの種にしてみました。最も有名かつ人気のある名作狂言の一つです。

3. 能「能 小鍛冶(のう こかじ)」

昨今の”刀剣”ブームにより大人気の「小鍛冶(こかじ)」を、省略箇所を入れて、子供でも観やすい長さにして上演します。狐の冠をかぶる後シテの姿は勇壮です。

[あらすじ]: 一条の帝は夢で三条の小鍛冶宗近に剣を打たせよと告を受け勅使を遣



わす。宗近はその勅命を光栄としながらも自分と同等の技量の相鎚がいなくては剣を打てないと断るが、勅命には逆らえない・・・

困り果てた宗近が神頼みをしようと氏神の稻荷明神に向かおうとすると一人の少年が声を掛け帝の剣の注文を受けたことを

尋ねる。驚いた宗近が何者かと問うと少年は古今東西の名剣の物語を聞かせ、必ず相鎚は現れるから準備をして待てと言

い姿を消す。宗近が身支度を調べ待っていると稻荷明神の使いの狐が現れ、宗近と供に剣を打ち表に「小鍛冶宗近」裏に「子狐丸」と銘を刻み勅使に剣を納め狐は雲に乗って帰って行く。

ここでワキが謡う「待謡(まちうたい)」をワークショップで練習し、ワキと一緒に謡います。



前半は日本武尊が草薙の剣で東国の夷を滅ぼした場面を舞って見せ、後半は軽快な囃子の演奏と宗近と狐が剣を打ち上げるところが見せ場。全体にストーリー性に富み動きも多い小学生にも理解しやすい曲です。

4. 体験ワークショップ

鑑賞した「柿山伏」に出演した狂言方が、曲中の台詞や所作を、代表して舞台に上がった生徒と客席の全員に体験してもらいます。



5. 質問コーナー :

楽全般の質問に誠意を持ってお答えします。質問が多すぎて時間が足りない場合は、学校で取りまとめて頂ければ責任を持って後日回答をいたします。

演目選択理由	狂言「柿山伏(かきやまぶし)」は、小学校の教科書に採択されており、ストーリーも簡潔で分かり易い。台詞よりも動きが多く、動物の物まねなど子供の興味をひく型が多い狂言です。 能「小鍛冶(こかじ)」は、最初が少年、後半が狐に変わり、「剣を打つ」所作のある、子どもにも理解しやすい演目です。後シテが鎧を使って相鎧を打つ場面をワークショップで体験して貰います。また、曲の詞章の一部を練習し本番中に一緒に声を出して謡って貰います。 囃子としては技巧的な曲でもあるので、能の音楽性や掛け声の意味なども理解しやすいことから選曲いたしました。テンポも早い曲なので小学生低学年でも飽きる事無く鑑賞できます。
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	・参加型:ワークショップ時に生徒全員で「小鍛冶」の一節を謡って貰い、本番でも地謡と一緒に全員で謡います。自分たちも能に参加している臨場感を味わってもらいます。 ・字幕:舞台の横に、字幕をプロジェクターで映し出します。今、どんな場面なのか、舞台を観ながら理解してもらえます。 字幕 一例 ○事前ワークショップ「能について知ってみよう！」(能楽師3名で行います) まず、ご挨拶からはじめます。始まる前に「お願いします」、終わりに「ありがとうございます」と、ご挨拶をかわしましょう。 ・謡ってみよう! : 生徒全員に「小鍛冶」の謡の一節を謡ってもらいます。 ・能面をかけてみよう! : 生徒に能面を実際につけて歩いてもらい、能面をかけた時の見えにくさを体験してもらいます。 ・能の楽器をさわってみよう! : 能の楽器の説明と、実際にさわってもらいます。 ・能の小道具をつくってみよう! : 能の小道具の説明をし、その後実際に皆さんに簡易な「刀と鎧(かたなとつち)」を作ってもらいます。 ・能の動きをやってみよう! : 作った「刀と鎧」を用い、能の動きをやってみます。

	○本公演時「狂言を体験してみよう！」（狂言方3名で行います） ・全員での体験！！ →能「小鍛冶」では、謡の一節を舞台の能楽師と一緒に全員で謡います。 →狂言を鑑賞したあとの「狂言体験ワークショップ」では、狂言の基本的な「構え」や「運び（歩き方）」から、「柿山伏」で見た柿を食べる演技や、笑い方などを、舞台に上がった生徒と、客席の全員で体験してもらいます。  ○質疑応答 ・能楽師が直接回答： 今見た公演で疑問に思ったことや、舞台上のことでも、裏話的な質問にも、能楽師がわかりやすく回答します。		
出 演 者	シテ方：中森貫太、観世喜正、小玉三郎、駒瀬直也、弘田裕一、奥川恒治、佐久間二郎、中所宜夫、遠藤喜久、遠藤和久、坂真太郎、鈴木啓吾、八田達也、寺澤幸祐 等（シテ1名、地謡6名、後見2名 働き2名 計11名） ワキ方：殿田謙吉、森常好、大日方寛、則久英志、御厨誠吾、森常太郎、館田善博、野口琢弘 等（計3名） 狂言方：大蔵教義、大蔵吉次郎、山本泰太郎、山本則孝、高野和憲、善竹富太郎、善竹大二郎、宮本昇、榎本元、深田博治、月崎晴夫、中村修一、野口隆行 等（計3名） 笛 方：寺井宏明、一噌隆之、藤田貴寛、栗林祐輔、竹市学 等 小鼓方：幸正昭、鶴澤洋太郎、飯田清一、久田陽春子、田邊恭資 等 大鼓方：安福光雄、柿原弘和、亀井広忠、上野義雄、柿原光博 等 太鼓方：小寺真佐人、梶谷英樹、中田弘美 等（囃子方 計4名） ※_____は重要無形文化財保持者。能楽界第一線で活躍している経験豊かな能楽師で上演します。なぜならば、子供は素直に直感で感じるため、経験の少ない若手能楽師で構成すると、生徒が飽きてしまったり、興味を持って見てくれないので、本物の、確かな公演をお見せすることが重要と考えているからです。 スタッフ：簡易舞台運搬、舞台設営、プロジェクター操作 各1名		
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出 演 者： 21 名 ス タ ッ フ： 3 名 合 計： 24 名	機 材 等 運搬方法	積載量 2 t 車 長 5.0m 台 数 1台

公演に当たっての
会 場 条 件

実施条件等確認書①をご確認ください。

会場設営の所要時
間(タイムスケジ
ュール)の目安前日仕込み(有・無) 会場設営の所要時間 1時間程度)

公演開始 13時半の場合

到着	仕込み	生徒入場	本公演	内休憩	撤去	退出
11時半	11 時半 ～12時半	13 時～ 13 時 30 分	13 時 30 分～ 15 時 10 分	10 分～ 15 分	15 時 10 分～ 15 時 40 分	15 時 40 分

公演開始 10時半の場合

到着	仕込み	生徒入場	本公演	内休憩	撤去	退出
9 時	9 時～ 10 時	10 時～ 10 時 30 分	10 時 30 分～ 12 時 10 分	10 分～ 15 分	12 時 10 分～ 12 時 40 分	12 時 40 分

(簡易能舞台セットをスタッフ3名と能楽師全員で設営します)

※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。

※やむをえず午前公演となってしまう場合には下のスケジュールとなります。

児 童 ・ 生 徒 の
参加可能人数

ワークショップ	一桁～一千人程度
本公演	一桁～一千人程度

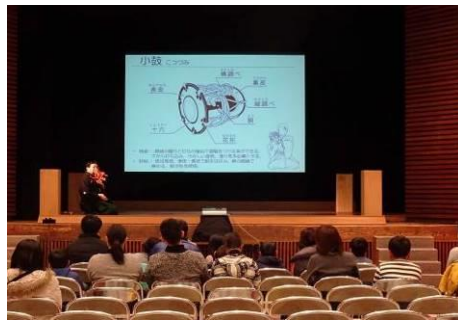
ワークショップ
実 施 形 態
及 び 内 容**事前ワークショップ**

- 基本的に能楽師3名で伺います。
- 長机2個とマイク1本、プロジェクターとスクリーンをご用意ください。
- 能面・装束・能の楽器を実際にお見せしながら体験してもらい、プロジェクターに映しだした映像や動画の解説も駆使しながら、「能楽」についてお話しします。

【プログラム内容】

- ① 能楽の基礎知識や歴史のお話。→プロジェクターを見ながら聞いて貰います。
- ② 「謡曲」が江戸時代に武士の共通語の教科書となった解説の実践として、生徒全員で「雷電」の一節を謡う体験をしてもらいます。(本公演でその場面を全員で謡う)
- ③ 本公演の当日に使用する能面、装束・小道具などを見せ、能面の視界の狭さや装束の重さを数名に体験してもらいます。
- ④ 楽器の説明、使用可能になるまで数十年から数百年掛かる事などを話し、日本の伝統文化についても理解を深めてもらいます。小鼓の体験してもらいます。

- ⑤ 対象学年に応じて字幕の内容を変えるなど、飽きさせない工夫をしています。
- ⑤ 「小鍛冶」で後シテが使う「刀と鎚」を作って、ワキと供に剣を打つ場面を練習してもらいます。



本公演ワークショップ

○本公演の際に狂言方2～3名で体験ワークショップを行います。

【プログラム内容】

- ・本公演終了後に鑑賞した狂言「柿山伏」の一部分を出演者による体験ワークショップとして生徒全員に行います。狂言の「笑い」「怒り」等の感情表現を実演の印象が残っている時に行う事が効果的です。



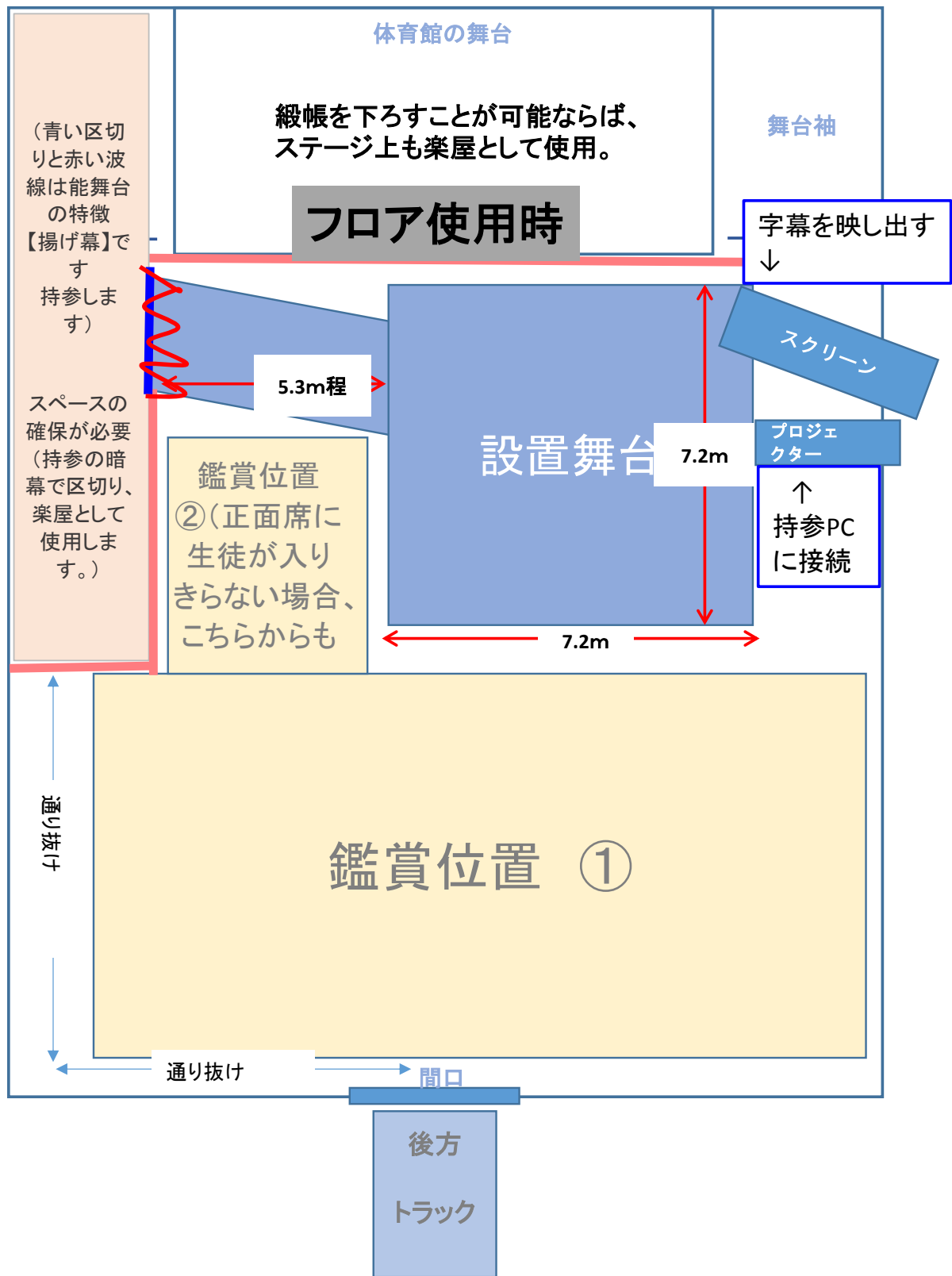
ワークショップ 実施形態の意図	・ はじめてみる能楽について、プロジェクターの映像や動画を見せながら解説をし、本公演への生徒たちの期待を促します。 ・ 謡曲の体験では、まず「挨拶」の仕方を指導し、日本語の正しい発音（鼻濁音など）を教え、音楽の授業などで日本の歌を歌う際には意識できるようにします。また囃子に合わせて謡う稽古をすることで、能のリズム感も体験することが出来ます。 ・ ワークショップで練習した謡を、本公演の鑑賞時に生徒も一緒に謡うことで、能の舞台と一緒に作り出す楽しさを体感してもらいます。 ・ 能面をかけてみてもらい、能面の視界（の狭さ）を体験することにより、能舞台の四隅に柱がある意味や、見えない上に重い衣裳を着た役者の動きに興味を持ってもらいます。 ・ 能の楽器を実際にさわりながら、西洋音楽とは違う日本の音楽への関心を深めさせます。 ・ 単なる鑑賞ではなく、舞台上の役者が「先生」と認識できるように、「鑑賞態度」や「習う姿勢」を丁寧に指導します。 ・ 実際に公演を見た本公演の後にも、狂言の体験をプログラムに入れています。
特別支援学校での 実施における工夫 点	・ 事前に綿密な打合せを行い、上演中に字幕を使うなど子ども達に一番良い公演スタイルを構築します。 ・ 視覚支援学校の場合は、学校の協力を頂きながら字幕も含め資料の点字化を行うと共に、本物の能面・装束などを触手してもらい、子ども達にイメージを膨らませて貰います。
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。

【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	F67	分野	伝統芸能	種目	歌舞伎・能楽	ブロック	F	区分	A区分
公演団体名	公益財団法人 鎌倉能舞台				制作団体名	公益財団法人 鎌倉能舞台			

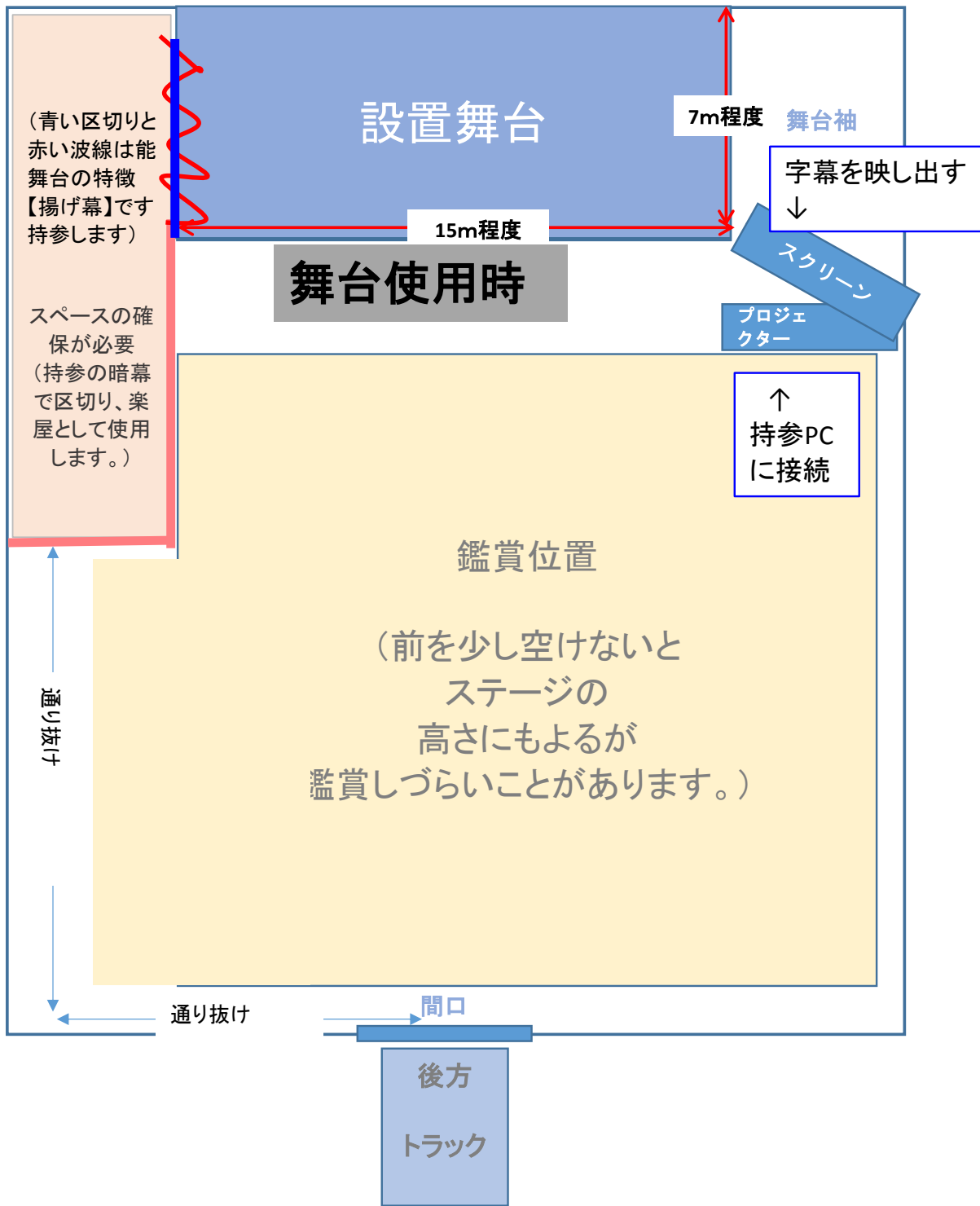
① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等									
控室について	可	必要数 *	1室	条件	囃子方(楽器)の調律のため、体育館外で可能な限り体育館近くの部屋。成人男性4人が着替えられる程度の部屋。(和室である必要はございません。)						
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			バン	1台	大型バス 1台				
	可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			普通乗用車サイズのワンボックスカー(ハイエースロング等)						
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要						
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			10m以内						
	可	搬入経路の最低条件			可能な限り体育館近くの位置に車を寄せ、階段の無い、又は極力少ない経路が望ましい。先生の手助けをお願いできるなら階段でも可。						
		理由			荷物点数が多く、重量のある物もあるため。						
	可	設置階の制限 *			問わない						
	可	搬入間口について 単位:メートル		幅	2メートル		高さ	2メートル			
WSIについて	可	参加可能人数			制限無し						
	可	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *		なし			
	可	所要時間の目安 単位:分			90分程度(授業時間2時間分+休み時間)						
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			会場設営:1時間程度、本公演のメインプログラム:100分(内休憩10分)、撤去:30分程度						
	可	鑑賞可能人数			制限無し						
	可	舞台設置場所 *			ステージ上への設置・フロアへの設置ともに対応可能						
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	約15m	奥行	約7m	高さ	指定無し		
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件		舞台袖スペースの確保 *			要				
	可			舞台袖スペースの条件 *			楽屋として使用するため、能舞台の特性上、下手側には荷物が無いことが望ましい。(上手側舞台袖は使用しないため、そちらへの移動は可能。)				
	可			緞帳 *	不要		バトン *	不要			
	可			遮光(暗幕等)の要否 *			不要	理由	プロジェクターによりスクリーンへ字幕を投影するため暗い方が見やすいが、明るくとも上演には支障なし。		
	可	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *		要	※指定位置は会場設置図面に御確認ください。				
	可	ピアノの事前調律 *		不要							
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可					
	可	公演に必要な電源容量			20A		※主幹電源の必要容量				
	その他特記事項										
	可	鑑賞人数が300人程度を超えますと能楽の特徴である「すり足」が見えづらくなるため、フロアへの舞台設置が難しくなります。									
	可	搬入口のサイズは、通常の体育館の両開きの扉なら特に問題なし。									
	可	ピアノはステージを使用する際は、あらかじめフロアに下ろすか上手側に移動をお願い致します。フロアの場合はフロアの下手側にありますと楽屋内にて出演者が接触する恐れがあるため、あらかじめ後方か逆サイドに移動をして頂ければと存じます。									



搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		10m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否	要			
横づけができない場合の搬入可能距離	10m以内			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

令和2年度

文化庁「文化芸術による子供育成総合事業」

巡回公演事業

わかりやすい
字幕解説付き！

能・狂言教室

どこでも**能舞台**®で体育館が能舞台に変身！

「全ての子供に能・狂言鑑賞の場を」
これが私たちの願いです。

日本の「能楽」は、「人類の口承及び無形遺産の傑作」として
2001年に宣言され初指定された、ユネスコの世界無形
文化遺産です。しかし、どれだけの日本人が能・狂言を見た
ことがあるのでしょうか？ これからの日本を作っていく子供
たちに、能・狂言を見て貰い、自国の伝統芸能に対する
造詣を深めて欲しい。そう私たちは考えます。

教科書で学んだ
狂言の実演を
見てみよう！



狂言
柿山伏

わかりやすい
字幕解説付き
字幕e能®

能
山鍛冶

狂言の動きを
やってみよう！



狂言
ワークショップ

鎌倉能舞台では令和元年「文化芸術による
子供育成総合事業」を行っております。

公益財団法人 鎌倉能舞台

〒248-0016 神奈川県鎌倉市長谷3-5-13
TEL/FAX.0467-22-5557
URL: <http://www.nohbutai.com>
E-mail: webmaster@nohbutai.com

文化芸術による子供育成総合事業 — 巡回公演事業 —

小学校・中学校等において一流の文化芸術団体による巡回公演を行い、優れた舞台芸術を鑑賞
する機会を提供することにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成を図り、将来の
芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的とした事業です。

公演の実施に当たっては、事前に公演に関するワークショップを行い、児童・生徒を実演に参加
させるとともに、実演指導又は鑑賞指導を行います。

文化庁

プログラム

能楽(のうがく)=能と狂言の両方を体験してもらうことで、日本の伝統文化への造詣を深めて貰います!

事前ワークショップ「能について知ってみよう!」

本公演前に能楽師が学校に伺います。まずは能楽について学び、体験しましょう!

① 能について知ってみよう!

(スクリーンに映像や動画を映しだして視覚的に説明します)

② 能の謡を謡ってみよう!

(事前ワークショップで練習した謡を本公演と一緒に謡ってもらいます)

③ 能面をかけてみよう!

(能面をかけて歩いてもらいます)

④ 能の楽器をさわってみよう!

(能の楽器を実際に体験してもらいます)

⑤ 能の小道具を作って、動きをやってみよう!

(能「小鍛冶」で使用する刀と鎚を制作します)



「能と狂言のしおり」を全員にお配りします。



本公演「プロの能楽師の実演を鑑賞しよう!」

体育館に簡易舞台を設営します。体育館が能舞台に変身!

能楽界第一線で活躍している経験豊かな能楽師が「能楽=能と狂言」をわかりやすい形でお見せします。ぜひ本物の日本の文化に触れてみましょう!(公演時間100分)

① 始まりのご挨拶&解説 5分

(能舞台についてと本日の演目について、少しお話します。)

② 狂言「柿山伏」鑑賞 15分

休憩10分

③ 能「小鍛冶」鑑賞 (わかりやすい字幕解説付き!) 40分

(謡の一節と一緒に謡う共演をします。)

④ 狂言体験ワークショップ 20分

(狂言の先生と「柿山伏」の動きの体験をします。)

⑤ 質問コーナー 10分

(子ども達の疑問に能楽師が誠意を持って優しくお答えします。)



Ⅵ 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ

A区分とB区分の両方・C区分

複数申請の有無 (該当する方に○を付してください。)

あり

なし

複数の企画が採択された場合の実施体制 (該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
(3) 提案したいいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他 ()

芸術文化団体の概要

ふりがな	かぶしがいいしゃ ようごうしゃ		
制作団体名	株式会社 影向舎		
代表者職・氏名	代表取締役 小池 岳士		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒243-0005 神奈川県 厚木市 松枝1丁目4番7号 (小田急線・本厚木駅より徒歩 10 分)		
電話番号	046-297-0255	FAX 番号	046-297-0256
ふりがな	こうえきしゃだんほうじん ほうしょうかい		
公演団体名	公益社団法人 宝生会		
代表者職・氏名	会長 錦織 淳		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒113-0033 東京都文京区本郷 1-5-9 (JR水道橋駅東口より 徒歩 3 分 / 地下鉄都営三田線水道橋駅A1出口より 徒歩 1 分)		
制作団体 設立年月	○影向舎・昭和60年設立 ●宝生会・明治45年設立		
制作団体 組織	役 職 員 (株)影向舎 小池岳士・小池将直 他	団体構成員及び加入条件等 制作スタッフ:11名 舞台スタッフ:12 名	
事務体制の担当	専任・他の業務と兼任	本事業担当者名	中村真理子
経理処理等の 監査担当の有無	有・無	経理責任者名	小池弘美

制作団体沿革

○株式会社 影向舎 《社是:「人と芸をつなぐ」 社訓:誠意・信念・正義》

学校公演において全国一位の公演数を有する製作者集団。昭和60年の創立以来、日々社是、社訓を見つめ直し“初めて鑑賞する人にどのように芸の魅力を伝えるか”このテーマを34年間に亘り追究、実施を繰り返し、今後も追い続ける。

創立当初は落語、狂言の公演活動から始まり、その後お客様のニーズに応えるべく日本の芸能である講談、能、邦楽、また演劇、京劇、オーケストラなどジャンルを増やしてきた。特に能楽公演においては、通常の学校公演に加え、過去には東京都主催「こども能チャレンジ」の制作業務の実績・経験を基に、趣向をこらした青少年向け能楽公演を実施。

どの芸能にしても単に出演者を右から左に動かすのではなく、企画制作から公演が終了するまでのトータルプランニングを行う。それぞれの舞台を充実させるため、社内では営業部・制作部・デザイン部・舞台部を機能的に編成。各部がひとつひとつの公演を成功させるべく、万全の状態でお客さんをバックアップする体制を整えている。

現在では、年間公演数が600を超え、学校公演では業界随一の実績を更新し続けつつ、他に教育委員会、公文協、老人ホーム、TV、ラジオ、ホテル、国際交流基金や大使館主催などによる海外公演(平成27年6月・イタリアローマのパラディウム劇場に、影向舎の能舞台を輸出し、舞台設営・監督業務を兼ねて、狂言公演を実施)など多方面で公演活動を行っている。

●宝生会

能シテ方五流儀の中で、宗家を頂点として一流儀一家という結束力を誇る。現在の宗家は二十世・宝生和英(ほうしょう かずふさ)。33歳の若さを武器に進取的な取り組みで、これからの能の可能性を常に追求している。「体感する能」と称した、切り絵アーティストや映像クリエイターとのコラボ演出・公演は特筆に値し、今の人達に生きた能楽の魅力を発信し続けている。会を構成する能楽師は重鎮から若手まで層が厚く、宝生会がひとつとなって、その伝統と革新力で、精力的に能楽堂公演や子供向け企画などを行っている。

以下は主な宝生会と宝生能楽堂の歴史。

- 明治18年 松本金太郎が神田猿樂町に能舞台を建設
- 明治26年 舞台改装を機に宝生会定期能を開催
- 明治45年 社団法人組織となる(関東大震災にて焼失)
- 昭和3年 現在の文京区本郷(旧松平邸)に豪華な能楽堂を建設(昭和20年戦火にて焼失)
- 昭和25年 同場所に水道橋能楽堂として再建
- 昭和54年 現在の宝生能楽堂が建設され、現在に至る

文化芸術による子供育成総合事業に向けて

能楽は世代間ギャップが無く、祖父母から孫まで一緒に楽しめる魅力を秘めています。能楽を学ぶ事は、順序立てた自身の主張能力を培い、人・社会とのコミュニケーション能力を高めます。

学びの体験は全員参加で無ければ意味がありません。楽しみながら能面・能装束を身に付けてください。そしてその経験を、友達や家族の人と共有してください。

私も、皆さんにより近く同じ目線で設営された能舞台で舞うことによって、学ぶ・観るの二大要素を網羅したこの事業の素晴らしさを伝えたいと、強く願っています。

宝生流第二十代宗家 宝生和英



	<u>宝生会と影響舎</u> 本申請は、能楽界のトップランナーである宝生会と、学校公演の業界を長年牽引してきた影響舎が、その若さならではの新しい感覚と、長年に亘る公演実績を融合し企画した内容です。平成30年度の「文化芸術による子供の育成事業」ではEブロックにおいて22校、本年度の「文化芸術による子供育成総合事業」ではBブロックにおいて19校という、多くの公演希望を頂戴しております。双方の総合力や演出力などの利点を十二分に発揮して、各地各校の児童・生徒の皆さんの若い心に、能楽の素晴らしさをお届けします。
学校等における 公演実績	○(株)影響舎 古典芸能分野では全国一の実績を誇る。 ・東京都主催による「こども能チャレンジ」の事務局を担当。 ・平成20年度・21年度「本物の舞台芸術体験事業」 平成22年度「子どものための優れた舞台芸術体験事業」 平成23年度・平成24年度・平成25年度「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」に参加。平成30年度「文化芸術による子供の育成事業」。令和元年度文化芸術による子供育成総合事業 Bブロックで19公演展開中。 ・平成21年度～令和元年度「北海道巡回小劇場」に11年度連続で参加。 ●(公社)宝生会 ・宝生会主催による「夏休み親子教室(旧称:夏休みこども仕舞教室)」を平成18年より毎年開催(文化庁「伝統文化親子教室」事業として参加)。今年で13年目を迎える。 ・山形県酒田市「庄内能楽館親子仕舞教室」を実施(平成28年～) ・公益社団法人能楽協会主催「キッズ伝統芸能体験」事業に参加 …講師(能楽師)派遣および稽古場、発表会(宝生能楽堂)の提供 ・「韓国青年訪日研修団」能楽体験教室、「東京国際フランス学園」能楽教室を開催 …型の体験、装束付け実演など ・各校修学旅行プログラム「能楽体験ワークショップ」を開催 過去実績:岐阜県可児市立広陵中学校、愛知県大府市立大府中学校、岐阜県垂井町立北中学校、岐阜県垂井町立不破中学校 「桐生市能楽教室」(桐生市内の小学校合同にて) …能楽囃子楽器の体験、舞と謡の体験、装束付けの実演など ・学生鑑賞会 過去実績:三田国際学園(旧:戸板学園)中学校、東京農大第一高校 …能、狂言の公演 <u>平成26年・27年</u> ・港区キスポーツ財団主催「赤坂能ワークショップ」事業受託 ・港区立台場保育園、港区立麻布保育園、年長児に「猩々」謡の稽古、発表会への出演 ・公益財団法人日韓交流基金より対日理解促進交流プログラム(JENESYS2.0)事業を受託 <u>平成28年</u> 【JENESYS2015】韓国青年訪問団(高校生)第1・2・3団 【JENESYS2016】韓国教員訪日団 第1・2団実施 10月4日 開成高校能楽鑑賞会 11月18日 静岡県袋井小学校鑑賞会 12月19日 多摩高校能楽鑑賞会

	<u>平成 29 年</u> 2 月 15 日 韓国青年訪日団第 10 団 能楽ワークショップ 2 月 27 日 慶応義塾横浜初等部 能楽鑑賞会 8 月 20 日 文京区「みんなで楽しむ 能・プロジェクト」 <u>平成 30 年</u> 2 月 24 日 慶応義塾横浜初等部 能楽鑑賞会 8 月 12 日 文京区「みんなで楽しむ 能・プロジェクト」 <u>平成 31 年</u> 2 月 14 日 学習院中等科能楽鑑賞会 3 月 17 日 墨田区能楽鑑賞ワークショップ		
特別支援学校における公演実績	平成22年12月2日(木) 埼玉県立本庄特別支援学校にて公演 平成23年11月30日(水) 京都市立鳴滝総合支援学校にて公演 平成30年10月5日(金) 愛知県立岡崎盲学校にて公演		
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有 ・ ☒ 無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	☒ 有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
	A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード		ID: PW:	

No.2(実演芸術)

公 演 ・ ワークショップの内 容

【公演団体名 公益社団法人 宝生会】

対 象	小学生(低学年 ・ 中学年 ・ 高学年) ・ 中 学 生
企画名	はじめまして 能`楽”

能の型の表記について

当調書中では、平易性を優先して

「シヲリ」は「シオリ」

「カマヘ」は「カマエ」

に統一表記致します。

はじめての能楽

難しいと思われがちな

能楽を楽しんでもらう為の工夫

工夫ポイント①

能楽とは？ 能と狂言・二人の兄弟が一つになって能楽です

能楽の楽しさは、能と狂言の、異なる性格と役割を知るところから始まります。

ワークショップ

ワークショップでは、能役者と狂言役者それぞれが、演出の違いを分かり易く実演・解説します。



本公演

本公演では、大変ポピュラーな、狂言「柿山伏」・能「黒塚」を上演します。狂言のセリフ古典劇、能の優美な歌舞劇の両面から、能楽の魅力にアプローチします。

本公演演目

原作／作曲
脚 本
演出／振付



体育館に異空間が出現！こだわりの能楽堂

❀ 能楽を観るなら雰囲気も大切 ❀



初めて能楽を鑑賞する児童・生徒さんに、能楽の良い印象を残すには、能舞台は必須です。
各校の体育館の形状に合わせて、本格的な舞台を特設します。

❀ 能楽堂では味わえない臨場感 ❀



役者の息遣いや、足音まで聞こえるギリギリの場所まで、座っていただきます。

❀ 理解を深める字幕や映像の投影 ❀



「黒塚」の現代語字幕や、役割の紹介など、鑑賞する際に理解を深めるツールとして設営します。
スクリーンは大型100インチ・後方からの投影型タイプにより、客席スペースに一切の制限を設けません。

能楽師と一緒に考えてみよう！アフタートーク

本来の能楽公演ではみられないアフタートークをご用意しました。
鑑賞を終えた子ども達の率直な疑問・質問を、出演者が2段階に分けてお答えします。

～演能の前に問題提起！～

「お婆さんは、何故鬼女になってしまったのか？」について
注目しながら観てみてくださいね



1

～鬼が登場！～直接聞いてみよう～

まず、間近で観た能「黒塚」のそれぞれの役を能楽師と一緒に振り返りながら、
登場人物の心に思いをめぐらせます。



お婆さん、どうして
鬼になってしまったんですか？

2

疑問・質問コーナー

過去の感想や質問例

- どうして着物が鬼の時には、変わっていたのですか？
- 面をつけている人は特別視力がいいのですか？
- 能楽師の方はどれくらいで一人前になったとされるのですか？
- 鬼女の役なので女の人だと思っていたら、男の人でした。女性の能楽師はいるんですか？
- あの棒はなぜ鬼の時しか持たないんですか？
- 能力（狂言方）は何で途中からしか出てこなかったのですか？
- 一言一言声が大きくて喉は痛くないんですか？
- 低い声はどうやって出しているんですか？
- 囃子方が叩くときに何で「オー」っていうのか疑問に思いました。
- どうしてムチが光っていたのですか？ふつうのムチなら光らないはずなのに、どうしてですか？
- 黒塚のお話しのお婆さんと鬼の時の役者さんは、同じ人なのかどうか気になります。



なぜ、能「黒塚」なのか

老婆はなぜ鬼女になったのか…？

…善悪の概念とは？

我々が心に抱く“喜怒哀楽”、それによっては善人が悪人になって罪を犯したり、
とてつもない恨みの感情を抱いてしまうことがあります。
普段の日常生活で善と悪を白黒つけることはよくありますが、
能で演じられる喜怒哀楽に善悪をあてはめることは簡単ではありません。

何百曲とある能の演目から「黒塚」を選択した理由は、
「黒塚」とまた前段となる「黒塚伝説」には、
能を通した人間の業の奥深さが秘められているからです。

老婆を鬼女にしてしまうほどの感情とその壮絶な背景。
それを知った鑑賞者は「鬼＝悪者」、
ひいてはすべてが表向きの善悪だけで説明できるという
固定観念を覆されることでしょう。

過去公演校からいただいた感想

- くろづかさん、ありがとう。(小学1年生)
- 鬼が来て怖かった。(小学1年生)
- 能の黒塚は、ちょっと難しかったです。家に帰って黒塚伝説を調べてみました。でもどうして鬼女になったか、わかりませんでした。(小学2年生)
- なんで鬼女は隠しているところがあるのに、うちに入れたの？(小学2年生)
- 鬼は怖かったけど、最初のおばあさんの時は、優しくかったです。(小学2年生)
- 開けちゃいけないドアを開けて自分が、逃げちゃうのは、役だけちょっとひどいと思いました。(小学3年生)
- 山伏・祐慶が必死に呪文を唱えていて、ちょっと応援したくなりました。(小学3年生)
- みんな、おばあさんは最初は優しいと言っていましたけど、私は最初も怖いと思いました。(小学3年生)
- 今度は黒塚に行ってみたいです。(小学3年生)
- 見てはいけないと言われても、何が入っているのかを見たいのは分かるけど、見ちゃいけないから見なかった方がいいなと思った。(小学4年生)
- 黒塚の話は全体的に少し悲しい話でした。疑問に思ったことは、どうして寝室に人の死体を置いたのかです。(小学4年生)
- おにばばが負けた時、ちょっとほっとしました。(小学4年生)
- 鬼女が見るなどと言った部屋を見られて、可哀そうだと思いました。(小学4年生)
- 鬼女がとっても怒っているときに、ママの顔を思い出して、今あらためると、ママには、いつも怒られるから、いつもがんばらなくちゃと思いました。(小学5年生)
- 能力が寝室を見なければ、こんな話にならないと思いました。(小学5年生)
- 老婆が鬼女になったのは、寝室を見られたからか、泊めて帰る前になろうとしていたのか、どちらなのか気になります。(小学5年生)
- 優しくったおばあさんが、鬼女になったとき、開けなかったらどうなっていたのか、気になりました。(小学5年生)
- 鬼女はどこに消えたのかが、気になります。(小学6年生)
- それにしてもなぜ老婆は、鬼女になってしまったのだらうと思いました。(小学6年生)
- おばあさんが鬼女になったのは、昔に何かあって、鬼女と呼ばれるようになったのだと思います。でも祐慶達を家に泊めたのは、心のどこかに優しさがあったからなのではないかと思います。(小学6年生)



能を鑑賞した子ども達の純粋な解釈と反応には、
私たち大人が気付かされることが沢山あります。



	著作権	○	制作団体が 所有		制作団体以外が所有する事 項が含まれる	(制作団体以外が所有す る事項が含まれる場合) 許諾の有無
--	-----	---	-------------	--	------------------------	-------------------------------------

本公演プログラム

出演 宝生流シテ方他

時間 1時間40分

- 1、**狂言『柿山伏』**
- 2、囃子方の実演と解説
- 3、能の役割の紹介
- ～休憩～
- 4、ワークショップで覚えた、
シオリと附祝言「千秋楽」のおさらい
- 5、**能『黒塚』**
- 6、アフタートーク

本公演のポイント

1 代表的かつ分かり易い演目

狂言は、笑いがあふれ、国語教材にも引用される『柿山伏』。能は主役が、前半は老女・後半は鬼女に変わる展開と秘められた心情の深さが秀逸の『黒塚』をお楽しみいただけます。

2 ワークショップで体験した謡を、演能の締め括りで全員参加

『黒塚』の終わりに、すでに児童・生徒さんがワークショップで体験している附祝言『千秋楽』を構成します。演能最後の見せ場で、プロの能楽師と一緒に謡い、フィナーレを創ります。

3 本格的な能舞台・大型スクリーン

能楽鑑賞には必須条件である能舞台を本格的なスケールで設営します。また舞台上手には、大型スクリーンを設置し、『黒塚』の現代語字幕の投影や、能の役割の説明・囃子方解説の補助映像を映します。



体育館への入場時に、ワークショップで上映した動画“バーチャル能楽堂体験”をスクリーンに投影します。ワークショップに参加できなかった児童・生徒さんや、ご来場の保護者の方にも宝生能楽堂の雰囲気をお楽しみいただけます。また体育館に設営された能舞台を比較しながら、その構造と意味をご理解いただけます。



1 かきやまぶし 狂言『柿山伏』

明快なストーリー、動物の鳴きまね等、大変分かり易い人気曲目。

近年では小学校の国語教材として採用されている最も認知度の高い狂言です。
まずは笑ったっぷりの狂言を観て、能楽の楽しさに触れていただきます。

柿山伏のあらすじ

修行を終えた山伏が、帰り道にのどが渇いたので、畑に入り、勝手に柿を食べ始めます。
夢中になって食べているところに畑主が現れます。盗み食いを見つけた畑主が怒鳴りつけると、
山伏は気づかれまいと木に隠れます。畑主は少し山伏をからかってやろうと、
“あれは犬だ、猿だ”と言って鳴き真似をさせます。さらに愉快になった畑主は“鷹だ”と言って、
山伏を高い梢から飛ばせます。勇気を出して飛び降りた山伏は・・・



2 囃子方の実演と解説

まずは迫力のある4つの楽器（能では“お道具”と称されます）の演奏を聴いてもらいます。



あれ？
どこかで見たような？

お雛様かな？

本当だ！お雛様！

↓ **そうです！**



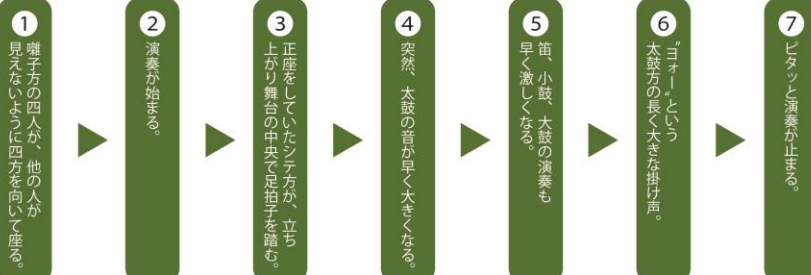
雛人形でお馴染み
五人囃子のモデルです

どのようなきっかけで演奏されているのか？
能楽堂では行わない実験演奏をご披露します。



囃子方にとって「ハア～ヨォー」という“掛け声”が大変重要です。

掛け声がきっかけで、演奏の強弱や調子を変え、またシテ方などの演技の合図ともなります。それを分かり易くご覧いただくために、囃子方4名が、それぞれが見えないよう四方を向いて座り、掛け声のみを合図に演奏をします。



唱歌《しょうが》

楽器の擬声音。高音の旋律は「オヒャーラー」など、カタカナで表記されている



焼じる《ほうじる》

大鼓の両側の皮を、胴から分解し、炭で約2時間炙って乾燥させること



髹革《ばちかわ》

太鼓の表革の中心に貼られた直径約4cmの鹿革



各楽器（道具）の説明



笛



笛は、唱歌[※]が記された教本で旋律を覚えます。まず笛で演奏し、それを笛方が声で表現します。その後、唱歌をスクリーンに映し、児童・生徒さんがゲーム感覚で

小鼓・大鼓



小鼓と大鼓は、非常に湿度や温度に敏感な楽器です。小鼓は湿気を必要とするのに対し、大鼓は皮をカラカラに乾燥させて独特な高音を奏でます。大鼓は必ず公演前に皮を焙じます[※]。スクリーンに能楽堂の焙じ室を映し、実際に焙じている様子をご覧ください。また両方の楽器の音色の違いを実演し、その特異性を説明します。

太鼓



太鼓は、真ん中の小さな髹革[※]をねらって打ち、激しい音を出します。その構造をご説明しながら、叩くリズムを、児童・生徒さんも手拍子と一緒に練習してもらいます。

ヒウラウラウラウラ♪

と叫び、それに笛方が演奏を加えます。

スクリーンで拡大



各楽器の外観や構造を、まんべんなくご覧いただくため、スタッフがライブカメラを用いて、その場で映し、スクリーンに投影します。



③ 能の役割の紹介

能は、シテ方と三役と呼ばれるワキ方・狂言方・囃子方の4つの役割が一体となって演じられる芸能です。口頭だけでなく、それぞれの役割や装束の違いをスクリーンに投影して、立体的にご紹介します。

		役割	能「黒塚」の場合
シテ方	シテ	主役	老婆／鬼女
	地謡	コーラス隊・心情や情景を謡う	
	後見	舞台進行係	
ワキ方	ワキ	脇役 シテの相手役	山伏祐慶
	ワキツレ		同行の山伏
狂言方	アイ	前後半の間をつなぐ役割	能力
囃子方		合奏隊(笛・小鼓・大鼓・太鼓)	



「黒塚」の登場人物です。



シテ方

老婆(前シテ)



鬼女(後シテ)



ワキ方

山伏祐慶



狂言方

能力

休憩10分

体験・展示コーナー

宝生能楽堂の写真展示

客席からの目線・舞台からの目線、さらには楽屋の様子など、普段は見る事ができない能楽堂の様子を多角度からご覧いただけます。

能面は下に傾けると悲しげ、上に傾けると明るい表情に変わります。チョットした角度で変化する能面の不思議を知ることができる特殊面掛けをご用意。



実際に体験することができる能面



能楽師がご指導をしながら、気軽に顔に掛けてもらえる体験です。ワークショップで体験できなかった児童・生徒さんや近隣の方など、開演前・休憩中・終演後にお越しください。その視界の狭さと装着感を体験してください。

能と狂言の足袋を展示



能楽師と狂言師は、舞台で使う足袋が異なります。特に狂言足袋は色の秘密が隠されています。その由来のご説明文と、実際の足袋を展示します。

能の装束、狂言の装束を展示

能楽師の主役が着用する華やかな唐織※や、狂言装束の代表格である絵柄がユニークな肩衣※など、能装束と狂言装束の模様・素材の違いを、間近でご覧いただけます。



ワークショップにはなかった頭（カシラ）と扇を体験

黒塚の鬼女が被る頭。鬼の恐ろしさを演出します。何の毛で出来ているのかわかりますか？
なんとヤクの毛！

扇はただ開くだけでなく、能楽の開き方があります。能楽師が指導をしますので、自分も能楽師として体験してください。



唐織《からおり》

能装束の中で最も豪華絢爛な衣装。主に女性役の上着として使われる

肩衣《かたぎぬ》

肩の部分が張った袖なしの上着。たんぽぽやパンダなど背に描かれた図柄が斬新

4

ワークショップで覚えた

あらすじ・シオリ・附祝言『千秋楽』のおさらい

休憩後の『黒塚』を鑑賞する前に、もう一度ワークショップで習ったことの内、3つのおさらいをします。

- ① 『黒塚』の最後に能楽師と一緒に謡う附祝言『千秋楽』
- ② 前半の老女が悲しさのあまり泣く時の所作“シオリ”
- ③ 『黒塚』のあらすじと、みどころ



舞台に出てくる作り物は、黒塚の演出において重要な役割をする大道具です。それは野原の一軒家、老婆の家の中、そして老婆の寝室へと変幻します。実際にあらすじ説明の時に、舞台上に出して、より黒塚への興味を引き立てます。



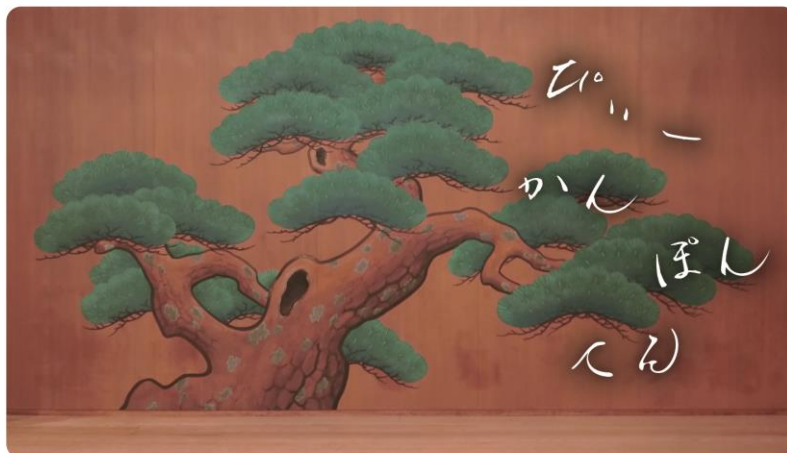
?

なぜ、おばあさんが鬼になってしまったのか？
考えながら舞台を見てみましょう

?

能舞台裏から、囃子方が奏でるお調べが聞こえてきたら、いよいよ能が始まります。

これから鑑賞いただく『黒塚』には、ワークショップでの体験や、
本公演前半の実演・解説のエッセンスが全て集約されています。
気持ちをゆったりとさせ、体育館で繰り広げられる能楽の世界をたっぷりご堪能ください。



5

能『黒塚』

【字幕(現代語訳)付き】



黒塚のあらすじ

諸国を行脚する山伏一行、奥州安達原にさしかかった時、日が暮れてしまいます。野に灯る明かり。それを頼りに、一軒のあばら家にたどり着き、一夜の宿を請います。そこに住む老婆、やむなく山伏たちを家に招き入れます。老婆は山伏たちをもてなそうと、身の上を話したり、「糸尽くし」の歌を歌ったりしてみせます。夜はだんだんと更け寒さが増していきます。老婆は「寝屋だけは絶対に見ないように」と言い残し、暖をとる薪を集めに山に出かけて行きます。しかし、お供の能力が好奇心からこっそりと寝屋をのぞいてしまいます。するとそこには、なんと山のように積まれた人の死骸。山伏たちは、ここは鬼の棲み家で、あの老婆は鬼女だと知り、急いで家を逃げ出します。山から戻った老婆、裏切られたことを知り、怒りで本性を現し鬼女となり山伏たちを追います。【ここでシテは老婆(前シテ)から、鬼女(後シテ)となり、装束・能面を変えて登場します】そして鬼女は追いつき、山伏一行に襲い掛かりますが、最後に鬼女は、山伏の懸命な祈りによって倒され、自分の姿に恥じ入りながら悲しく消え去ります。

スクリーン投影

シーン説明

それまで野原だった風景が
一瞬にして、おばあさんの
家の中に変わります。



セリフがないシーンも情景がわかる説明を投影

台詞

ひとり、声をあげて
泣き明かすのです。



台詞

そうそう...私が戻るまで
絶対にこの寝室をのぞい
ては、いけませんよ。



台詞

心も乱れ、恐ろしい。
心も乱れ、恐ろしい。
とにかく逃げ、逃げて、
遠くへ離れよう。



台詞

待て、山伏たち！
あれほど、隠していた寝室
を見られてしまった。



台詞

天と地に居場所もなく、身を
ちぢめ、目もくらみ
足もとは、ヨロヨロとさまよう。



黒塚



ワークショップと本公演の集大成
附祝言「千秋楽」を一緒に謡う



地謡と一緒に能を完成させよう！



6

アフタートーク

『黒塚』についての出演者からの問いかけと、皆さんからの質問

解説役の能楽師と、さらに主役の老女と鬼女を演じた“おシテ”（主役）が役を終えて、人間にもどって再度舞台上に登場します。



『黒塚』にはその前段になる「黒塚伝説」があります。その伝説をイラストなどを、交えてご紹介します。鑑賞を終えた高揚感に包まれている時に、さらに能の奥深さを、体に吸収します。



?

どうして優しくったお婆さんは、
鬼になってしまったのかな？

?

能力が勝手に
部屋を見たから。

裏切られて
悔しかったから。

山伏達がお婆さんに内緒で、
帰ったから。

それでは実際に、鬼に聞いてみましょう！



まずは出演者から質問を投げかけます。それに自由に答えてください。
次に観たままの児童・生徒さんの率直な質問をお受けします。



7

公演後

動画を配信 (本事業での内容を集約)

本公演終了で、この事業は終わりません。

本当の価値は児童・生徒さんが、その体験や鑑賞を友達と、また家族の皆さんと共有してもらうことです。

「能面を顔に当てると見づらいよ」「大きい声で千秋楽を謡ったよ」「迫力があつたよ」という感想をご自宅でご覧してもらう事は、もちろんですが、さらに家族みんなで様子を映像で観ることが出来れば、より臨場感を持って子供たちの豊かな発想や感激を知ることができます。



能楽を通して家族の新しいコミュニケーションに役立ててください。



演目選択理由	狂言「柿山伏」 ①動物の鳴きまねなどがあり、子どもにも分かりやすいため、上演希望が多い人気曲目。また近年では小学校6年生「国語」の教科書に伝統文化ジャンルの教材として採用されており、教育現場でもなじみがあります。 ②あえて山伏物の「柿山伏」を公演の最初に上演することにより、能「黒塚」の山伏との対比から、能と狂言の違いを、観て聴いて理解ができます。 ③狂言の大きな特徴である「名乗り」「道行き」「擬音の発声」が、全て網羅された入門編に最適の演目です。 ④笑いが多い狂言を番組の最初に構成することにより、能楽鑑賞は難しいという先入観を払拭します。 能「黒塚」 ①“多角的なものの見方”を芸術鑑賞で養うために、我々の日常生活の善悪基準とは異なる視点で描かれた演目を採用しました。 ②学校公演(子供・青少年向け)の能楽公演でよく上演される演目です。 ③昔話風の展開で、教訓的要素がある物語です。 ④鬼女と山伏の争いの場面は大変迫力があり、児童・生徒さんの興味を引きます。またその場面でのお囃子は、三鬼女と呼ばれる「道成寺」「葵上」、そして「黒塚」のみでみられる迫力のある特殊なリズムで、より場面を盛り上げます。 ⑤「黒塚」の鬼は、他の鬼女物にはない、老婆から人食い鬼になってしまった人間の悲哀が込められています。また用いられる大道具(作り物)・小道具(杵杵輪など)も能独特の演出が施されています。 ⑥コミカルで楽しい役回りとなっている能力(狂言方)が、こっそり寝屋を覗こうとするシーンは、演能の中で笑える部分となっており、見所の一つです。また、本事業公演では通常の演能より派手な演出となっております。
児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	○ご挨拶 礼儀を重んじる伝統芸能。全員で正座をしてご挨拶をすることにより、演者と客席に一体感が生まれます。正座をする機会が少ない昨今において、伝統芸能を通して日本人の礼儀の清々しさを感じてもらいます。 ○能の体験 能の姿勢と運歩を、能楽師と一緒にいきます。簡単そうに見えて意外に難しい能楽の基本中の基本を学びます。また能の泣く所作“シオリ”を稽古し、能『黒塚』で観る主役の悲しい心情を、感じ取ります。 ○狂言の体験 狂言の特徴はセリフ喜劇です。「このあたりの者でござる」といったセリフ発声や、狂言の“大笑い”をして、狂言の魅力を体感します。 ○能・狂言クイズ 能楽は、極限まで無駄を省いた芸能です。少ない小道具と所作またセリフで、様々な仕草を表現します。それらを能、狂言それぞれで演じ、何をしているところかクイズを出します。想像力を高める自由回答形式です。クイズで興味を持ってもらいつつ、能楽特有の演出を学ぶコーナーです。

	○動画バーチャル能楽堂 宝生能楽堂を独自撮影・編集した動画を上映します。一般では絶対に見ることができない舞台から見た客席の映像や、出演者が準備をする楽屋風景も収めています。体育館にいながらにして、能楽堂の雰囲気をお楽しみいただきます。由緒ある能楽堂を有する宝生会と、影向舎の企画力が創り出した演出です。 ○能面・装束体験:本物の能面・装束を身に着ける 普段、プロの能楽師が使用している能面と装束をご用意します。能面は顔に掛けると、その視界の狭さに驚き、装束は重厚感と絢爛豪華な美しさに感激します。実際に児童・生徒さんが自身の体に掛け、羽織ることにより、楽しみながら能楽師の演技の奥深さを垣間見ることが出来ます。 ※宗家の強い意向、出演者また制作団体の総意により、全員参加を原則としています。また本公演でも能面体験の特設コーナーを設けますので、保護者の方々、近隣の皆様もご参加いただけます。 ○能『黒塚』の最後に附祝言「千秋楽」を全員で謡う 児童・生徒参加が難しい演能ですが、能楽堂でも演じられる一日の公演を平和な気持ちで終える附祝言を、巡回事業の特別プログラムとして構成しました。ワークショップ後には、各校用 CD と児童・生徒さん全員分の教材をお渡しします。 ワークショップで、能楽師が普通に行う稽古を体験。 ↓ 学内では CD 音源で友達と共有、自宅では動画サイトで家族と共有して学ぶ。 ↓ 本公演の演能前で最終のおさらい。 ↓ 児童・生徒さん全員と、出演者で本公演のフィナーレを飾ります。		
出 演 者	シテ方=[宝生会] 10名(シテ1名・地謡6名・後見2名・働き1名) ワキ方=[未定] 2名(ワキ・ワキツレ) 狂言方=[未定] 3名(シテ・アド・アイ) 囃子方=[未定] 4名(笛・小鼓・大鼓・太鼓) ＊詳細は別紙メンバー表をご参照ください。 ＊三役(ワキ方・狂言方・囃子方)のメンバーは、宝生会のスケジュール優先で調整するため、週別で変更の可能性有り。		
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出 演 者 : 19名 ス タ ッ フ : 7名 合 計 : 26名	機 材 等 運搬方法	積載量 2t 車 長 6.3m 台 数 1台

公演に当たっての 会 場 条 件	実施条件等確認書①をご確認ください。																
会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	前日仕込み(有 ・ ☐ 無) 会場設営の所要時間(3時間程度) <table border="1" data-bbox="416 1288 1434 1444"> <thead> <tr> <th>到着</th> <th>仕込み</th> <th>本公演</th> <th>内 休 憩</th> <th>撤去</th> <th>退出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8 時 3 0 分頃</td> <td>9時00分 ～12時00分</td> <td>13時30分 ～15時10分</td> <td>10分</td> <td>15時20分 ～16時50分</td> <td>17時00 分頃</td> </tr> </tbody> </table> ・本公演開始時間は、早める(13時00分など)ことが可能です。 ・午前公演をご希望の際は、前日仕込みが必要になります。 ・体育館フロアの階数や形状により、到着・仕込み時間の繰り上げ、また退出時間の繰り下げが発生する可能性があります。 ※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。					到着	仕込み	本公演	内 休 憩	撤去	退出	8 時 3 0 分頃	9時00分 ～12時00分	13時30分 ～15時10分	10分	15時20分 ～16時50分	17時00 分頃
到着	仕込み	本公演	内 休 憩	撤去	退出												
8 時 3 0 分頃	9時00分 ～12時00分	13時30分 ～15時10分	10分	15時20分 ～16時50分	17時00 分頃												
児 童 ・ 生 徒 の参加可能人数	ワークショップ	700名まで ○体育館の大きさによって、人数増が可能になる可能性がありますので、ご相談ください。 ◎能楽の所作の体験がありますので、客席は椅子を使用しません。															
	本公演	700名まで ○体育館の大きさによって、人数増が可能になる可能性がありますので、ご相談ください。 ◎250名以上のご参加の場合は、後ろの席からも観やすいように、おおよそ250名までは舞台近くで直座り、それ以上は椅子の使用をお願いします。															

ワークショッププログラム

～能って？狂言って？～

講師:シテ方(3人)、狂言方(1人)

時間:1時間30分

1. はじめまして能“楽”
2. 【実演】～能って？狂言って？～
3. 【体験】～能楽師になってみよう～
4. 【体験】～能楽しぐさクイズ！～
5. 能楽の成り立ち  プロジェクター
6. バーチャル能楽堂体験  オリジナル動画
7. 【体験】能楽体験ひろば
8. 【稽古】本公演にむけて～謡ってみよう～

狂言

両者がお互いの違いを
実演することで
目で見えて触れて、違いを実感！

能

ワークショップのポイント

とにかく分かりやすく・楽しいプログラム構成

能楽という芸能の魅力を、身近なものとして記憶に残してもらえるよう体験・映像を効果的に構成。

オリジナル動画で能楽を体感

一般的な紹介映像にはない、オリジナル作成のバーチャル能楽堂体験など、体育館にいながらにして、能楽堂の雰囲気を楽しめる動画を上映。

全員で体験

装束を羽織る、能面を掛ける、狂言の大きな笑いを響かせる・・・身に付け、発信して能楽を体感。

1

はじめまして能“楽”

知る

どこからかお調べが聴こえてくる…

舞台上手側から能の役者がすうーっと入ってきて
美しく舞い謡いはじめた。



「げにさまぎまの舞姫の

声も澄むなり住吉の 松影も映るなる

青海波とはこれやらん」

能の役者たちは静かに舞台袖へと消えていった…

すると今度は、舞台下手側から狂言の役者が入ってきて
大きな声で名乗りはじめた。



「東京に住まい致す狂言方の者でござる。

今日は〇〇へ参ろうと存ずる。まず、そろりそろりと参ろう。

いや、なにかと言ううちに、はや〇〇じゃ」

一体これから、何が始まるんだろう…？



みなさん、こんにちは！！

びっくりしましたか？



最初に扇を持って厳かに舞を披露したのは“能”、

大きな声で名乗りをしていたのは“狂言”です。

このワークショップは、能楽を構成する二本柱の能・狂言を比較しながら楽しんで頂ける構成となっています。

皆さんにとって初めての体験となる“能楽”という未知の世界へこれからご案内します。

2 能って？狂言って？

みる

能楽を構成する能と狂言。両者は長い歴史のなかで、表裏一体となって世界に誇る芸能へと成長しました。喜怒哀楽の表現方法など、その特徴には共通点があり、また似て非なる要素もあり、それが能楽の魅力のひとつです。その違いを分かり易く解説実演します。

能



広げた扇を胸の前で上下させて、歓喜や楽しさを表現する。能の世界では、この表現を“ユウケン”といいます。

狂言



大きな声と全身を使って「ハーッハーッハッ」と豪快に表現する。

喜び



手を目にあてるようにして、涙を抑える。これを“シオリ”といいます。

悲しみ



所作は能と同じ。それに「エッヘッ、エーン、エーン」と大声で泣く。



「地団駄をふむ」という言葉は知っているかな？その動作ととても似ているね。トン、トン、トントン！というリズムに乗っています。

怒り



足で地面を強く叩き踏むのは能と同じです。また「腹立ちや、腹立ちや」などのセリフをともないます。

能楽コラム

能の“シオリ”で手を目にあてる所作は、本来は着物の袂で涙を拭う様子を表現しています。

能では着物の袂を実際に持つのではなく、袂がある“前提”で所作をすることで、そぎ落とされた表現となっています。



3

能楽師になってみよう

体験

お稽古の前にきちんご挨拶



「よろしく願いいたします」

能楽には立ち方、歩き方に決まりがあります。それをしっかりと守ることによって、能舞台での美しさが創られます。見ていると簡単そうな基本的な所作カマエとハコビを実際に児童・生徒さんがやってみると窮屈で難しいことを実感できます。

まずは能楽として共通の動きをやってみよう

カマエ

能楽を演じる基本姿勢

背筋を伸ばして、少し腰を落とす！



足を地面にすりながら前に進む…



ハコビ

振り足で前に進む能楽の基本運歩

能楽の基本所作
カマエ ハコビ

…姿勢を保つのが難しいね！

ちょっと能楽師に近づけたかな？

次は、能と狂言の特徴的なしぐさをやってみよう



能

シオリ（泣く）

しぐさ

狂言

笑 う



4

能楽しぐさクイズ！～何をしている？～

Q：下の二人は、それぞれ何をしているのかな？

能



A：.弓をひいている

狂言



A：.ノコギリをひいている

発 見

能・狂言ともに、“ないものをある”と見立てて演じる「想像の舞台芸術」なんだね

5 能楽の成り立ち

学ぶ



プロジェクター投影

能・狂言は長い日本の歴史に育まれ、先人達が工夫と努力を重ねて成立した芸能で、今現在でも成長を続けています。そのような能楽の変遷を、平安時代から現代まで、時代をイメージするスライドを上映し、また馴染み深い戦国武将と能楽の深い関りなどをご説明しながら、楽しくご理解いただきます。



私達も能をよく観ていました！



(奈良時代～) 平安時代

中国から伝わった芸をもとにした
“猿楽”という名で当時は親しまれていました

鎌倉時代

能楽において重要な人物世阿弥によって、
現代にも伝わる能楽の礎が築かれました



そして現代へ…

その後、明治・大正・昭和という、
能楽界だけでなく、日本にとっても激動の
時代を経て、能楽専門の劇場“能楽堂”が
造られるまでになりました。



時代絵巻

江戸時代

この頃になると“式楽”と呼ばれ、将軍などに保護
されたため、それまでのように庶民は能を観れなくな
ってしまいました

6

バーチャル能楽堂体験

体験



オリジナル動画

宝生会が所有する宝生能楽堂にて、プロの映像制作会社が撮影・編集した迫力ある動画を上映します。客席から舞台を見た様子から始まり、一般の方が絶対に入ることができない能舞台上からの客席を見た目線、さらには特別な許可を得て、本舞台が上演されているシーンを楽屋、舞台方向から収めています。立体的に能楽堂を体験していただきます。

お客さんの目線



松の絵が描いてあるけど、
何か意味があるのかな？

のうぶたい
能舞台

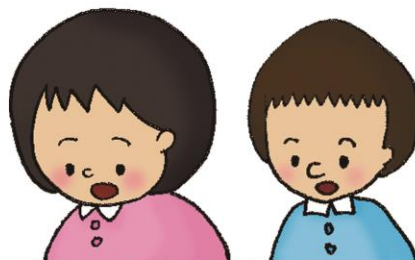
制作：映像向舎 協力：宝生会 制作：パワーハウス



室内なのに、屋根がついてる！不思議！
客席の向きも、なんだか変わってるよ！

裏側はこんな風になっているんだね。
鏡の前の人は何をやってるのかな？

なんだか緊張しちゃうね…！



役者の目線



7 能楽体験ひろば **体験**

装束と能面は、能の必須アイテムです。実際に宝生会能楽師が使用する装束・能面を、児童・生徒さんに身に付けてもらい、プロと同じ感覚を体験していただきます。

START!

装束

装束チーム

実際に能の装束を着てみよう。その重さや動きにくさが実感できます。昔の人もこんな服装をしていたのかな？

展示コーナー

能「黒塚」で実際に使われる小道具を紹介！そこにはどのような意味が隠されているのかな？

面

おもて面チーム

面を掛けると視野が極端に狭くなります。

面を持つときは、横についている紐で持ってね

GOAL!

能楽師気分は味わえたかな？

8 能「黒塚」と謡～本公演にむけて～

あらすじ

本公演で鑑賞する能『黒塚』のあらすじと見どころを、簡単にご紹介します。

むかしむかしの、少し悲しいお話です…



旅の山伏・祐慶一行は、陸奥の安達原までやってきました。
あたりが暗くなってきたので、ぽつんと建つあばら家を見つけ、
そこに住むお婆さんに一晩泊めてくれるよう頼みます。

しかし、お婆さんは何故かなかなか家に入れてくれません。
祐慶達に懇願され、どうにか泊めてくれることになりました。
お婆さんは彼らを招き入れ、自分の身の上話をはじめます…。



稽古

能の“附祝言”をやってみよう！



附祝言《つけしゅうげん》

能「高砂」や「狸々」

などのめでたい曲の一節

を抜粋して謡う

能楽の世界では、その日の演能をめでたく舞い納めるために、最後の演目が祝言性の低いものだった場合、最後に附祝言を謡ってその日の演能をまとめることがあります。

本公演で観る能「黒塚」のお婆さんは、実は人々を喰らう鬼女であることが分かり、その壮絶な背景と共に鬼女となったお婆さんを、山伏祐慶達は祈り伏せて鎮めます。その幕切れは観る者に様々な感情を呼び起こすことでしょう。

そのため、本プログラムの公演でも、少しでも能「黒塚」のお婆さんの気持ちに、また能楽の奥深い世界を体感していただくために、本公演のフィナーレを出演者と児童・生徒さん全員の謡で飾ります。

ここでは、ワークショップの締め括りとして、附祝言と一緒に練習しましょう。



千秋楽は民を撫で。万歳楽には命を延ぶ。

相生の松風。颯々の声ぞ楽しむ。颯々の声ぞ楽しむ。

～能『高砂』の終曲部分より～



本公演でもやるよ！
覚えていてね！

ワークショップ終了後に、謡を収録した CD を
お渡しします。

ワークショップ
実施形態の意図

●プラスの記憶を残す

ワークショップでは、能はしっかりと鑑賞するもの！ではなくて、体験や目の前の実演を通して“思ったよりも楽しいな”という印象を持ってもらう宣伝効果が重要です。それにより児童・生徒さん達が、本公演に対して“早く観たいな”という期待に、必ずつながります。

●体験と同じく体感

能の基本姿勢や狂言の発声の体験だけでなく、能装束を羽織ってそのズシッとした重量と厚みを感じ、能面を掛けて、極端に見えづらくなる視界を感じてもらいます。“能楽師の人達は、こんな重い衣装と見づらい能面を付けて演技をするんだ”とか“昔の貴族はこんな豪華な衣装を好んで着ていたんだ”とか、自由な感想が生まれます。

●能楽は伝統芸能。だけど今に生きている

能楽は、日本の長い歴史の中で上流階級・武士・庶民など様々な人間が、日々繰り広げた喜怒哀楽を結晶にした壮大な舞台劇です。それは決して博物館のショーケースに展示されるものでなく、今でも各地で上演され、新しい感動を創り続けています。とかく難しいと敬遠されがちな伝統芸能ですが、観る切り口を変えることによって、楽しみ方が大きく変わります。ワークショップでは、体験・動画・体感を効果的に配して、能楽の魅力への大きな一歩を、踏み出すきっかけをご提供します。

●ワークショップから本公演に向けて

ワークショップはワークショップのみで終了ではありません。後日の本公演をより楽しく鑑賞するための重要な入口であり、キッカケづくりです。ワークショップで体験したこと、観たことを繋げるべく、本公演までの日数を効果的に復習できる要素を企画しました。

本公演の演能「黒塚」で使用される小道具を展示します。

「黒塚」では、重要な演出効果として下記の小道具が使用されます。ワークショップ時に実物を展示して、演能ではどのように使われるかをクイズとして投げかけ、本公演への期待を高めます。

①杵杵輪【わくかせわ】 前場(演能の前半)、主役の老婆が、悲哀を込めて唄う場面で使われる糸車。「黒塚」だけで使われる特殊道具。

②負柴【おいしば】 後場(演能の後半)、主役の鬼女が登場時に背負っている。老婆は山伏達に裏切られて鬼と化しているが、本当は山伏たちに寒い思いをさせまいと、柴を集めてきたのか・・・。

③打杖【うちづえ】 後場のクライマックス。山伏と鬼女の対決シーン。鬼女が手にして山伏に打ち掛かる。

杵杵輪



負柴



打杖



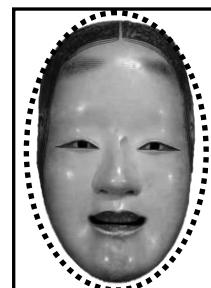
ワークショップ終了後に、児童・生徒さん全員分の教材をお渡しします。

掲載内容と目的

- ①「黒塚」のあらすじを漫画化。本公演実施までに日数が空いても、分かり易く演能「黒塚」をおさらいできます。
- ②謡「千秋楽」の節付ひらがな詞章と能楽師の音声を動画サイトにアップします。そのQRコードやURLなどを掲載。児童・生徒さんが学校で謡った千秋楽を、自宅でおさらいもでき、また家族で話題にもなります。
- ③付録的に能面ページを掲載。切り取り線に合わせてハサミを入れると、紙製の能面が完成します。それを顔に当てると、ワークショップで体験した能面の視野の狭さを、再度体験できます。また学校でのワークショップで完結せずに、その体験や興奮を家族で共有をして、能楽の楽しさを広げてもらいます。



せ、エ→んしうらくはたみを^オなで
まんざいらくにはいのちをの^オぶ^ウウ
あいおいの→オまつ→かぜ
さ→アッさん→のこえ^オ。
たのしむ→ウ^オさ→アッさん^のオこ^えエぞ
たのし、イ→む→



ワークショップ終了後に、謡「千秋楽」の音声を収録した CD をお渡しします。

ワークショップでのお稽古だけでは、謡の節を習得するのは困難です。実際に能楽師が謡った音源を収録した CD を各校にお渡ししますので、給食中、昼休みなどのなるべく多くの機会に校内放送で流してください。若い人は、文字で覚えるよりも、耳で聴き口に出すのが大人より長けています。是非皆さんで本公演「黒塚」のクライマックスを飾りましょう。



特別支援学校での
実施における工夫
点

平成30年度文化芸術による子供の育成事業 愛知県立岡崎盲学校さんにて

ワークショップ: 9月13日(木)

能面の表側を触ることは本来完全不可ですが、宝生会の協力により、彩色前の能面を多くご用意し、能面を掛けるだけでなく、実際に手で触れて、“ここが口、これが鼻”と体感してもらいました。



本公演:10月5日(金)

通常演出のスクリーン投影を少なくし、能楽師のMCによる解説、囃子方の演奏などを中心に番組を構成しました。また休憩中は、先生方のご誘導により、皆さんに弊社設営の能楽堂に上がってもらい、距離感や舞台道具の材質を感じてもらいました。



実施可能時期
◇はB区分申請団
体のみ

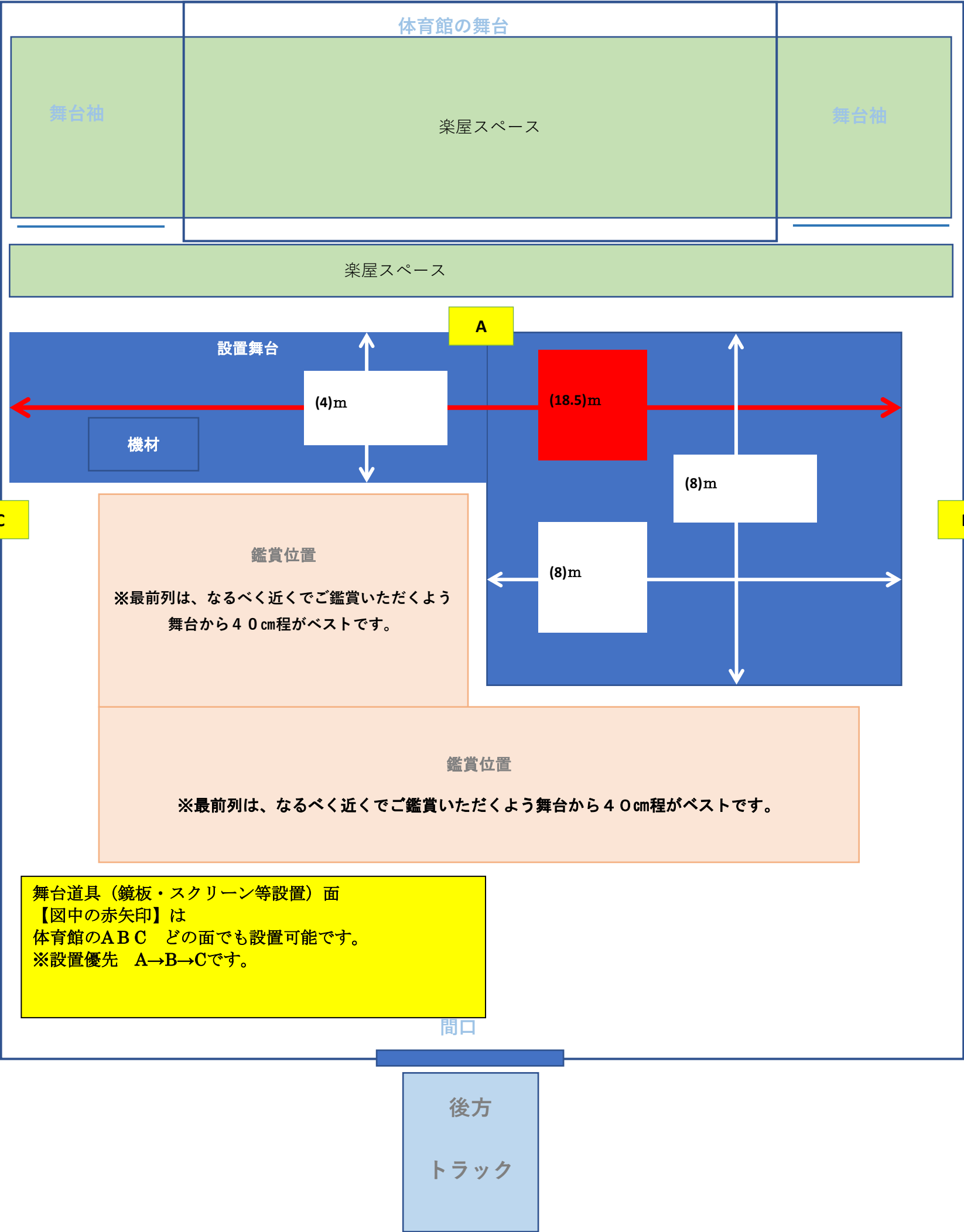
実施可能時期スケジュール表をご確認ください。

【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	F68	分野	伝統芸能	種目	歌舞伎・能楽	ブロック	F	区分	A区分
公演団体名	公益社団法人 宝生会				制作団体名	株式会社 影向舎			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数 *		条件	ステージを楽屋として使用しますので、原則別室は不要です。				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			2tトラック 1台		バン 1台		
	不可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			2tトラック				
	可	搬入車両の横づけの要否 *			可能な限り。横付けを希望します。				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			30m以内				
	可	搬入経路の最低条件			特段無。				
		理由							
	可	設置階の制限 *			2階まで可能。				
	可	搬入間口について 単位:メートル	幅	2	高さ	2			
WSについて	可	参加可能人数			700				
	可	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *			
	可	所要時間の目安 単位:分			90分				
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの 所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイム スケジュール)」の目安をご参照ください。				
	可	鑑賞可能人数			700				
	不可	舞台設置場所 *			フロア				
	不可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル	幅	18.5	奥行	8	高さ	4	
	—	体育館の舞台を使用する 場合の条件		舞台袖スペースの確保 *					
	舞台袖スペースの条件 *								
	緞帳 *					バトン *			
	可	遮光(暗幕等)の要否 *			不要	理由			
	—	ピアノの調律・移動の要 否		指定位置へのピアノの 移動 *			※指定位置は会場設置図面に て御確認ください。		
	ピアノの事前調律 *								
	可	フロアを使用する場合の 条件		バスケットゴールの設 置状況 *		格納されていれば可			
	可	公演に必要な電源容量			40A		※主幹電源の必要容量		
	その他特記事項								



搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否		可能な限り		
横づけができない場合の搬入可能距離		30m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

舞台設営例 A面【縦使い】



250名以上のご参加の場合は、後ろの席からも観えるように、おおよそ250名までは舞台近くで直座り、それ以上は椅子の

舞台設営例 B面【横使い】



楽屋スペース



Ⅵ 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	<u>歌舞伎・能楽</u> , 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C 区分

複数申請の有無 (該当する方に○を付してください。)

あり ・ なし

複数の企画が採択された場合の実施体制 (該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他 ()

芸術文化団体の概要

ふ り が な	かぶしがいいやよろずきょうげん		
制 作 団 体 名	株式会社萬狂言		
代表者職・氏名	代表取締役 野村万蔵		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒170-0013 東京都豊島区東池袋 5-7-4 マーブル東池袋 7F (東京メトロ有楽町線東池袋駅)		
電 話 番 号	03-6914-0322	F A X 番 号	03-6914-0327
ふ り が な	よろずきょうげん		
公 演 団 体 名	萬狂言		
代表者職・氏名	和泉流狂言野村万蔵家当主 九世野村万蔵		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒170-0013 東京都豊島区東池袋 5-7-4 マーブル東池袋 7F (東京メトロ有楽町線東池袋駅)		
制 作 団 体 設 立 年 月	2011 年 9 月		
制 作 団 体 組 織	役 職 員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役 野村万蔵	〈萬狂言〉団体構成員 30 名 主な構成員 野村萬(名誉会長) 野村万禄、小笠原匡(幹事)	
事務体制の担当	専任 ・ <u>他の業務と兼任</u>	本事業担当者名	昼間則子
経理処理等の 監査担当の有無	<u>有</u> ・ 無	経理責任者名	大矢隆啓

制作団体沿革	かつて加賀前田藩で狂言棟取役をつとめた家柄で、約 300 年の歴史をもつ和泉流狂言野村万蔵家を母体とする。 1995 年 1 月に「萬の会」を設立。以後、毎年東京をはじめ関東・北陸・関西・九州など全国各地で公演活動を展開する。海外公演にも多数参加。 2000 年 1 月「萬狂言」に改め、2011 年 9 月株式会社を設立。		
学校等における 公演実績	●葛飾区小学生狂言鑑賞教室(1993 年より毎年) 演目:「盆山」「口真似」「柿山伏」「附子」など ●川崎市立新作小学校(国語科)狂言ワークショップ(2003 年より毎年) 演目:国語教科書に準ずる内容(「柿山伏」など)のワークショップ ●十文字中学校狂言鑑賞教室(隔年) 演目:「盆山」「附子」など ●山崎学園富士見高校狂言鑑賞教室(1990 年より毎年) 演目:「柿山伏」「附子」「蝸牛」「萩大名」など ほか全国各地で多数開催。年間 50 ステージ以上。		
特別支援学校に おける公演実績	2009 年 長崎県立虹の原養護学校(本物の舞台芸術体験事業) 2010 年 広島県立広島中央特別支援学校(子どものため舞台芸術 巡回公演) 2018 年 北海道美唄養護学校(文化芸術による子供の育成事業 巡回公演)		
参考資料の 有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	①有 ・ 無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	①有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
	A の 提出が 困難な 場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード		ID: PW:	

公 演 ・ ワークショップの内 容

【公演団体名

萬狂言

】

対 象	小学生(低学年 ・ 中学年 ・ 高学年) ・ 中 学 生			
企画名	狂言鑑賞教室～狂言って面白い！～			
本公演演目	【小学校・中学校 共通】 狂言「柿山伏」 狂言「附子」			
原作／作曲	【中学校のみ】			
脚 本	語「奈須与市語」 ※一部抜粋			
演出／振付	公演時間(90分) ※途中10分休憩あり			
著作権	○	制作団体が 所有	制作団体以外が所有する事 項が含まれる	(制作団体以外が所有す る事項が含まれる場合) 許諾の有無
演 目 概 要	「柿山伏(かきやまぶし)」 山での修行を終えた山伏が、帰る途中でのどが渇いてしまったため、近くの柿の木になっている実を無断で食べてしまいます。そこへ木の持ち主がやってきたので、山伏は見つからないように木のかげへ隠れますが、大きな体がかくれるはずがありません。その様子をみた木の持ち主は、山伏をからかうことにし、様々な動物の物まねをさせます。 内容が分かりやすく、動物の物まねから、オノマトペ(擬音語・擬態語)を楽しく知ることができる作品です。 「附子(ぶす)」 主人に留守番を頼まれた召使いの太郎冠者と次郎冠者。はじめはおとなしくしていましたが、主人が猛毒だから近づくなと言い置いていった「附子」が気になって仕方ありません。二人で協力して蓋を開けてみると、中に入っていたのは黒い塊。引きとめる次郎冠者の声も聞かずに、太郎冠者が一口食べてみると、それは砂糖でした。いつの間にか全部食べてしまった二人は、帰ってきた主人に怒られないよう、ある言い訳を思いつきます。 狂言の代表作の一つであり、一休さんのとんち話や『沙石集』にも類話がみられます。 台詞と動きから、狂言の面白さを十分に味わうことのできる作品です。 「奈須与市語(なすのよいちがたり)」※中学校のみ 『平家物語』の代表的な場面である、奈須与市が扇の的を射る様子を狂言の語からご覧いただきます。通常、15 分ほどの演目ですが、まさに弓を射る場面のみ抜粋。国語科の学習において鑑賞する機会が多い平曲(琵琶)とはまた違った魅力を味わうことができます。			
演 目 選 択 理 由	狂言は少ない道具やセットで演じ、結末が明示されない舞台芸術です。 「柿山伏」では実際には舞台に登場しない柿の木や柿の実がどんな形をしているのか、「附子」では黒い塊がどのようなものなのか、そして最後に追いかけられながら退場する登場人物たちがその後どうなったのか、子どもたち一人一人が「想像」しながら鑑賞することで、発想力を育むことができる演目であると考え、選択しました。			

	また、中学校公演では多くの学校で『平家物語』の学習があるのに合わせ、中学校では奈須与市が扇的のを射る場面を語る狂言語「奈須与市語」の一部をご覧ください。平曲とは違った語りの技法を鑑賞することにより、内容への理解、関心が一層深まるとともに、同じ題材を扱っていても、表現の仕方によってイメージが変わるということが実感できることと思います。 そこから、狂言のみに関わらず、他の芸能への興味・関心につなげることができると考え、選択しました。 なお、「柿山伏」「附子」は現在使用されている小学校国語教科書にも掲載がある演目ですので、掲載教科書を使用している学校においては、事前・事後学習に役立てていただくことができます。		
児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	【小学校・中学校共通】 事前ワークショップに参加した子どもたちは、狂言小舞の謡「兎」を練習してもらいます。本公演のはじめの解説の中で、謡を子どもたちが謡い、それに合わせてプロの狂言師が舞を披露します。 【小学校のみ】 本公演では「柿山伏」ででてくる、山伏の祈りのセリフ（ぼうろんぼうろん）を会場全体で練習します。今回鑑賞する演目ではありませんが、「茸」という演目を用い、事前ワークショップに参加した児童のうち数名にキノコ役として舞台に登場（動きの練習は事前ワークショップで行ないます）してもらい、会場全体でキノコに向かって山伏の祈りのセリフを言ってもらいます。		
出演者	萬狂言一門から4名とナビゲータ役（別に1名） 野村万禄、小笠原匡、能村祐丞、能村晶人、炭哲男、荒井亮吉（以上、重要無形文化財総合指定保持者）、山下浩一郎、河野佑紀、上杉啓太、野村万之丞、野村拳之介、吉住講、吉良博靖、杉山俊広、近藤信一、山本豪一、清水宗治、中尾史生、炭光太郎、小笠原弘晃 などから編成		
公演出演予定者数 （1公演あたり）	出演者： 5名 スタッフ： 1名 合 計： 6名	機材等 運搬方法	積載量 t 車 長 m 台 数 1台(バン予定)

公演に当たっての 会 場 条 件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	前日仕込み(有 ・ (無)) 会場設営の所要時間(1 時間 30 分程度)					
	到着	仕込み	本公演	内 休 憩	撤去	退出
	10 時	10 時 30 分 ～13 時	13 時 30 分 ～15 時	10 分	15 時～ 16 時 15 分	16 時 30 分
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。						
児 童 ・ 生 徒 の 参加可能人数	ワークショップ	15～100 人 ※学校のご希望がある場合はご相談ください。				
	本公演	100～300 人 ※目安であり、特に制限はありません。				
ワークショップ 実 施 形 態 及 び 内 容	体育館や大教室を用い、体験をメインにしたワークショップを行ないます。 ○お話 狂言の歴史や特徴等について、分かりやすく説明します。 ○基礎稽古の体験 稽古始めの挨拶(正座でお辞儀)／狂言の美しい姿勢(まっすぐな姿勢と視線)／ 発声(遠くへ届く声を出す)／歩き方(摺り足)／喜怒哀楽の表現(笑う、泣く) ○本公演共演内容の稽古					
ワークショップ 実施形態の意図	狂言について、社会科や国語科で知識として学ぶ機会が多くあると思いますが、実 際にどのような演技をするのか生でみる機会は少ないと思います。そこでワークショップ では、子どもたちによる狂言の動きや発声の体験を重視することにより、芸能としての狂 言の本質に迫ることを目的とします。 また、基礎稽古である正座での挨拶、美しい姿勢などは、狂言の演技に限ったものでは なく、子どもたちの日常生活にもつながる所作です。 ワークショップで学んだ内容を子ども一人一人が日常(家庭)に持ち帰り、「こうするとき れいに正座ができるんだよ」「こんなことを知ったよ」と誰かに話したくなるような、コミュニ ケーションの一助になるワークショップにしたいと考えます。					
特別支援学校での 実施における工夫 点	先生方と事前に密な打ち合わせを行ない、専門的なご意見をいただき、学校の児童生 徒の状況にあわせて「視覚的に分かりやすい説明を増やす」「言葉での説明部分を膨ら ます」などの工夫をいたします。また、事前資料(たとえば、学校側で点字資料を作成す るための資料提供)を充実させることも考えています。					

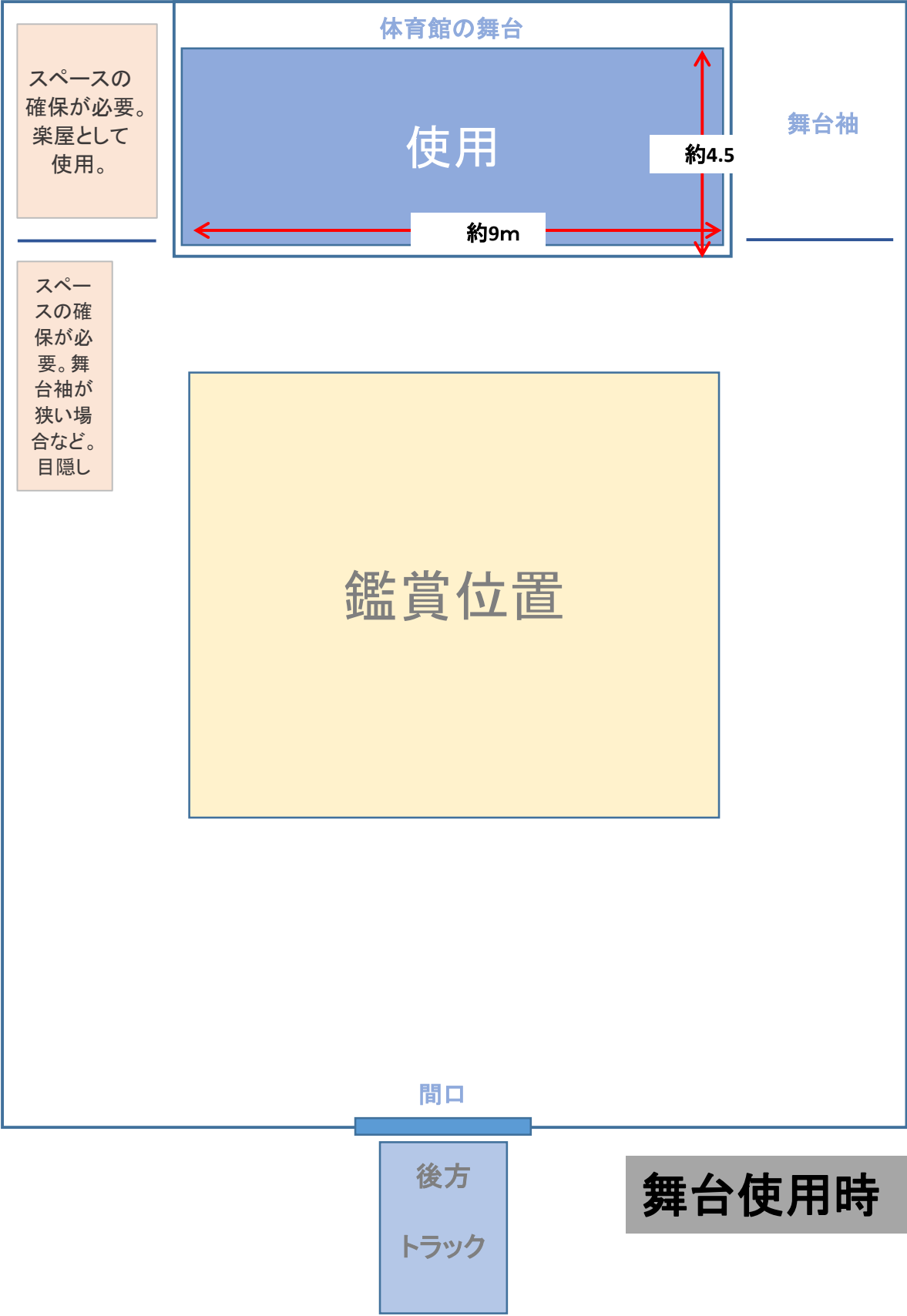
実 施 可 能 時 期	実施可能時期スケジュール表をご覧ください。
-------------	-----------------------

【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	F69	分野	伝統芸能	種目	歌舞伎・能楽	ブロック	F	区分	A区分
公演団体名	萬狂言				制作団体名	株式会社 萬狂言			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等						
控室について	可	必要数 *	1室	条件	舞台袖を装束着替えスペースで使い、それは別に、体育館になるべく近い1室を確保お願いしたい。			
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			バン	1台		
	可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			バン1台			
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要			
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			100m以内			
	可	搬入経路の最低条件			・舞台ステージ袖(向かって左側)近くが望ましい。 ・できる限り階段のない経路が望ましい。 ・屋根のある経路が望ましい。			
		理由			舞台道具や装束ケースは手持ちで運べるが、時間節約とスムーズに搬入するため。			
	可	設置階の制限 *			問わない			
	可	搬入間口について 単位:メートル	幅	2m	高さ	2m		
WSについて	可	参加可能人数			15～100名程度			
	可	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *	なし	
	可	所要時間の目安 単位:分			90分程度			
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安をご参照ください。			
	可	鑑賞可能人数			～300名程度(特に制限はありません)			
	可	舞台設置場所 *			体育館のステージ上			
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル	幅	9m程度	奥行	4.5m程度	高さ	6m程度
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保 *			要		
	可		舞台袖スペースの条件 *			向かって左側、なるべく広く使いたい		
	可		緞帳 *	要	バトン *	要		
	可	遮光(暗幕等)の要否 *			要	理由	日差しが入って見えにくいなどあれば使用	
	可	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動 *			要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。	
	—		ピアノの事前調律 *			不要		
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況 *			格納されていれば可		
	可	公演に必要な電源容量			学校の範囲内 ※主幹電源の必要容量			
	その他特記事項							
	可	ステージがない場合でも実施は可能です。						
	可	舞台下手袖(フロアからみて左側)に着替えスペースが必要です。着替えスペースには上敷(ゴザ)とハンガー、あれば姿見を拝借します。寒い地域では着替えスペースに暖房器具の用意をお願いします。						
可	解説用にワイヤレスマイク(学校備品)を2本使用させていただきます。							
可	舞台奥(背景側)のバトンに、巾6.3m×高さ5.4m、重さ約15kgの松幕を吊ります。 バトンがない場合はご相談ください。							



搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの可否	要			
横づけができない場合の搬入可能距離	100m以内			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

れいわがねんど
令和元年度
ぶん かげいじゅつ こどもいくせいそうごうじぎょう じゅんかいこうえんじぎょう
文化芸術による子供育成総合事業 —巡回公演事業—

よろず きょう げん
萬 狂 言
のうがくこうえん
＜能楽公演＞



ぶん かげいじゅつ こどもいくせいそうごうじぎょう じゅんかいこうえんじぎょう
「文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—」
わ くに いちりゅう ぶん かげいじゅつ だんだんたい しょうがっこう ちゅうがっこうなど こうえん こども すぐ ぶたいけいじゅつ かんしょう
我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞す
る機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の
芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。
じぜん こども じつえんしどうまた かんしょうしどう おこな じつえん こども
事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供
たちにも参加してもらいます。



実施日程	実施校	地元主催者
2019年6月27日(木)	千葉市立千草台小学校	千葉市教育委員会
2019年6月28日(金)	鹿嶋市立三笠小学校	茨城県教育委員会
2019年7月2日(火)	甲斐市立竜王北小学校	山梨県
2019年7月4日(木)	甲州市立塩山北中学校	山梨県
2019年7月8日(月)	千葉市立弥生小学校	千葉市教育委員会
2019年7月9日(火)	千葉市立小中台南小学校	千葉市教育委員会
2019年7月10日(水)	取手市立藤代南中学校	茨城県教育委員会・取手市教育委員会
2019年7月11日(木)	大網白里市立季美の森小学校	千葉県教育委員会
2019年7月12日(金)	白井市立七次台小学校	千葉県教育委員会
2019年9月5日(木)	山武市立成東小学校	千葉県教育委員会
2019年9月6日(金)	山武市立大平小学校	千葉県教育委員会
2019年9月10日(火)	筑西市立五所小学校	茨城県教育委員会・筑西市教育委員会
2019年9月11日(水)	つくば市立春日学園義務教育学校	茨城県教育委員会
2019年9月12日(木)	古河市立古河第四小学校	茨城県教育委員会・古河市教育委員会
2019年11月5日(火)	学校法人きのくに子どもの村学園 南アルプス子どもの村小学校	山梨県
2019年11月6日(水)	匝瑳市立須賀小学校	千葉県教育委員会
2019年11月7日(木)	睦沢町立睦沢小学校	千葉県教育委員会
2019年11月8日(金)	野田市立南部小学校	千葉県教育委員会
2019年11月13日(水)	東村山市立回田小学校	東京都・東村山市
2019年11月14日(木)	町田市立南成瀬中学校	東京都・町田市
2019年11月25日(月)	足立区立足立入谷小学校	東京都・足立区
2019年11月26日(火)	利島村立利島小中学校	東京都・利島村
2019年11月28日(木)	日野市立南平小学校	東京都・日野市
2019年11月29日(金)	調布市立第二小学校	東京都・調布市

よろずきょうげん
萬 狂 言
よろずきょうげん きょうげんかたいずみりゅう のむらまんぞうけいちもん よ な あく ねん れきし でんとう う つ
萬 狂 言とは、狂言方泉流 野村万蔵家一門の呼び名で、約300年の歴史と伝統を受け継ぎ、その
むかし ぼくろく か が まえだはん かか
昔は北陸の加賀前田藩のお抱えでもありました。
げんざい どうしめ だいのう きゅうせいのむらまんぞう ちゅうしん どうきょう ぼくろく かんさい きゅうしゅう きよてん こうえんかつどう
現在の当主(代表のこと) 九世野村万蔵を中心に、東京・北陸・関西・九州を拠点として、公演活動
や狂言の稽古場の開設、全国の小中学校での鑑賞会やワークショップなどを行っています。

し がついつい ち こくさいおんがく ひ
知っていますか？～10月1日は「国際音楽の日」です～
1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年
10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」
とすることにしました。
にほん 1994年からは毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

番組

解説

狂言「柿山伏」

登場人物 山伏

柿の木の持ち主

狂言「附子」

登場人物 太郎冠者

次郎冠者

主人

質問コーナー

「柿山伏（かきやまぶし）」

山での修行帰りの山伏（特別な力をもったお坊さん）が、途中のどがかわいたので、近くの柿の木になつていた実を、盗んで食べてしまいます。そこへ木の持ち主が現れたため、山伏は見つからないように必死に木のかけにかくれますが、大きな体がかくれるはずがありません。木の持ち主はそんな山伏をからかってみることにして……。

●ことばのかいせつ

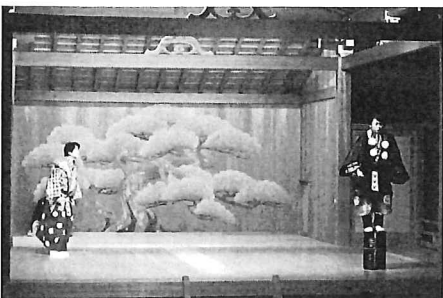
【捨身の行い】命をかけた修行。

【所望】何かをほしがること。

【礫】石。

【南無三宝】驚いたときや失敗したときに出てくる言葉。

しました。



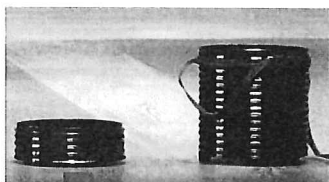
◆狂言の小道具◆

ほとんど登場人物の台詞や動きだけでお話がすすむ狂言ですが、いくつかの小道具が使われることもあります。



●扇（おうぎ）

狂言で使う小道具の中でも、色々なものに見立て使われるのが扇です。あおいだり、のこぎりとして木を切ったり、刀などの武器にもなります。



●葛桶（かずらおけ）

こちらも狂言ではよく使われる道具で、黒い桶にふたが付いています。そのままのように腰をかけたたり、ふたを蓋に見立ててお酒を飲む道具としても使います。

◆狂言小舞「兎」◆ 小学生

狂言小舞とは、狂言の中で謡に合わせて舞われる短い舞のことで、お稽古の基本にもなります。今回は「兎」という狂言小舞を、事前のワークショップに参加した皆さんに謡をうたってもらい、プロの狂言師が舞を舞う共演をします。

あこの山から、この山へ。

飛んで来るは何ぢやるろ。

頭に二つ。ふびふびと。

細うて長うて。ぴんと跳ねたを。

ちやつと推した。

兎ぢや

「附子（ぶす）」

主人に留守番をたのまれた召使いの太郎冠者と次郎冠者ははおとなしくしていましたが、猛毒でそちらから吹いた風が当たっただけでも死んでしまうから近づくなどと言って主人が置いていった「附子」が気になって仕方ありません。協力してふたを開けると、中に入っていたのは黒いかたまり。引きとめる次郎冠者の声も聞かずに、太郎冠者が一口食べてみると……。

●ことばのかいせつ

【汝】相手の呼び方。

【おまえ、あなた】

【子細あつて】事情（わけ）があつて。

【かしまいていぢる】

わかりました。

【やるまいぞにがさないぞ】



VI 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)
分野, 種目(該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。 A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。) あり ・ なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
(3) 提案したいいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしきがいしゃ きたまえせん 株式会社 北前船		
代表者職・氏名	代表取締役社長 青木孝夫		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒952-0611 新潟県佐渡市小木金田新田 148-1 (佐渡汽船小木港より車で 15 分)		
電話番号	0259-86-3630	FAX番号	0259-86-3631
ふりがな 公演団体名	たいこげいのうしゅうだん こどう 太鼓芸能集団 鼓童		
代表者職・氏名	代表 船橋裕一郎		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒952-0611 新潟県佐渡市小木金田新田 148-1 (佐渡汽船小木港より車で 15 分)		
制作団体 設立年月	昭和 56 年 2 月		
制 作 団 体 組 織	役 職 員 代表取締役社長 青木孝夫 専務取締役 洲崎拓郎 取締役 新井和子 西村信之 社外取締役 佐藤一行 太鼓芸能集団「鼓童」代表 船橋裕一郎	団体構成員及び加入条件等 株式会社北前船 職員 56 名 太鼓芸能集団 鼓童 正団員 33 名 準団員 4 名 鼓童加入条件: 2 年間の研修期間、1 年間の準団員としての実地 研修、選考を経て、正団員になる。	
事務体制の担当	専任 ・ 他の業務と兼任	本事業担当者名	後藤美奈子
経理処理等の 監査担当の有無	有 ・ 無	経理責任者名	斎藤美和

制作団体沿革	株式会社北前船の運営する太鼓芸能集団 鼓童は、太鼓を中心とした伝統的な音楽芸能や郷土芸能を基盤に、新たな舞台表現の方法を探索する芸能集団である。独自性がありながらも、様々な境界を越えて人々の心に届く良質な作品や楽曲の創造を行い、その成果を日本国内のみならず世界中の人々と共有し、芸術文化の振興に寄与することを目的としている。また、国際交流、教育、医療、地域振興など様々な分野と連携し、「太鼓」のもつ力を、舞台演奏に限らず、広く社会に還元することを目指している。 昭和 46 年 9 月 「佐渡の國鬼太鼓座」活動を開始。 昭和 56 年 2 月 「鼓童」に改称。団体の法人格として「株式会社北前船」を設立。 昭和 63 年 8 月 佐渡市と連携し国際芸術祭「アース・セレブレーション」開催。現在も毎年継続中。 平成 9 年 4 月 外郭に財団法人鼓童文化財団を設立(平成 23 年 11 月 1 日より公益財団法人)。 平成 19 年 4 月 佐渡太鼓体験交流館の鼓童文化財団による委託運営を開始。 平成 24 年 4 月 歌舞伎俳優の坂東玉三郎が、「鼓童」の芸術監督に就任。(平成 28 年 9 月まで)
学校等における 公演実績	平成 30 年度:30 公演 17,813 人(保育園 0、小学校 35、中学校 4、高校 4、支援学校 3) 平成 29 年度:74 公演 83,360 人(保育園 2、小学校 41、中学校 20、高校 10、支援学校 1) 平成 28 年度:45 公演 46,670 人(小学校 16、中学校 13、高校 16、支援学校 2) 平成 27 年度:73 公演 66,490 人(小学校 44、中学校 13、支援学校 3、海外 11) 平成 26 年度:44 公演 45,725 人(小学校 36、中学校 6) 平成 25 年度:28 公演 11,563 人(小学校 44、中学校 25、高校 3、特別支援学校 4) 平成 24 年度:41 公演 13,248 人(小学校 46、中学校 19、養護学校 1) 平成 23 年度:85 公演 30,589 人(小学校 79、中学校 31、高校 5、中高一貫校 1、短期大学 1、支援学校 5、養護学校 2、盲学校 1) 平成 22 年度:43 公演 22,200 人(小学校 63、中学校 6、高校 3、大学 1、中高合同 2、聾学校 1、障害者施設 1) 平成 21 年度:84 公演 34,074 人(小学校 31、中学校 22、小中合同 15、高校 4、中高合同 1、支援学校 4、地域 7) 平成 20 年度:91 公演 38,646 人(小学校 73、中学校 16、高校 5、幼稚園 1、養護学校 4、地域 7) 平成 19 年度:87 公演 30,871 人(中学校 41、小学校 42、高校 1、保育園 2、養護学校 2、聾学校 1、地域 5) 平成 18 年度:36 公演 15,000 人(中学校 24、小学校 2、高校 5、養護学校 1、地域 4) 平成 17 年度:44 公演 17,800 人(中学校 29、小学校 5、高校 5、養護学校 1、福祉施設 1、地域 3) 平成 16 年度:23 公演 7,130 人(中学校 12、小学校 2、高校 5、養護学校 1、福祉施設 1、地域 2) 平成 15 年度:30 公演 8,000 人(中学校 24、小学校 2、高校 2、養護学校 1、地域 1) 平成 14 年度:13 公演 3,500 人(中学校 10、小学校 4、養護学校 1) 平成 13 年度:25 公演 10,200 人(中学校 15、高校 7、養護学校 1、地域 2) 平成 12 年度:31 公演 11,800 人(中学校 28、小学校 1、地域 2) 平成 11 年度:29 公演 12,000 人(中学校 26、小学校 1、高校 1、福祉施設 1)
特別支援学校に おける公演実績	以下の単独での支援学校での公演実績に加え、合同鑑賞での実績もあります。 平成 30 年度:長野県若槻養護学校、長野県ろう学校、長野県盲学校 平成 29 年度:鳥取大学附属特別支援学校 平成 27 年度:松本市立松本養護学校、鳥取聾学校・盲学校、江南高等特別支援学校 川岸分校 平成 25 年度:長岡療育園、皆生養護学校・鳥取聾学校ひまわり分校、米子養護学校 平成 24 年度:島根県立浜田養護学校 平成 23 年度:長岡療育園、花巻清風支援学校、盛岡みたけ支援学校、久慈拓陽支援学校 平成 22 年度:長岡療育園、新潟聾学校 平成 21 年度:月ヶ岡養護学校、埼玉県立川口特別支援学校、和歌山県立紀北支援学校 平成 20 年度:宮古養護学校、釜石養護学校、気仙養護学校、前沢養護学校 平成 19 年度:松本養護学校 平成 18 年度:気仙養護学校 平成 17 年度:稲荷山養護学校、あけぼの園、豊明高等養護学校 平成 16 年度:ふじの実学園、気仙養護学校、月が岡養護学校 平成 15 年度:神戸市立盲学校 平成 14 年度:前沢養護学校 平成 13 年度:月が岡養護学校 平成 12 年度:新潟盲学校

参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	☒ 有 ・ ☐ 無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	☒ 有 ・ ☐ 無
		※公開資料有の場合 URL	https://drive.google.com/drive/folders/1tnmAmKF09tRgpXpxjjRyuQy7K6zKLgOt?usp=sharing
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
	A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	☐ 有 ・ ☐ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:

公 演 ・ ワークショップの内 容

【公演団体名太鼓芸能集団 鼓童】

対象	小学生(低学年・中学年・高学年)・中学生				
企画名	鼓童の交流学校公演				
本公演演目 原作／作曲 脚 本 演出／振付	[1] 太鼓演奏(大太鼓[鼓童編曲]、屋台囃子[鼓童編曲]ほか全体で5～6曲) [2] 太鼓体験 [3] トーク(メンバー自己紹介、楽器の紹介など) 公演時間(小学生70分／中学生80分 途中休憩なし)				
著作権	制作団体が 所有	○	制作団体以外が所有する事 項が含まれる	有	(制作団体以外が所有する 事項が含まれる場合) 許諾の有無
演目概要	本公演は、世界的に高い芸術評価を得ている鼓童の舞台を、感性豊かな子どもたちのために平易に親しみやすく紹介するものです。 「太鼓演奏」では、鼓童の舞台を構成している3つの要素(各地の日本芸能に素材をとったもの／外部の音楽家による作品／鼓童メンバーによる楽曲)を解説し、太鼓音楽の幅広さや奥深さを立体的に伝えていきます。 「太鼓体験」では、和太鼓の性質を知り、実際に体験してもらうだけでなく、他の子どもたちが叩く音に耳をすまし、そのリズムに合わせていくことでチームワークや協調性を学ぶ機会を提供します。 さらにメンバーによる「トーク」のコーナーは、主に20代で構成される鼓童メンバーが子どもの頃に何を考えていたか、どうして鼓童の舞台に立とうと思ったのかなどを語り、将来ある子どもたちに夢を持つことの大切さを伝えます。また、舞台上で使用されている様々な楽器について、専門家の視点からやさしく解説し、日本の伝統音楽の教育にも貢献します。				
演目選択理由	[1]和太鼓の響きや音を体感してもらえる。 [2]和太鼓の種類と様々な演奏スタイルが見ることができる。 [3]和太鼓と他の楽器の組み合わせから多様性と可能性を感じてもらえる。 [4]太鼓以外にも邦楽器のアンサンブル(調和)が実感できる。				
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	「太鼓体験」で生徒の代表(約14名)が、実際に太鼓を叩きながら覚えたリズムパターンを組み合わせ、他の生徒(太鼓のほか手拍子など)や、鼓童メンバーと共演します。 太鼓体験と共演は、体育館の舞台下のエリアを使用しますが、会場全体の一体感を生み出すため、演奏者は客席エリアや体育館後方を動き回って演奏します。				
出演者	全7名 出身地など割当ブロックを考慮して鼓童メンバーより選抜、2019年10月決定予定				
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出 演 者: 7名 スタッフ: 2名 合 計: 9名		機材等 運搬方法	積載量 4t 車 長 8m 台 数 1台	

公演に当たって の会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。																	
会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安	前日仕込み(無) 会場設営の所要時間(3時間程度) <table><tr><td>到着</td><td>仕込み</td><td>本公演</td><td>内休憩</td><td>撤去</td><td>退出</td></tr><tr><td>10:00</td><td>10:00～13:00</td><td>13:30～14:50</td><td>なし</td><td>15:15～ 16:15</td><td>16:15</td></tr></table> ※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。 ▶体育館が2階以上、またはステージが仮設もしくはない場合は、目安より1時間程度仕込 みと撤去の時間がかかります。 ▶午前中の場合は 8:00 到着／10:40～12:00 本公演／12:30～13:30 撤去が可能です。						到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出	10:00	10:00～13:00	13:30～14:50	なし	15:15～ 16:15	16:15
到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出													
10:00	10:00～13:00	13:30～14:50	なし	15:15～ 16:15	16:15													
児童・生徒の参 加可能人数	ワークショップ	3年生以上(応相談)																
	本公演	～600 人／体育館内での適正な鑑賞エリアが確保できれば可能																
ワークショップ 実施形態 及び内容	太鼓体験 (60 分) 〔 1 〕 デモ演奏 : 5 分 (1 曲) 〔 2 〕 講義 (鼓童の紹介、太鼓の紹介など) : 15 分 〔 3 〕 本番での共演に向けて : 40 分 ・太鼓体験 : 30 分 『内容』太鼓の基本 (構えの姿勢やバチの持ち方など) / 「基本の打ち方」で叩 いてみる / リズムのゲーム / 「口唱歌」を知る / 「口唱歌」で曲を覚える ※手拍子での参加、学校にある打楽器の使用も検討します。(要事前打合せ)。 ※体験メンバーが本公演で演奏に参加することも可能です(要事前打合せ)。 ・覚えた曲を全体で復習、公演本番までの宿題の確認 10 分																	
ワークショップ 実施形態の意図	〔太鼓体験〕 ちょっとしたことで音色が変化することや、全員で一つの音や曲をつくっていく一 体感を共有することができます。また「口唱歌」という日本古来の口伝えの方法で 曲を覚えて本公演で共演を行えるようにします。 体験に参加しない生徒たちも一緒に観て楽しめる構成になっています。																	
特別支援学校で の実施における 工夫点	事前打合せにおいて児童・生徒さんの状況を把握し、個別の体験時間を増やしたり、説明 を短縮するなど、無理や負担をかけることのない対応を心がけています。 視覚障害・聴覚障害の児童・生徒に対しては、太鼓の響きが身体に直接伝わるという特性 があります。演奏以外の情報は事前にプログラムや楽器紹介などを文字化したり、手話通 訳の方と共有して準備をしています。																	

実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。
--------	------------------------

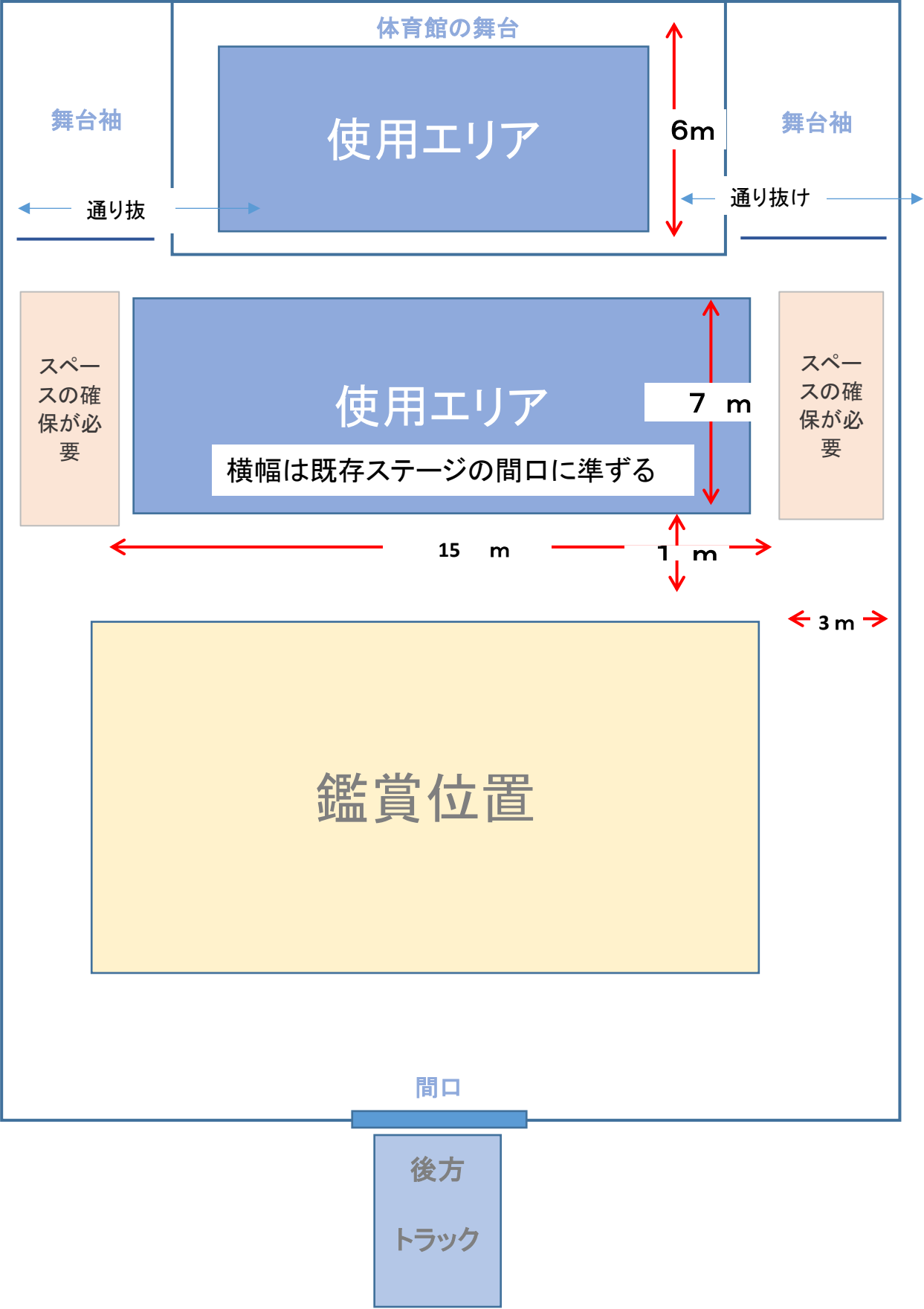
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	F70	分野	伝統芸能	種目	邦楽	ブロック	F	区分	A区分
公演団体名	太鼓芸能集団 鼓童				制作団体名	株式会社 北前船			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数 *	2室	条件	女2部屋／体育館内(袖部屋や更衣室)希望				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			バン	1台	4tトラック 1台		
	可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			4tトラック				
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要口				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			問わない				
	可	搬入経路の最低条件			屋根があることが必須				
		理由			楽器(太鼓)が濡れないため				
	可	設置階の制限 *			問わない				
	不可	搬入間口について 単位:メートル	幅	1.5m	高さ	2m			
WSについて	可	参加可能人数		300名程度まで 実際に太鼓をたたく児童生徒は上級学年以上					
	可	学年の指定の有無 *		なし	指定学年 *	なし			
	可	所要時間の目安 単位:分		60分					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの 所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイム スケジュール)」の目安をご参照ください。					
	可	鑑賞可能人数		指定のステージとフロアの演奏エリアを確保した上で、最大 600名程度まで					
	可	舞台設置場所 *		ステージ上・フロアの両方					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル	幅	15m	奥行	7m	高さ		
	可		舞台袖スペースの確保 *			要			
	可	体育館の舞台を使用する 場合の条件	舞台袖スペースの条件 *			通り抜けができて、物が極力ない状態			
	可		緞帳 *	不要	バトン *	不要			
	可	遮光(暗幕等)の要否 *		不要	理由	天候などの条件によっては使用の 可能性あり			
	可	ピアノの調律・移動の要 否	指定位置へのピアノの 移動 *			※指定位置は会場設置図面に て御確認ください。			
	可		ピアノの事前調律 *		不要				
	可	フロアを使用する場合の 条件	バスケットゴールの設 置状況 *		格納されていれば可				
	可	公演に必要な電源容量		150A	※主幹電源の必要容量				
	その他特記事項								
	可	照明(持込み・スタンド型4台)は会場条件により使用／音響機材(マイク・スピーカー)は持込み。							
可	児童生徒は体育館のフロアに直接座っていただきます。椅子の使用不可。服装は問いません。								

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1、5m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		極端に遠い場合は搬入時間を相談させてください。		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



鼓童

こどう 「鼓童」について

太鼓を中心とした伝統的な音楽芸能に無限の可能性を見だし、現代への再創造を試みる集団。「鼓童」とは、人間にとって基本的なリズムである心臓の鼓動から音をとった名前^{おん}で、大太鼓の響きが母親の胎内で聞いた最初の音をイメージしています。そして「童^{わらべ}」の文字には、子どものように何ものにもとらわれることなく無心に太鼓を叩いていきたいという願いが込められています。

1981年、ベルリン芸術祭でデビュー。1年の1/3を海外、1/3を国内、1/3を本拠地・佐渡島で過ごし、これまでに50の国と地域で6,000回を超える公演を行なっています。劇場公演のほか、小中高校生との交流を目的とした「交流学校公演」、ワールドミュージック・クラシック・ジャズ・ロック・ダンスパフォーマンスほか異なるジャンルの優れたアーティストとの共演や、世界の主要な国際芸術祭、映画音楽等へ多数参加。2012年より2016年まで人間国宝でもある歌舞伎俳優・坂東玉三郎を芸術監督に招聘しました。

1997年には財団法人鼓童文化財団を設立。佐渡における地域振興はじめ、各種ワークショップの開催、次代を担う人材を育てる鼓童文化財団研修所の運営、国際芸術祭「アース・セレブレーション」の企画運営、佐渡太鼓体験交流館（たたこう館）の運営、伝統芸能・文化に関する調査・研究者への支援などの公益活動を行っています。2011年11月1日より公益財団法人として始動しました。

鼓童の交流学校公演

この公演は学校体育館で行い、「できるだけ近い距離で本物の音をお届けし、和太鼓や和楽器の楽しさを感じてもらいたい」という熱いメッセージをお届けするプログラムです。太鼓の魅力、太鼓を打つ楽しさを知っていただくことはもちろん、太鼓を叩く演奏者と身近に接することで、元気や勇気、自信や希望、そして自分自身の発見につながるきっかけがもてる公演です。身近な芸能や地域の祭りを再発見したり、演奏者がこの道を選んだ経緯など、話も交えながら児童・生徒の皆さんが音楽を楽しみ、それぞれの地域をみつめ、将来や進路を考える一助になればと思います。

公演内容

■小学校 70分 中学校 80分 途中休憩なし

■出演者 太鼓芸能集団 鼓童 より 7名予定

■演目

やたいばやし
屋台囃子 編曲：鼓童
大太鼓 編曲：鼓童
他、唄や笛の楽曲より状況に応じて選定
小学校 全体で6曲を予定
中学校 全体で8曲を予定

■太鼓体験コーナー

児童・生徒の代表が太鼓をたたきます。

※各曲間に、鼓童の紹介、メンバー紹介、曲の解説などが入ります。
演目は都合により変更になる可能性があります。



たくさんの太鼓と出逢いを4トントラックに積んで、
みなさんの学校にうかがいます。



いただいた感想

おおいこがむねのなかまでとどいてどきどきむねがゆれました。(小1)

さいしょに聞いたとき、おなかにしょうげきがきました。体育かんのゆかからもしんどうが伝わってきました。(小3)

最後の曲では、全員で色んな太鼓を一生懸命たたいて、どんどん音が大きくなったら、私の鼓動もどんどん速くなって、まるで一緒にえんそうしている気分になりました。鼓童の方が息も気持ちも演奏もびったりだったから一つになれたのかな、すごいなと思いました。今度は佐渡に行って、太鼓をたたきたいです。(小4)

鼓童の太鼓は、一発一発に、小さな音にも気持ちが入っていたので「プロはすごいなあ」と思いました。演奏は、笑顔、努力、協力などでできていて、ぼくたちのあまりできていないので、いまから進化していけたらなと心から思いました。鼓童の人たちは、失敗や成功もあって、その経験があったからこそまでできるようになれたのだと思いました。ぼくも太鼓をがんばって、いつか鼓童みたいになりたいです。(小5 太鼓クラブに所属)

太鼓をたたいている時、どんな汗をかいても暑くても、みんなの前でつかれている顔を出さずにずっと笑顔でたたいている姿がとてまかつこ良かったです。みなさんから学んだように、どんなにきつくても、それに負けず、あきらめない心をもって、一生けん命勉強や部活などをがんばりたいです。(中1)

会場に入り太鼓を見たときに、中央に置いてあった太鼓の美しさに圧倒されました。まさに自然との融合で、遅く美しい音の響きは神への感謝の響きと感じました。太鼓作りを支える職人さんの技も、鼓童の活動を通して知ることができました。(保護者)

事前ワークショップの感想 (2019年7月実施)

私は代表で太鼓をたたきました。練習の時、鼓童の人は「この人に聞かせたいと思うと良い音が出るよ。」と言っていました。私は今まで、ただ大きな音を出せばいいと思っていたので、自分が少し恥ずかしくなりました。一緒に演奏する時には、日本の反対側の国、ブラジルまで届くくらい、せいっぱいたたきました。曲が終わったとき、うでがとてまかつこ良かったけど、楽しくて、なんだが心がすかつとした感じがしました。鼓童の人たちとたいこがたたけてうれしかったです。また鼓童のみなさんがくるのが待ち遠しいです。(小4 女子)

鼓童

〒952-0611 新潟県佐渡市小木金田新田 148-1

鼓童に関する最新情報は公式サイトから。Twitter、Facebook、Instagram もやっています。

<http://www.kodo.or.jp>

VI 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目(該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, (演芸)

申請する区分に, ○を付してください。

(A区分のみ)・A区分とB区分の両方・C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり・(なし)

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな	こうえきしゃだんほうじんかみがたらくごきょうかい		
制作団体名	公益社団法人上方落語協会		
代表者職・氏名	代表理事 浅田 晃一郎(芸名・笑福亭仁智)		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒530-0043 大阪市北区天満4丁目12-7 (JR東西線「大阪天満宮駅」、大阪メトロ谷町線・堺筋線「南森町駅」)		
電話番号	06-6354-7727	FAX番号	06-6354-4433
ふりがな	こうえきしゃだんほうじんかみがたらくごきょうかい		
公演団体名	公益社団法人上方落語協会		
代表者職・氏名	代表理事 浅田 晃一郎(芸名・笑福亭仁智)		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒530-0043 大阪市北区天満4丁目12-7 (JR東西線「大阪天満宮駅」、大阪メトロ谷町線・堺筋線「南森町駅」)		
制作団体 設立年月	1957年4月任意団体として創立 2004年8月社団法人設立 2011年4月公益法人移行		
制作団体 組織	役職員 代表理事・笑福亭仁智 業務執行理事:桂米団治 理事・事務局長:大西智也、 他理事20名 監事:桂文喬、他1名	団体構成員及び加入条件等 ○構成員:個人266名 ○加入条件:上方落語を業とする者、上方落語に 付随する職業の者、上方落語以外の演芸家のい ずれかで、理事会の承認を受けた者	
事務体制の担当	専任・(他の業務と兼任)	本事業担当者名	秋澤 聡
経理処理等の 監査担当の有無	(有)・無	経理責任者名	大西 智也

制作団体沿革	戦後、上方落語は滅んだと言われた時期を乗り越え、昭和32年、三代目林家染丸を会長とし、任意団体として発足しました。若き日の上方落語四天王（笑福亭松鶴、桂米朝、桂小文枝、桂春団治）も参加しており、現在に至るまで、ほぼすべての上方の落語家が所属する団体として、上方落語の上演普及、後進の育成に努めています。組織としては平成16年に社団法人化したのち、法制の改革に伴い、平成23年に公益社団法人に移行いたしました。 平成18年には上方落語家の悲願であった落語専門の劇場、定席「天満天神繁昌亭」の運営をスタートしました。毎日、上方落語を上演している場所として、多くの方にご来場いただき、上方落語を楽しんでいただいております。		
学校等における公演実績	○個別の依頼による学校派遣公演(修学旅行来阪時、宿泊先への派遣含む) 平成31年4月金沢市立高岡中学校(修学旅行) 令和元年5月枚方市立中宮小学校 令和元年6月京都・洛星中学校 同 桑名市立藤が丘小学校(修学旅行) 同 姫路市立城北小学校 その他、年間で20～30校での実績があります。 ○倉敷市文化振興財団主催 芸術家派遣事業への協力(平成25年度～) 倉敷市内小学校へ落語家を派遣し、落語鑑賞会の開催とともに、小噺やしぐさ、和楽器の体験・ワークショップを併せて実施しています。 ○大阪市伝統芸能(上方芸能)鑑賞会事業への協力(平成28年度～) 主に大阪市内小学生を対象に、定席「天満天神繁昌亭」において、落語鑑賞会を開催しています。また、希望者には舞台に上がってもらい、小噺やしぐさ、和楽器の体験・ワークショップを併せて実施しています。(参考資料・添付あり)		
特別支援学校における公演実績	特別支援学校:実績なし 関連施設:社会福祉法人大阪自興会(障害者支援施設)にて平成8年より年1回の落語公演を毎年開催		
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	☒ 有 ・ ☐ 無 No.1 大阪市鑑賞会事業 No.2 各種公演・記録写真
		申請する演目のDVDまたはWEB公開資料	☐ 有 ・ ☒ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID: PW:
	Aの提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料	☐ 有 ・ ☐ 無
		※公開資料有の場合 URL	ID: PW:

公 演 ・ ワークショップの 内 容

【公演団体名

公益社団法人上方落語協会

】

対 象	小学生((低学年 ・ 中学年 ・ 高学年)) ・ (中 学 生)			
企画名	こどもらくご教室～落語のしくみがカンタンまるわかり～(仮称)			
本公演演目	演目:「寿限無」、「転失気」、「動物園」、「時うどん」、「七度狐」など 児童・生徒が情景を容易に想像し、楽しめる演目を想定。 原作:ほとんどの古典落語は原作者不明である。 脚本:本公演で演じられる古典落語は江戸時代から継承される口演台本があるが、必ずしも明文化されている訳ではなく、師匠、先輩からの口伝によることが多い。 演出:師匠、先輩から習ったものを基本に、それぞれの落語家が独自の演出を加える。 鑑賞者が限定されている本公演のような場合は、鑑賞者の理解度に応じた言い回しや、適切な表現の演出を加える。			
原作／作曲 脚 本 演出／振付	公演時間(90 分)			
著作権	制作団体が所有	制作団体以外が所有する事項が含まれる	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許 諾の有無	
演 目 概 要	上記演目のあらすじ 「寿限無」子供の幸せな成長を願う親が、教えられた縁起の良い名前全てをその子の名前としたため、成長後の日常生活で様々なハプニングを引き起こす。 「転失気」知ったかぶりの寺の住職に、小坊主がいたずら心で仕返しをする。 「動物園」死んだ人気者のトラの皮をかぶって、トラを演じる仕事にいった男が楽な仕事だと思っていたら、とんでもない結末に驚かされる。 「時うどん」うどんの代金をごまかすところを見た男が、翌日自分もやってみようと、寸分違わず同じようにやってみるが、失敗してしまう。 「七度狐」旅の道中、あやまって神の使いである狐を傷つけてしまい、狐のバチによって、怖い思いをするはめになってしまう。			
演 目 選 択 理 由	「寿限無」子供が主人公のため、子供にもなじみやすい。 「転失気」知ったかぶりで失敗する内容がわかりやすい。 「動物園」設定が奇抜で、動物の仕草をふんだんに盛り込み、見て楽しい。 「時うどん」商売人の様子をイメージしやすく、客とのやり取りが滑稽である。 「七度狐」旅の道中、神の使いである狐に悪さをしたため、バチをあてられるストーリーが分かり易い。上方落語特有のハメモノ(効果音)も入り陽気な演目。 <u>※本公演では鑑賞者の関心や理解度によって、上記以外の演目を選択する場合があります。</u>			
児 童 ・ 生 徒 の 共 演 , 参 加 又 は 体 験 の 形 態	○小唄、しぐさ、鳴り物の体験 事前に暗記した小唄を舞台上で発表してもらう。落語家の補助のもと扇子・手拭いを使ったしぐさを舞台上で実際に演じる。幽霊の登場シーンを幽霊、太鼓、ドラをそれぞれ生徒・児童が担当し、演じる。 ○大喜利の体験 大喜利のお題と回答を児童・生徒に指導しておき、代表者5名が舞台上で発表する。 ○「寿限無」早口ことば競争 演目に登場する子供の名前(寿限無…)を暗記しておく。複数名の児童・生徒が舞台上で一斉に発表し、そのスピードを競う。 ※上記の内容を中心に、開催校との協議により決定します。			
出 演 者	・ワークショップ実演 ・落語(若手) ・落語(中堅) <中入り> ・色物(太神楽、マジック、腹話術など) ・落語(ベテラン) 三味線1名、鳴り物1名			
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出 演 者 : 5 ～ 6 名 スタッ フ : 4 ～ 5 名 合 計 : 9 ～ 1 1 名	機 材 等 運搬方法	積 載 量 車 長 台 数	1 t 4 m 1 台

【公演団体名 公益社団法人上方落語協会】

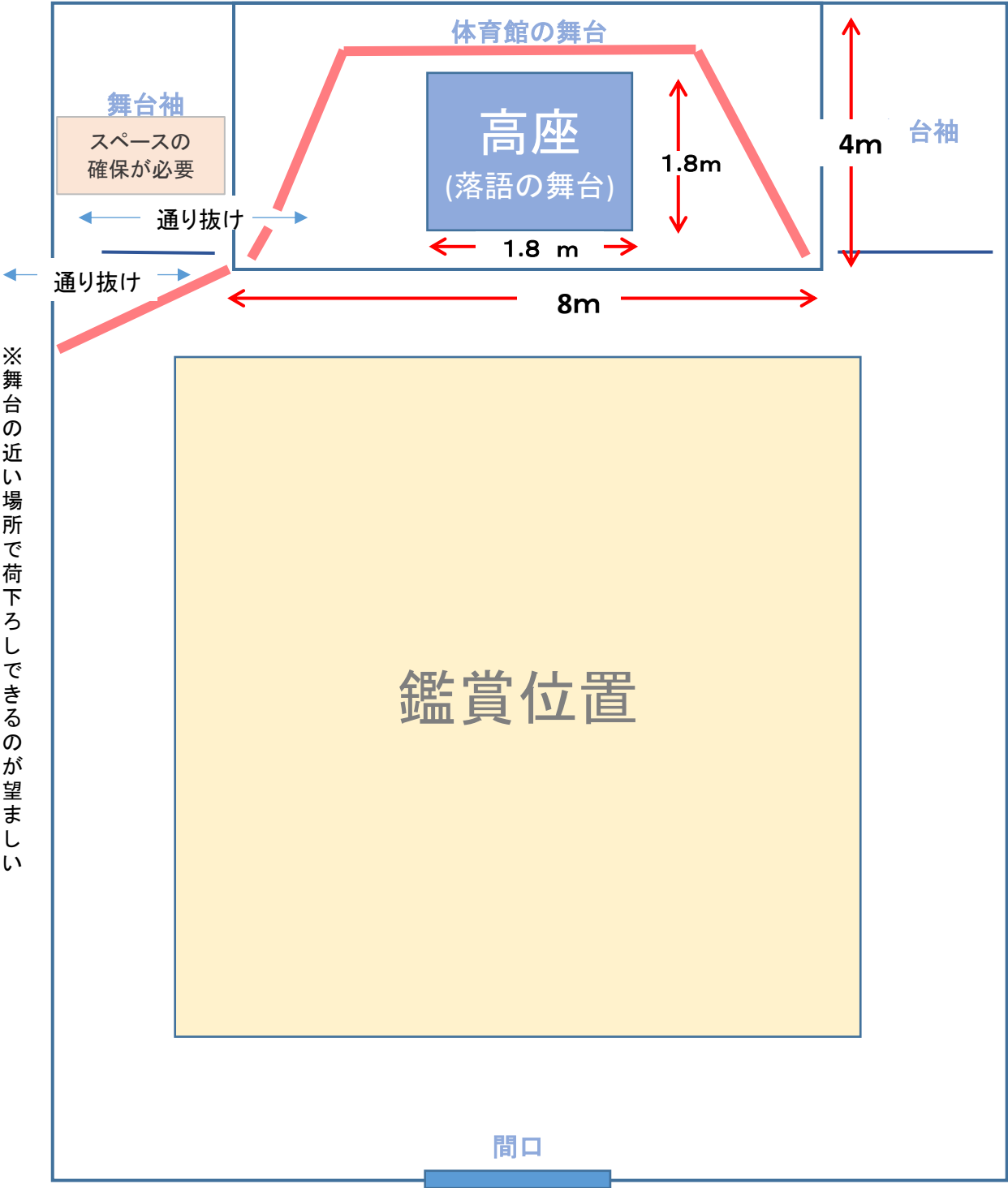
公演に当たっての 会 場 条 件	実施条件等確認書①をご確認ください。																	
会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安	前日仕込み(有 ・ 無)※午前中から開催の場合は前日仕込み必要 会場設営の所要時間(1～2時間程度) <table><tr><td>到着</td><td>仕込み</td><td>本公演</td><td>内休憩</td><td>撤去</td><td>退出</td></tr><tr><td>10 時</td><td>10 時～12 時</td><td>13 時～14 時 30 分</td><td>10 分</td><td>14 時 40 分～16 時</td><td>16 時 30 分</td></tr></table> ※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。						到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出	10 時	10 時～12 時	13 時～14 時 30 分	10 分	14 時 40 分～16 時	16 時 30 分
到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出													
10 時	10 時～12 時	13 時～14 時 30 分	10 分	14 時 40 分～16 時	16 時 30 分													
児 童 ・ 生 徒 の参加可能人数	ワークショップ	300名程度(小学校の場合、低学年と高学年で時間帯をわけるのが望ましい)																
	本公演	300名程度(小学校の場合、低学年と高学年で時間帯をわけるのが望ましい)																
ワークショップ 実 施 形 態 及 び 内 容	・体育館ではなく、人数に応じた広さの音楽室や多目的室などに仮設の舞台(高座)を設営して実施するのが望ましい。 ・上方落語と寄席のお囃子(出囃子・効果音)の解説を行い、落語 1 席を実演する。 ・希望者に高座へ上がってもらい、小噺や扇子や手拭い使ったしぐさを体験してもらう。 ・高座で太鼓やドラなどの和楽器に触れてもらう。 ・複数の生徒による大喜利(お題に対し、それぞれが回答する)の体験、あらかじめ体験者にはお題と回答を指導しておき、他の児童・生徒が見ている前で、実演する。																	
ワークショップ 実施形態の意図	落語は観覧者それぞれが、物語の情景を思い描いて楽しむ芸能であるため、人数に応じた広さが望ましい。体育館などで、客席の広さに対し座席の占める面積が少ない場合、落語を初めて体験する児童・生徒にとっては舞台に注目する集中力を欠く状態となってしまいます 大喜利の体験では、複数の児童がそれぞれの役割によって、観客の笑いを生みだす展開を、効果的に理解することができます。																	
特別支援学校で の実施における 工夫点	視覚障害の児童・生徒に対してはワークショップ本公演共に高座の設えなどについての説明を多くする。本公演においての落語鑑賞は問題ないと思われる。(そもそも鑑賞者の想像力が重要な要素である) 落語以外の演芸については見て楽しむ演芸(マジック・曲芸など)ではなく、耳で楽しめる音楽的要素を伴う演芸などを取り入れる。																	
実 施 可 能 時 期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。																	

【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	F71	分野	伝統芸能	種目	演芸	ブロック	F	区分	A区分
公演団体名	公益社団法人上方落語協会				制作団体名	公益社団法人 上方落語協会			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数 *	2室	条件	男性用、女性用各1室、難しければ1室でも可能				
搬入について	可	来校する車両の大きさと台数 *			2tトラック 1台		乗用車 1台		
	可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			2tトラック				
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			応相談				
	可	搬入経路の最低条件			・できる限り階段のない経路が望ましい。 ・屋根のある経路が望ましい。				
		理由			寄席の雰囲気を感じてもらえる舞台設営のため、パネル等を搬入します。				
	—	設置階の制限 *			問わない				
	可	搬入間口について 単位：メートル		幅	1.8m	高さ	1.8m		
WSについて	可	参加可能人数			応相談				
	可	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *	なし		
	可	所要時間の目安 単位：分			60分程度				
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安をご参照ください。				
	可	鑑賞可能人数			300名程度(小学校の場合、低学年と高学年で時間帯をわけるのが望ましい)				
	可	舞台設置場所 *			ステージ上への設置・フロアへの設置ともに対応可能				
	可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	8m	奥行	4m	高さ	客席フロアから1.2m程度の高さの高座(落語の舞台)	
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保 *		要				
	可		舞台袖スペースの条件 *		三味線、太鼓の演奏ができるスペース必要				
	可		緞帳 *	不要	バトン *	不要			
		遮光(暗幕等)の要否 *			不要	理由			
	—	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動 *		要	ステージ上以外			
	—		ピアノの事前調律 *						
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可				
	可	公演に必要な電源容量			未定	※主幹電源の必要容量			
	その他特記事項								
		これまでの学校での公演経験から、上記条件を満たさない場合も、							
		学校側で最大限ご協力いただければ、おおむね公演の実施が可能です。							
	必ず体育館のステージが必要ということではなく、鑑賞人数に応じた広さの会場が望ましい。								



舞台使用時

搬入間口について	幅	1.8m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否	可能であることが望ましい			
横づけができない場合の搬入可能距離	応相談			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

「こどもらくご教室」進行例

○舞台設営 90分程度、公演後撤収 60分程度

(公演時間：約1時間30分)

時間	内容	出演者	備考
(25分)	らくご入門 「成り立ち～小咄～ 仕草など」 ※体験コーナーあり	落語家 1名	落語は、その昔「落し噺」と呼ばれ、短い“小咄”から発達しました。そのルーツの小咄をいくつかご紹介します。またイメージをふくらませる効果として、扇子と手拭いを使い、さまざまな仕草を演じます。
(30分)	寄席のおはやし ※体験コーナーあり	落語家 2～3名 三味線 1名	上方落語では三味線・太鼓・鉦などでの和楽器演奏を用います。これを『寄席囃子』といいます。落語家の登場の際の曲や演目中の効果音を舞台上でご覧いただきます。
(15分)	寄席の演芸	各ジャンルの 演芸家 1名	寄席では落語以外にも様々なジャンルの演芸が演じられています。寄席では当日出演する落語家の名前を、黒文字で掲示するのに対し、他ジャンルのお名前は赤文字で掲出することから、“色物”ともよばれます。
(20分)	落語	落語家 1名	落語やお囃子の解説を聞いていただき、上方落語について十分理解してもらえたと思います。最後に落語の実演をお楽しみ頂きます。

・三味線：()・鳴物：()・舞台補助：()

【公演のポイント】

- ・上方落語の成り立ちや仕組みを児童生徒の理解力に応じ、解説しますので、小学校低学年にも楽しんで頂ける内容です。
- ・代表者に舞台上で落語の一部（小噺や扇子・手拭いを使った仕草）を体験してもらうことにより、同級生が舞台に上がって演じる姿を見て、鑑賞者にも、より身近に上方落語の楽しさを感じてもらうことができます。

【備考】

- ・時間と進行内容をご相談により、変更が可能です。
- ・小学校の場合、低学年と高学年で時間帯を分けるのが望ましい。

企画運営：公益社団法人上方落語協会

「こどもらくご教室」 公演実例

時間	内容	出演者	実例
(25 分)	らくご入門 「成り立ち～小咄 ^{こばなし} ～ 仕草など」 ※体験コーナー含む	落語家 1 名	
(30 分)	寄席の おはやし ※体験コーナー含む	落語家 2 ～ 3 名 三味線 1 名	
(15 分)	寄席の演芸	各ジャンルの 演芸家 1 名	
(20 分)	落語	落語家 1 名	

(公演時間：1 時間 3 0 分)

企画運営：公益社団法人上方落語協会